

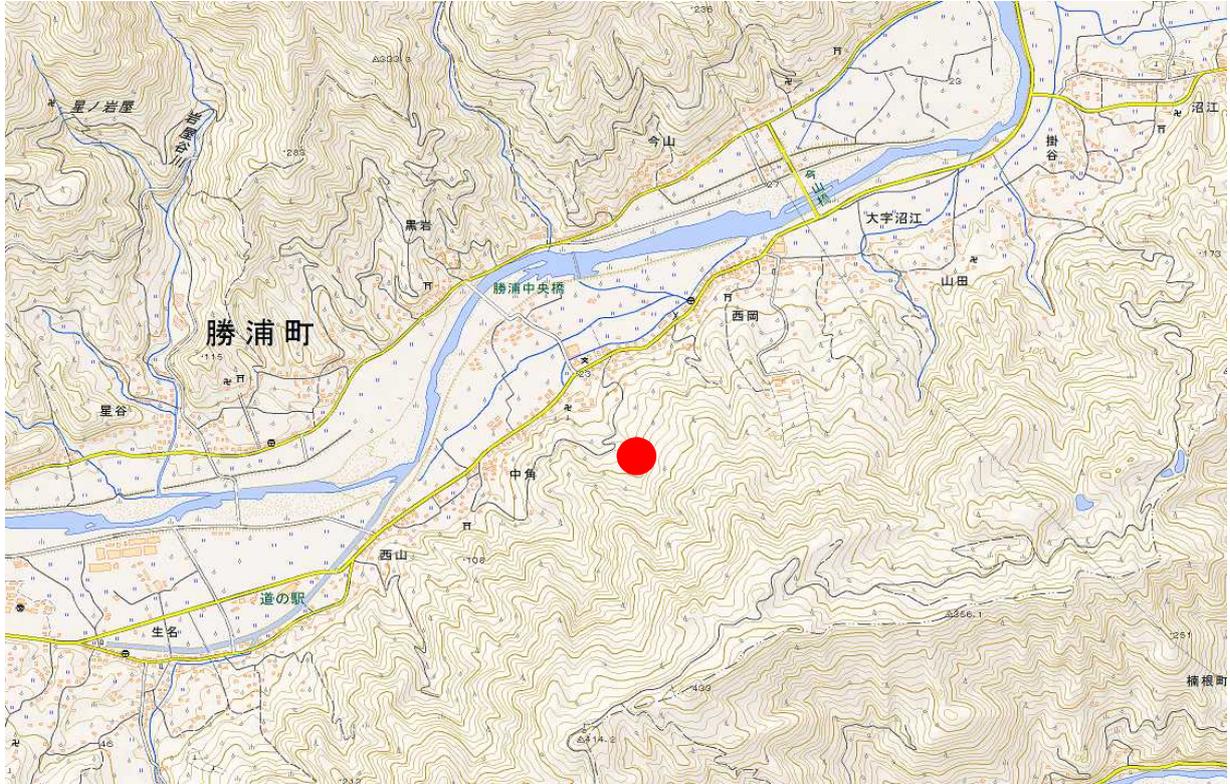
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	高森東谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																					
実施箇所	徳島県名東郡佐那河内村中辺																										
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.02km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																							
総事業費 (億円)	3.0																										
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土砂・洪水氾濫が発生すると下流の人家や道路・小学校等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家17戸や防災拠点である佐那河内村役場、避難所である小中学校要配慮者利用施設である保育所や緊急輸送路である国道等があり、地域住民の人命や財産等を保全する他、土砂・洪水氾濫対策により一級河川園瀬川の治水機能の保全を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																										
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:4.2ha 人家:17戸 事業所:3施設 重要公共施設:3施設 国道:160m 村道:410m等																										
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																									
	B:総便益 (億円)	63	C:総費用(億円)		3.2	B/C	19.9	B-C	60.0	EIRR (%)	103.0																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>21.9</td> <td>~</td> <td>26.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>24.1</td> <td>~</td> <td>23.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>17.9</td> <td>~</td> <td>21.9</td> </tr> </tbody> </table>													全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	21.9	~	26.7	残工期(+10%~-10%)	24.1	~	23.9	資産(-10%~+10%)	17.9	~	21.9
		全体事業(B/C)																									
残事業費(+10%~-10%)	21.9	~	26.7																								
残工期(+10%~-10%)	24.1	~	23.9																								
資産(-10%~+10%)	17.9	~	21.9																								
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保全対象の人家17戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 避難所である小中学校や要配慮者利用施設を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 土砂氾濫対策により一級河川園瀬川の治水機能の保全を図る。 																										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																										

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	前山谷事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県												
実施箇所	徳島県勝浦郡勝浦町豊田																
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.24km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	3.0																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路・小学校等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家9戸や避難所である集会所・小学校や要配慮者利用施設である保育園や緊急輸送路である県道徳島上那賀線等があり、地域住民の人命や財産等を保全する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:4.9ha 人家:9戸 事業所:3施設 重要公共施設:1施設 県道:140m 町道:490m等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	25	C:総費用(億円)	3.1	B/C 7.9 B-C 21.8 EIRR (%) 50.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.7</td> <td>~ 10.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.6</td> <td>~ 9.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>7.2</td> <td>~ 8.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.7	~ 10.6	残工期(+10%~-10%)	9.6	~ 9.5	資産(-10%~+10%)	7.2	~ 8.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	8.7	~ 10.6															
残工期(+10%~-10%)	9.6	~ 9.5															
資産(-10%~+10%)	7.2	~ 8.7															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 保全対象の人家9戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 避難所である小学校、集会所や要配慮者利用施設を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 2次緊急輸送路である県道徳島上那賀線の保全を図る。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

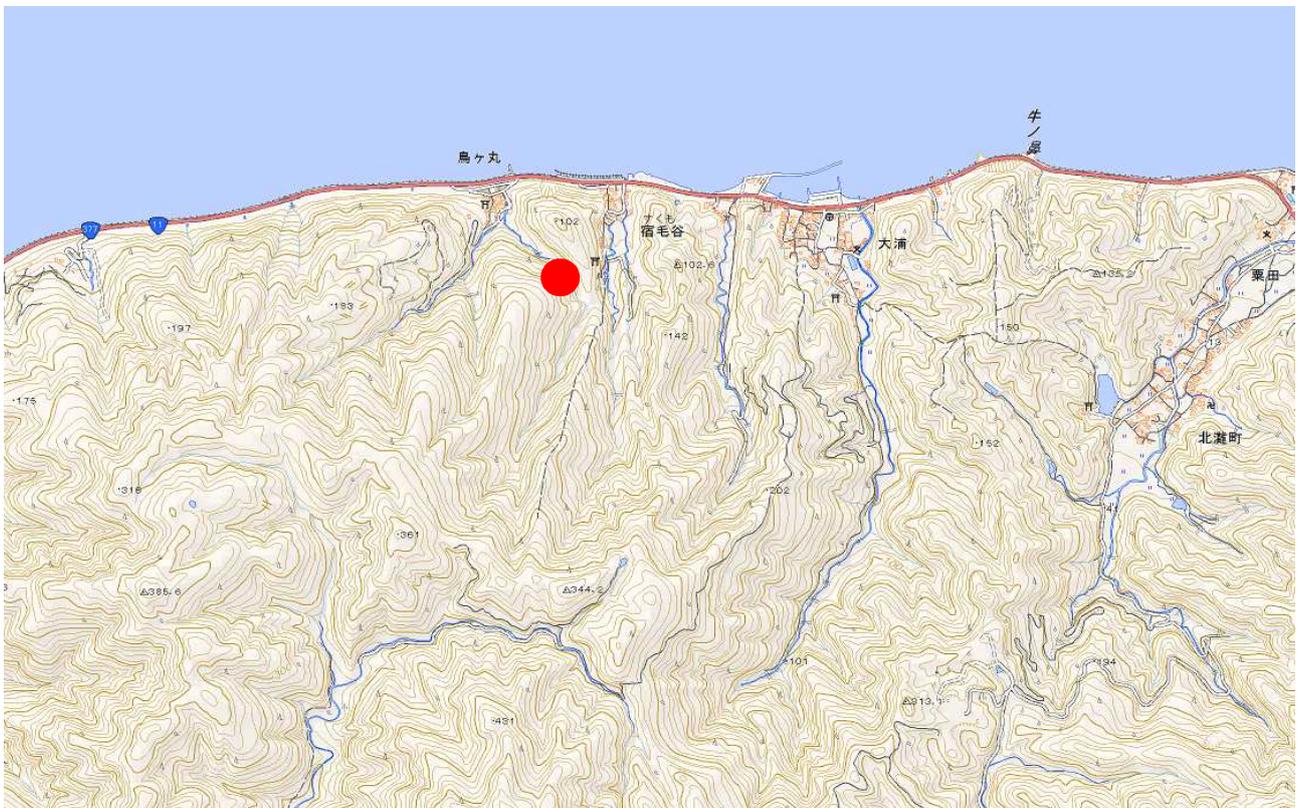
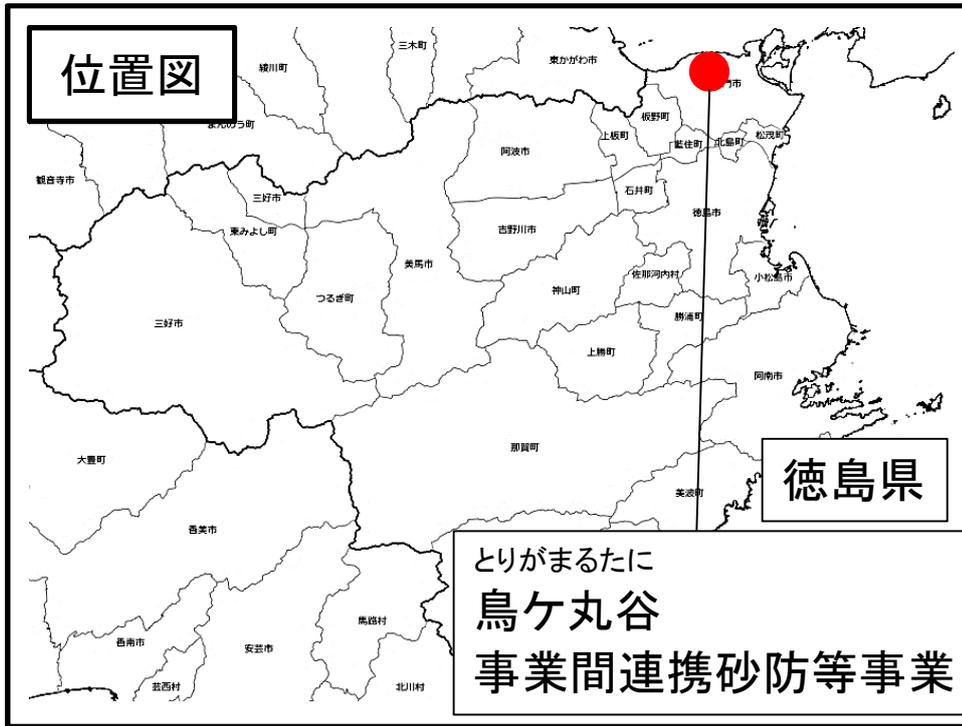
前山谷 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	鳥ヶ丸谷事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県												
実施箇所	徳島県鳴門市北灘町鳥ヶ丸																
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.46km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	2.6																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路・避難所等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家14戸や避難所である鳥ヶ丸集会所や重要交通網である国道11号等があり、地域住民の人命や財産等を保全する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:1.9ha 人家:14戸 事業所:2施設 重要公共施設:1施設 国道:165m 町道:455m等																
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	4.6	C:総費用(億円)	3.0	B/C 1.5 B-C 1.6 EIRR (%) 7.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 3.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.6	~ 3.2	残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.8	資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.6	~ 3.2															
残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.8															
資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.7															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 保全対象の人家14戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 避難所である集会所を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 重要交通網である国道11号の保全を図る。</p>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

鳥ヶ丸谷 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	芋場谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																
実施箇所	徳島県阿波市阿波町芋場																					
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.13km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	3.2																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区域では、平成16年に土砂災害が発生しており、人家1戸が半壊し、一時的に上流集落(77戸)が孤立状態となるなど甚大な被害が発生した。 ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路等に再び甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家4戸や県道志度山川線等があり、地域住民の人命や財産等を保全する他、土砂氾濫対策により一級河川伊沢谷川の治水機能の保全を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.8ha 人家:4戸 重要公共施設:2施設 県道:140m 市道:240m等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	4.2	C:総費用(億円)	3.9	B/C	1.1	B-C	0.3	EIRR (%)	4.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.0</td> <td>~ 1.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.7	残工期(+10%~-10%)	2.4	~ 2.4	資産(-10%~+10%)	1.0	~ 1.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.7																				
残工期(+10%~-10%)	2.4	~ 2.4																				
資産(-10%~+10%)	1.0	~ 1.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保全対象の人家4戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 地域の主要道路を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 土砂氾濫対策により一級河川伊沢谷川の治水機能の保全を図る。 																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	汐谷3号谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																	
実施箇所	徳島県阿南市橋町汐谷山																						
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.04km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	2.8																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家97戸や要配慮者利用施設である橋整骨院機能訓練デイサービスや緊急輸送路である国道55号等があり、地域住民の人命や財産等を保全する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.7ha 人家:97戸 事業所:1施設 重要公共施設:1施設 国道:150m 市道:650m等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	81	C:総費用(億円)		3.3	B/C	24.5	B-C	77.9	EIRR (%)	102.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>28.2</td> <td>~ 34.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>31.1</td> <td>~ 30.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>22.0</td> <td>~ 26.9</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	28.2	~ 34.2	残工期(+10%~-10%)	31.1	~ 30.8	資産(-10%~+10%)	22.0	~ 26.9
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	28.2	~ 34.2																					
残工期(+10%~-10%)	31.1	~ 30.8																					
資産(-10%~+10%)	22.0	~ 26.9																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保全対象の人家97戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 要配慮者利用施設を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 2次緊急輸送路である国道55号の保全を図る。 																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

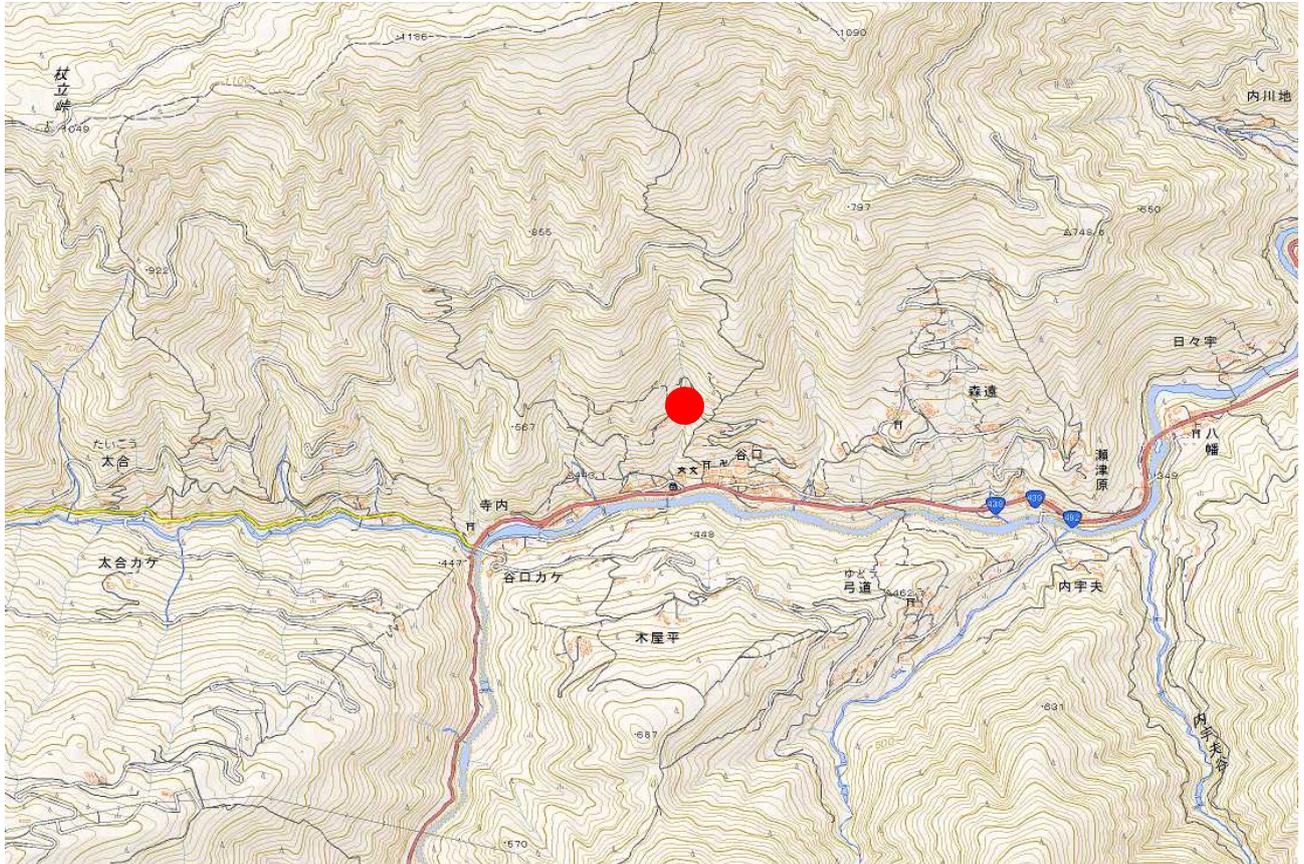
汐谷3号谷 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	谷口局谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県					
実施箇所	徳島県美馬市木屋平谷口										
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.48km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度							
総事業費 (億円)	3.6										
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路・小学校等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家5戸や避難所である木屋平小学校や緊急輸送道路である国道438号等があり、地域住民の人命や財産等を保全する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>										
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:1.2ha 人家:5戸 事業所:2施設 重要公共施設:1施設 国道:110m 市道:40m等										
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度									
	B:総便益 (億円)	20	C:総費用(億円)		3.7	B/C	5.4	B-C	16.2	EIRR (%)	31.6
感度分析	全体事業(B/C)										
	残事業費(+10%~-10%)	5.6	~	6.8							
	残工期(+10%~-10%)	6.2	~	6.1							
	資産(-10%~+10%)	4.9	~	6.0							
事業の 効果等	当該事業を実施することにより、 ① 保全対象の人家5戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 避難所である木屋平小学校や要配慮者利用施設である木屋平幼稚園を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 3次緊急輸送路である国道438号の保全を図る。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた										

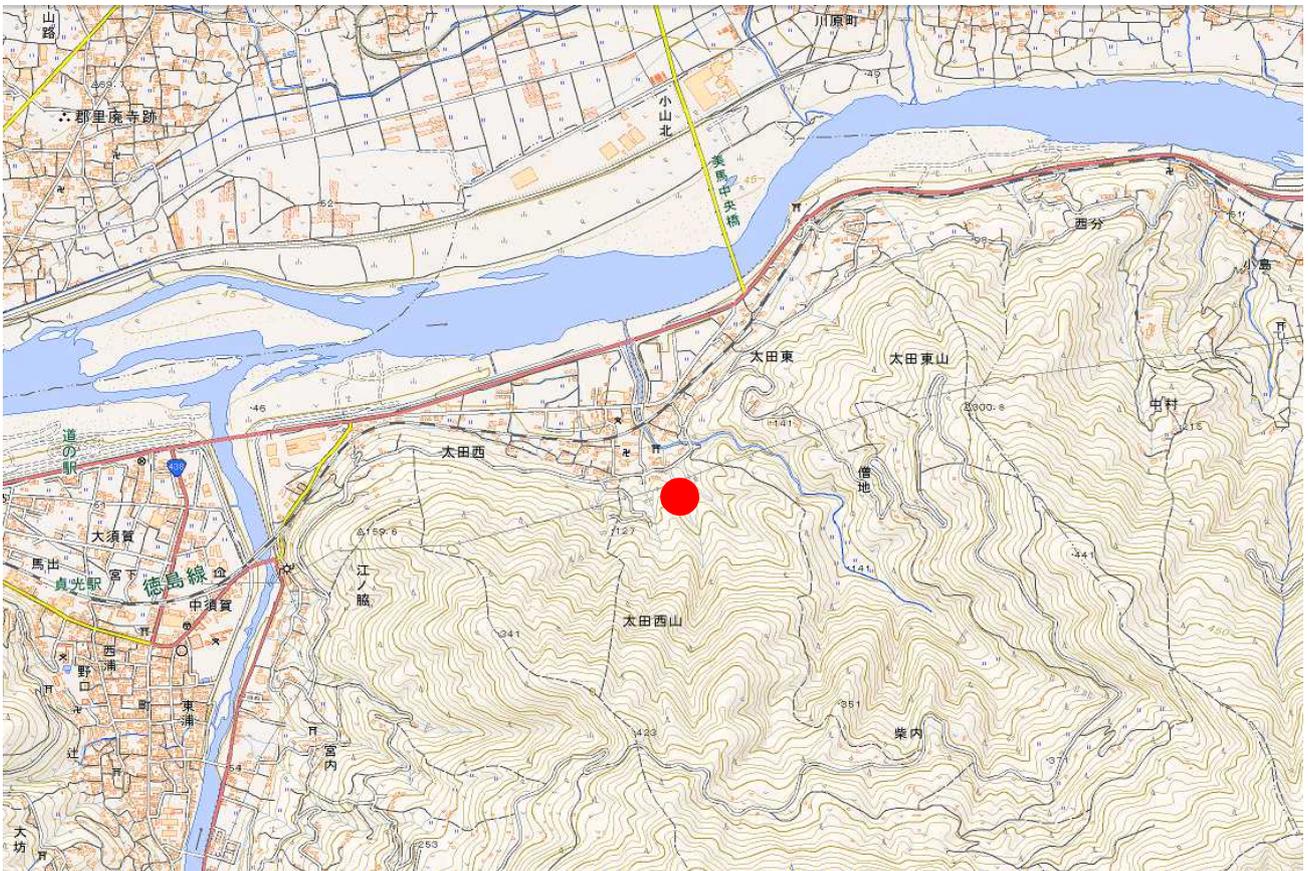
谷口局谷 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	水神谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																				
実施箇所	徳島県美馬郡つるぎ町貞光太田西																									
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.24km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																						
総事業費 (億円)	1.9																									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土砂・洪水氾濫が発生すると下流の人家や道路・小学校等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家55戸や避難所である小学校、重要交通網であるJR徳島本線等があり、地域住民の人命や財産等を保全する他、土砂・洪水氾濫対策により一級河川大谷川の治水機能の保全を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																									
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:5.8ha 人家:55戸 事業所:2施設 重要公共施設:2施設 町道:840m等																									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																								
	B:総便益 (億円)	55	C:総費用(億円)	2.1	B/C	26.9	B-C	53.1	EIRR (%)	113.0																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>30.0</td> <td>~</td> <td>36.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>32.9</td> <td>~</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>24.2</td> <td>~</td> <td>29.6</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	30.0	~	36.6	残工期(+10%~-10%)	32.9	~	32.5	資産(-10%~+10%)	24.2	~	29.6
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)	30.0	~	36.6																							
残工期(+10%~-10%)	32.9	~	32.5																							
資産(-10%~+10%)	24.2	~	29.6																							
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保全対象の人家55戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 避難所である小学校や要配慮者利用施設を保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 土砂氾濫対策により一級河川大谷川の治水機能の保全を図る。 																									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																									

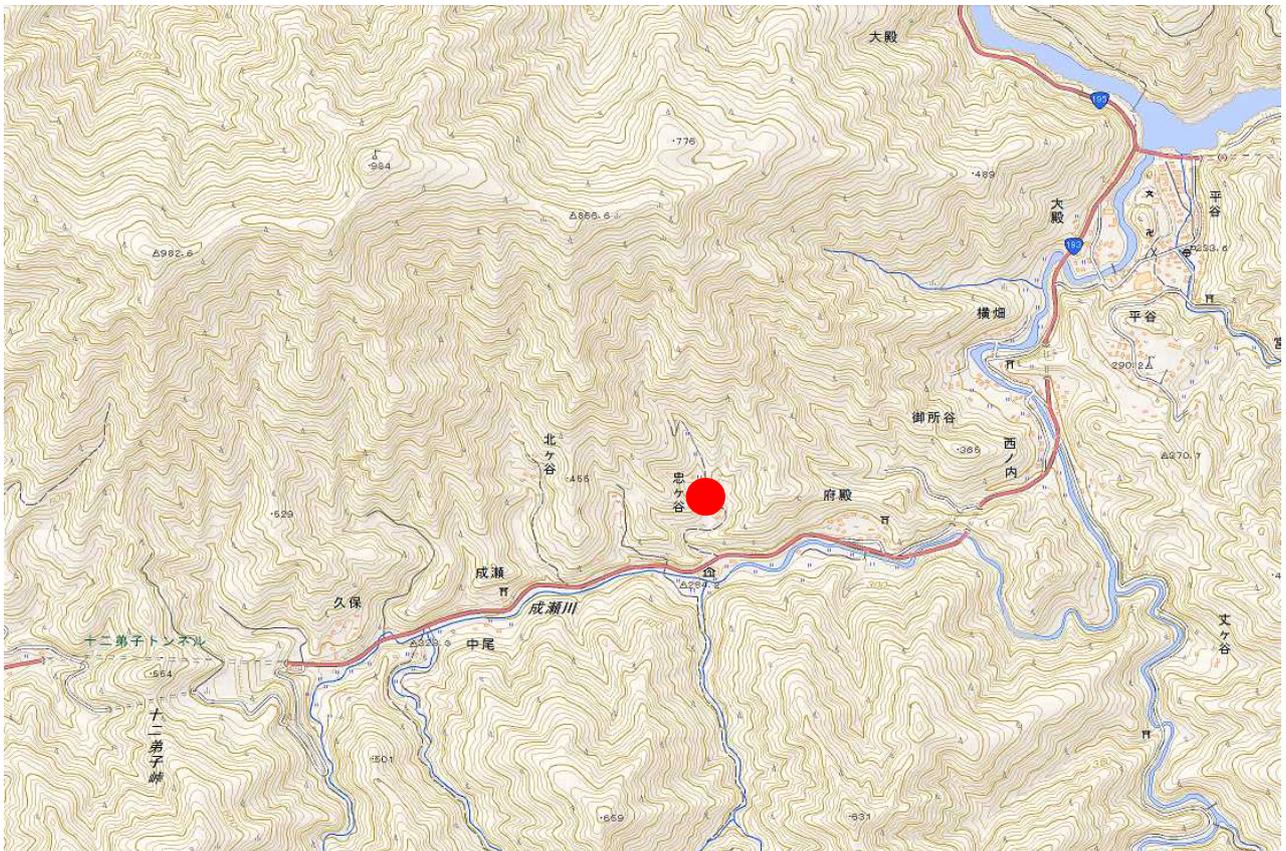
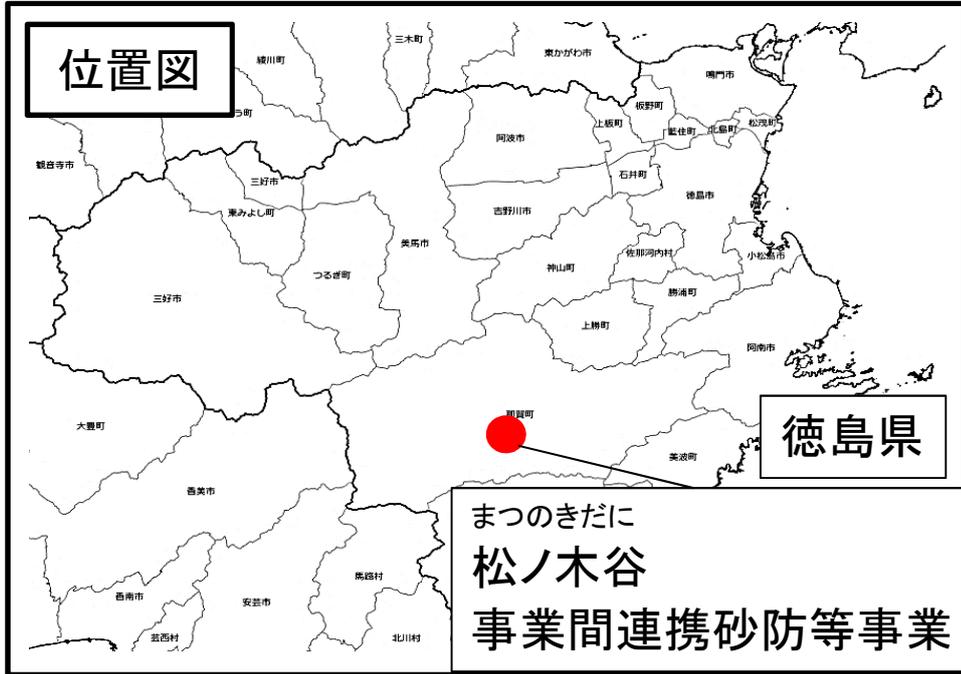
水神谷 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	松ノ木谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																
実施箇所	徳島県那賀郡那賀町成瀬																					
主な事業 の諸元	砂防区域面積:0.31km ² 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土砂・洪水氾濫が発生すると下流の人家や道路、要配慮者利用施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、人家等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土石流による被害を軽減する。 ・砂防事業を実施し、溪流の安定化を図ることにより、人家1戸や24時間滞在型特別養護老人ホーム(福祉避難所)、緊急輸送路である国道193号等があり、地域住民の人命や財産等を保全する他、土砂・洪水氾濫対策により一級河川成瀬川の治水機能の保全を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:1.5ha 人家:1戸 重要公共施設:4施設 国道:60m 町道:280m等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	8.8	C:総費用(億円)	1.8	B/C	4.8	B-C	7.0	EIRR (%)	33.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 5.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.9</td> <td>~ 4.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 5.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.4	~ 5.4	残工期(+10%~-10%)	4.9	~ 4.8	資産(-10%~+10%)	4.4	~ 5.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.4	~ 5.4																				
残工期(+10%~-10%)	4.9	~ 4.8																				
資産(-10%~+10%)	4.4	~ 5.3																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保全対象の人家1戸とその住民の人命と財産を保全する。 ② 福祉避難所である特別養護老人ホームを保全し、地域の防災力の向上を図る。 ③ 土砂氾濫対策により一級河川成瀬川の治水機能の保全を図る。 ④ 3次緊急輸送路である国道193号の保全を図る。 																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

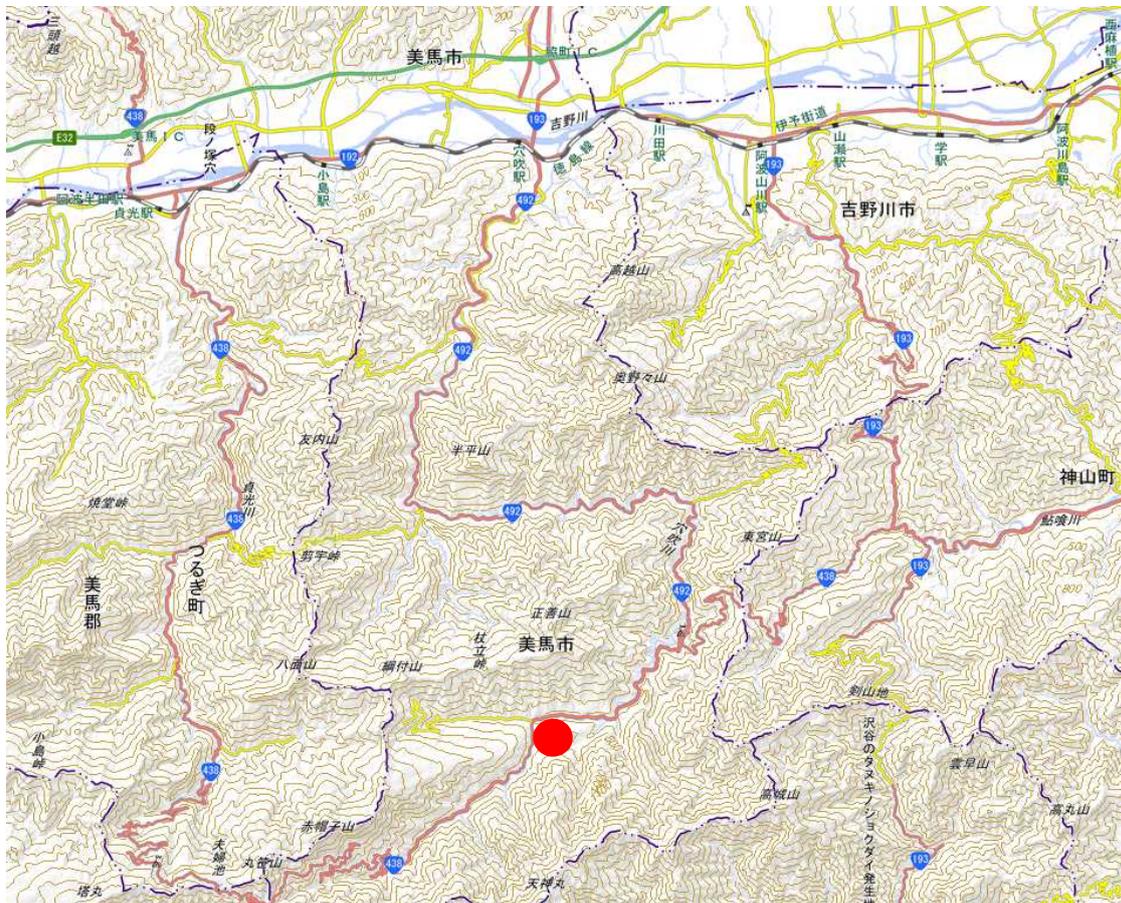
松ノ木谷 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	谷口カゲ事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																
実施箇所	徳島県美馬市木屋平谷口カゲ																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:55.2ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工、抑止工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度																		
総事業費 (億円)	4.8																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷口カゲ地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・平成23年に土砂災害が発生しており、河道閉塞の危険性が高まっている。 ・地すべり崩壊により、谷口カゲ地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、谷口カゲ地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	世帯数:10世帯 重要公共施設:2施設 国道:230m 市道1,110m等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	8.6	C:総費用(億円)	4.9	B/C	1.8	B-C	3.7	EIRR (%)	8.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 1.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 2.0	残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.6	~ 1.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 2.0																				
残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.7																				
資産(-10%~+10%)	1.6	~ 1.9																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家10戸や緊急輸送路である国道438号を保全する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

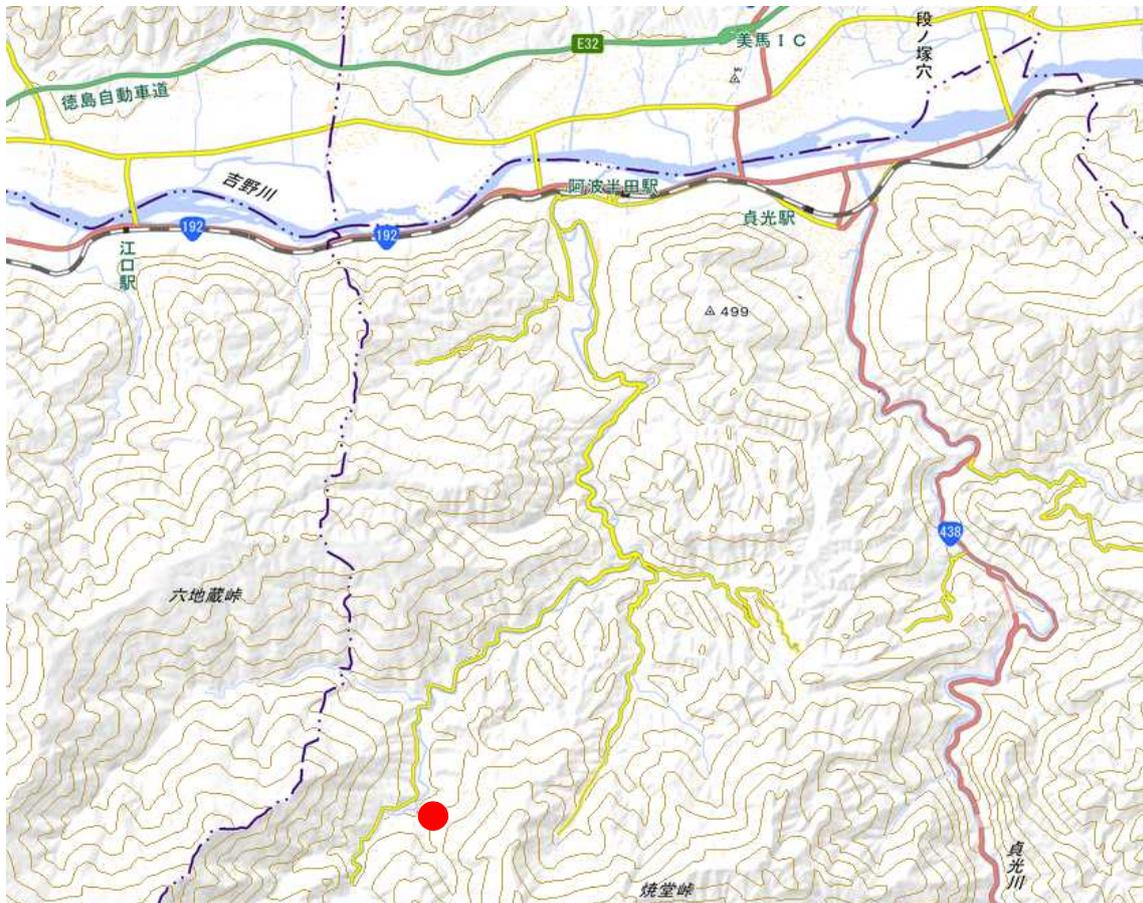
谷口カゲ 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	葛城事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																	
実施箇所	徳島県美馬郡つるぎ町半田葛城																						
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:24.8ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	2.1																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛城地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・平成16年に土砂災害が発生しており、地すべり運動が活発化している。 ・地すべり崩壊により、葛城地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、葛城地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	世帯数:17世帯 重要公共施設:2施設 県道:300m 町道:2,070m等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)		2.1	B/C	6.7	B-C	12.1	EIRR (%)	33.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.1</td> <td>~ 7.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.7</td> <td>~ 6.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.1</td> <td>~ 7.3</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.1	~ 7.5	残工期(+10%~-10%)	6.7	~ 6.6	資産(-10%~+10%)	6.1	~ 7.3
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	6.1	~ 7.5																					
残工期(+10%~-10%)	6.7	~ 6.6																					
資産(-10%~+10%)	6.1	~ 7.3																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家17戸や地域の生活道路である県道小谷西端山線を保全する。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

葛城 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西傍示事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県																	
実施箇所	徳島県三好市池田町大利																						
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:22.0ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	4.8																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 西傍示地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 地すべり崩壊により、西傍示地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、西傍示地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	世帯数:12世帯 重要公共施設:2施設 県道:650m 市道:1,320m等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)		6.0	B/C	2.0	B-C	6.1	EIRR (%)	9.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 2.2</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 2.2	残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.0	資産(-10%~+10%)	1.8	~ 2.2
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 2.2																					
残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.0																					
資産(-10%~+10%)	1.8	~ 2.2																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家12戸や地域の生活道路である県道山城東祖谷山線を保全する。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

西傍示 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	桑内事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県												
実施箇所	徳島県三好市山城町光兼																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:9.3ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度													
総事業費 (億円)	2.1																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑内地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・平成30年7月豪雨により土砂災害が発生し、地すべり運動が活発化している。 ・地すべり崩壊により、桑内地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、桑内地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	世帯数:9世帯 重要公共施設:2施設 県道:480m 市道:1,000m等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	7.8	C:総費用(億円)	2.0	B/C 3.9 B-C 5.8 EIRR (%) 19.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 4.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.5	~ 4.3	残工期(+10%~-10%)	3.9	~ 3.9	資産(-10%~+10%)	3.5	~ 4.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	3.5	~ 4.3															
残工期(+10%~-10%)	3.9	~ 3.9															
資産(-10%~+10%)	3.5	~ 4.3															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家9戸や地域の生活道路である県道粟山殿野線を保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

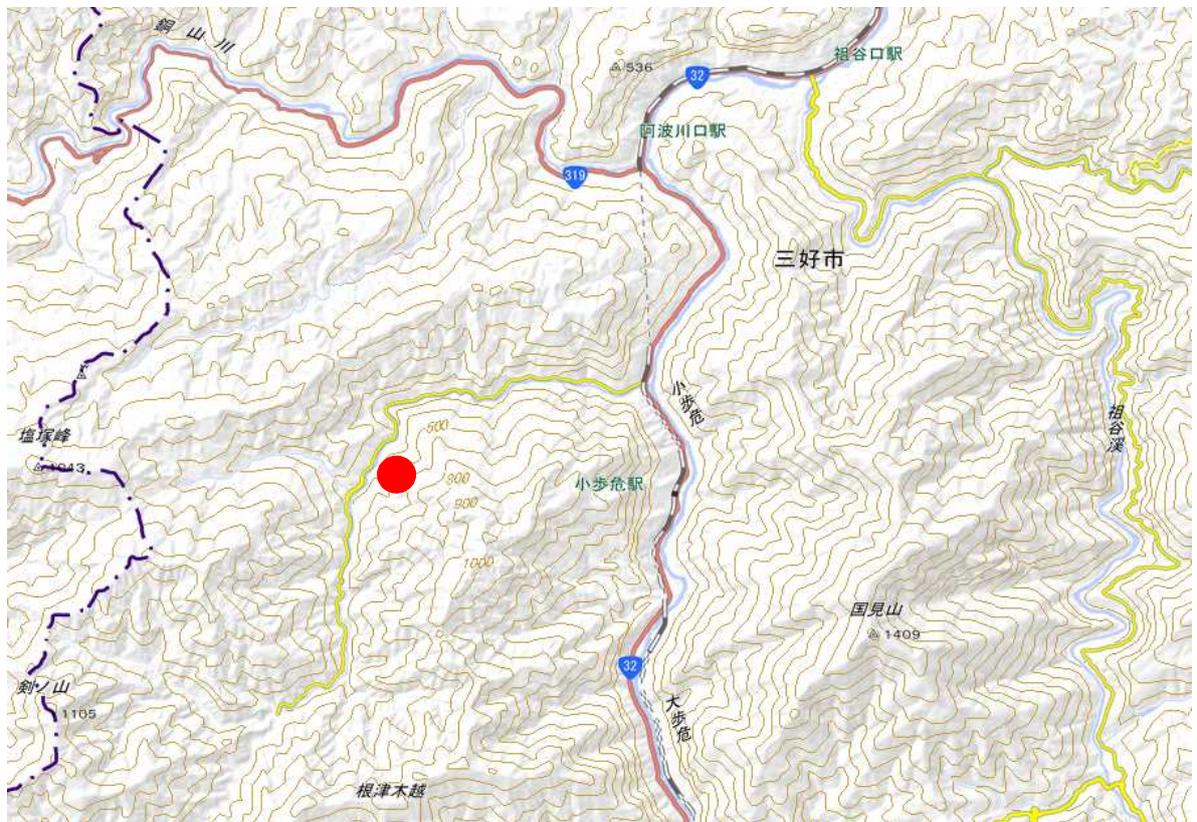
桑内 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	光兼事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県												
実施箇所	徳島県三好市山城町光兼																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:26.8ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度													
総事業費 (億円)	1.3																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・光兼地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・平成30年7月豪雨により土砂災害が発生し、地すべり運動が活発化している。 ・地すべり崩壊により、光兼地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、光兼地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:0.1ha 世帯数:14世帯 重要公共施設:2施設 県道:300m 市道:4,000m等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	1.3	B/C 9.1 B-C 10.2 EIRR (%) 46.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 10.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.2</td> <td>~ 9.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 10.0</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 10.2	残工期(+10%~-10%)	9.2	~ 9.0	資産(-10%~+10%)	8.3	~ 10.0
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 10.2															
残工期(+10%~-10%)	9.2	~ 9.0															
資産(-10%~+10%)	8.3	~ 10.0															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家14戸や地域の生活道路である県道粟山殿野線を保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

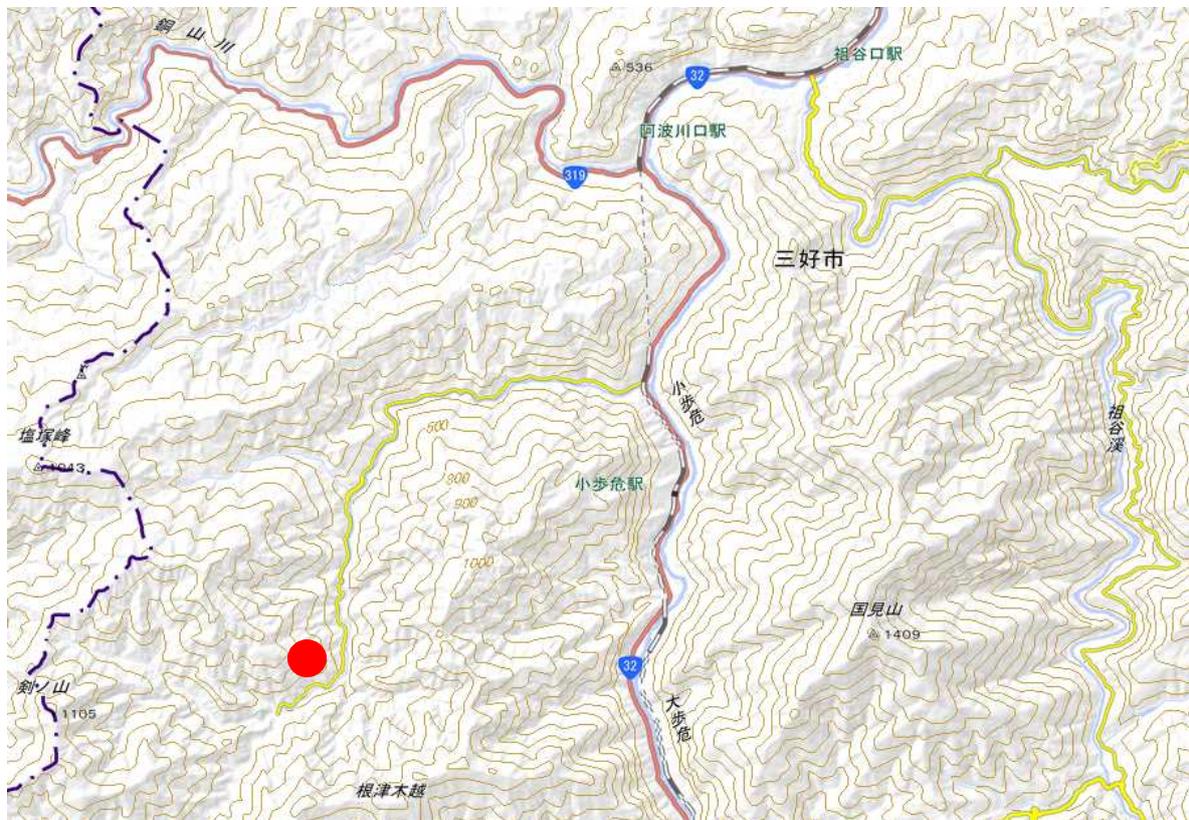
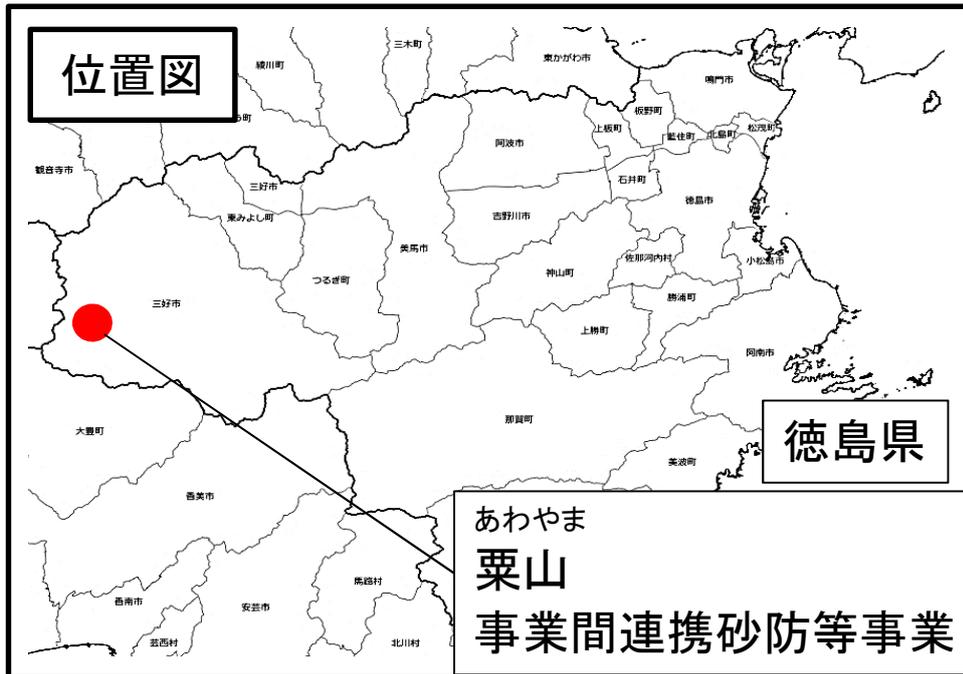
光兼 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	粟山事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県					
実施箇所	徳島県三好市山城町粟山									
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:16.3ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成38年度						
総事業費 (億円)	2.6									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・粟山地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・平成30年7月豪雨により土砂災害が発生し、地すべり運動が活発化している。 ・地すべり崩壊により、粟山地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、粟山地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数:4世帯 重要公共施設:2施設 県道:200m 市道:720m等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	3.8	C:総費用(億円)	2.4	B/C	1.6	B-C	1.4	EIRR (%)	7.1
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.4	~	1.7						
	残工期(+10%~-10%)	1.6	~	1.5						
	資産(-10%~+10%)	1.4	~	1.7						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家4戸や地域の生活道路である県道粟山殿野線を保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

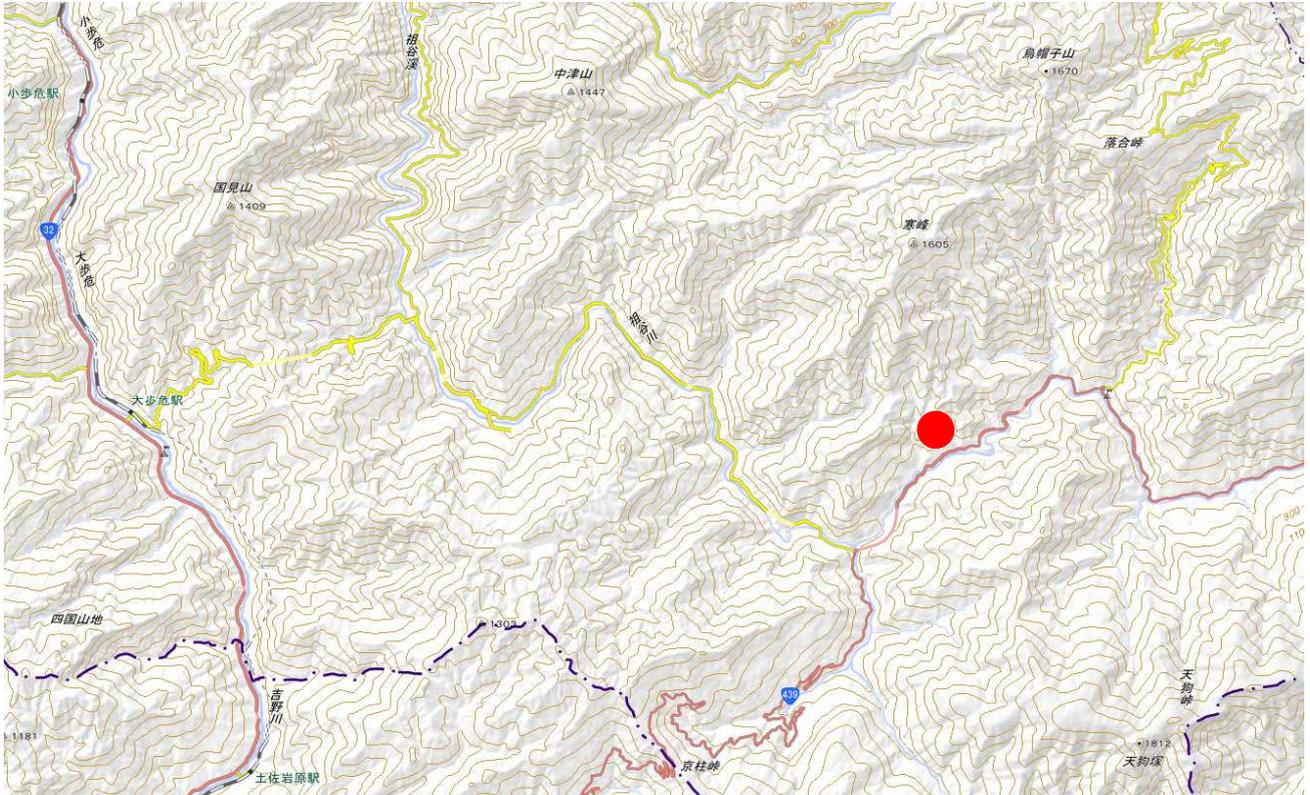
栗山 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	京上事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県					
実施箇所	徳島県三好市東祖谷京上									
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:156.4ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度						
総事業費 (億円)	5.3									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 京上地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 地すべり崩壊により、京上地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、京上地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	世帯数:97世帯 避難所・防災拠点:2施設 重要公共施設:2施設 国道800m 市道2,780m等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	112	C:総費用(億円)	6.2	B/C	18.0	B-C	106.0	EIRR (%)	85.4
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	16.3	~	19.4						
	残工期(+10%~-10%)	18.2	~	17.9						
	資産(-10%~+10%)	16.4	~	19.7						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家97戸や防災拠点である三好市東祖谷総合支所、避難所である祖谷の歴史館ホールを保全する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

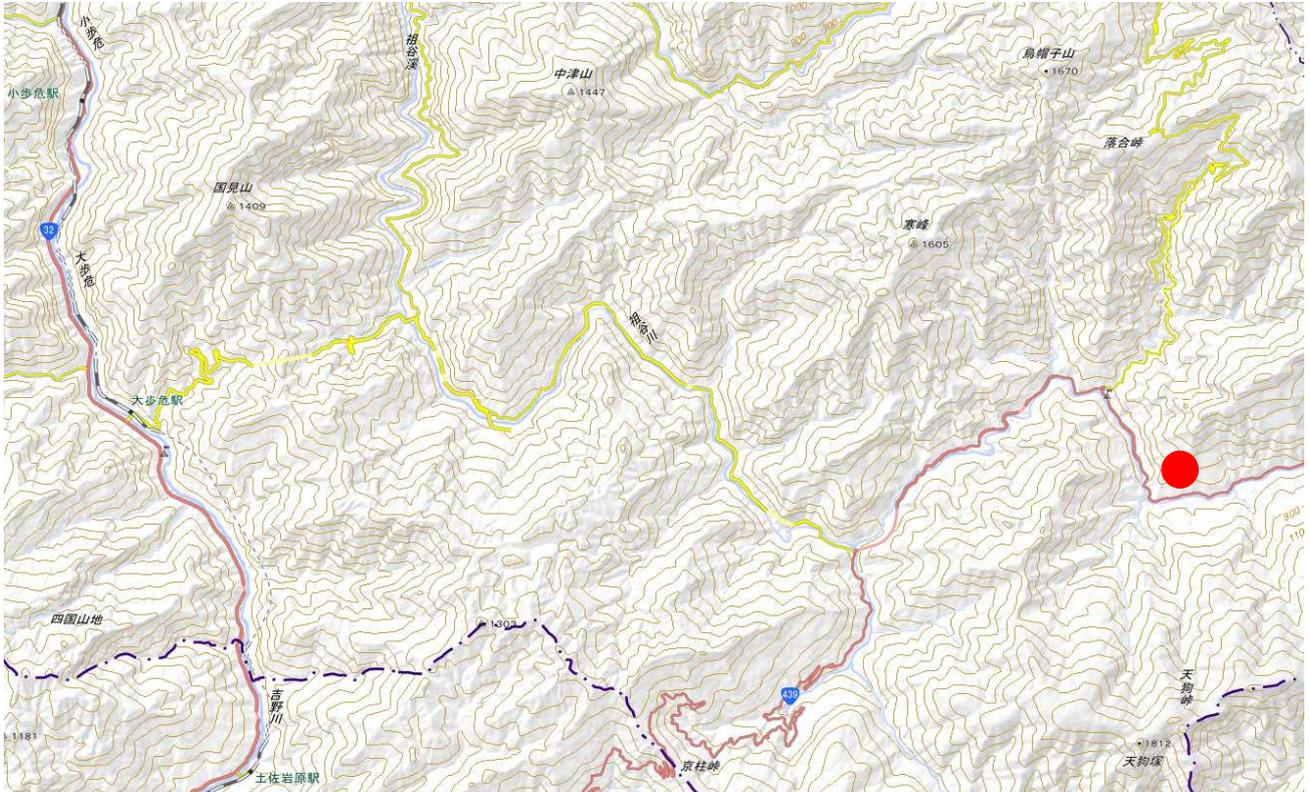
京上 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	久保事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県												
実施箇所	徳島県三好市東祖谷久保																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:64.8ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	2.5																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・久保地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・地すべり崩壊により、久保地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、久保地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	世帯数:47世帯 重要公共施設:2施設 国道:1,500m 市道:4,900m等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	43	C:総費用(億円)	3.9	B/C 11.2 B-C 39.1 EIRR (%) 55.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>10.1</td> <td>~ 12.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>11.2</td> <td>~ 11.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>10.1</td> <td>~ 12.2</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	10.1	~ 12.4	残工期(+10%~-10%)	11.2	~ 11.1	資産(-10%~+10%)	10.1	~ 12.2
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	10.1	~ 12.4															
残工期(+10%~-10%)	11.2	~ 11.1															
資産(-10%~+10%)	10.1	~ 12.2															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家47戸や緊急輸送路である国道439号を保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

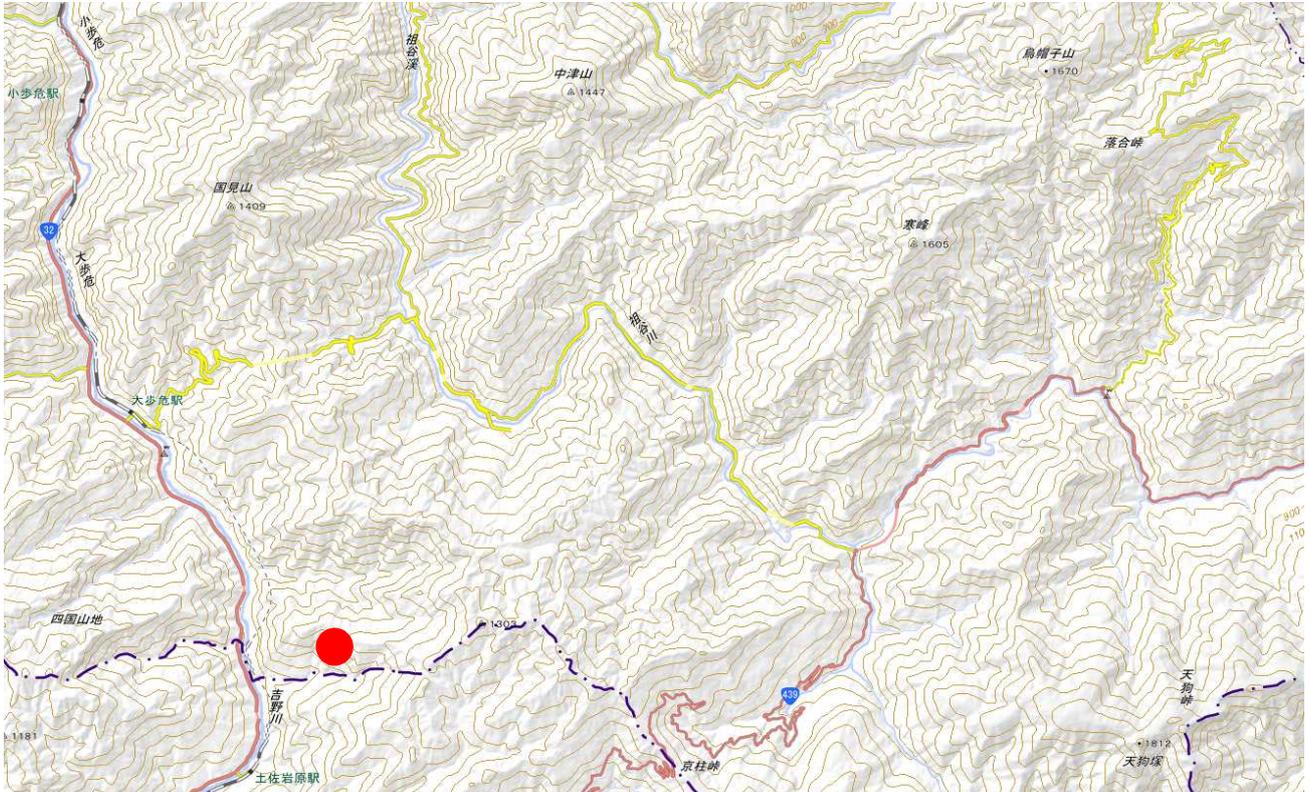
久保 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	有瀬事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県								
実施箇所	徳島県三好市西祖谷山村有瀬												
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:216.7ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工												
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成38年度									
総事業費 (億円)	32												
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有瀬地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・地すべり崩壊により、有瀬地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、有瀬地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 												
便益の主 な根拠	世帯数:56世帯 避難所:1施設 重要公共施設:1施設 市道:13,100m等												
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度											
	B:総便益 (億円)	121	C:総費用(億円)	65	B/C 1.9 B-C 56.4 EIRR (%) 7.5								
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.7 ~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.0 ~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.7 ~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>					全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.7 ~ 2.1	残工期(+10%~-10%)	2.0 ~ 1.8	資産(-10%~+10%)	1.7 ~ 2.0
全体事業(B/C)													
残事業費(+10%~-10%)	1.7 ~ 2.1												
残工期(+10%~-10%)	2.0 ~ 1.8												
資産(-10%~+10%)	1.7 ~ 2.0												
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家56戸や避難所である旧有瀬小学校、天然ダムの決壊により被災が想定されるJR土讃線を保全する。												
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた												

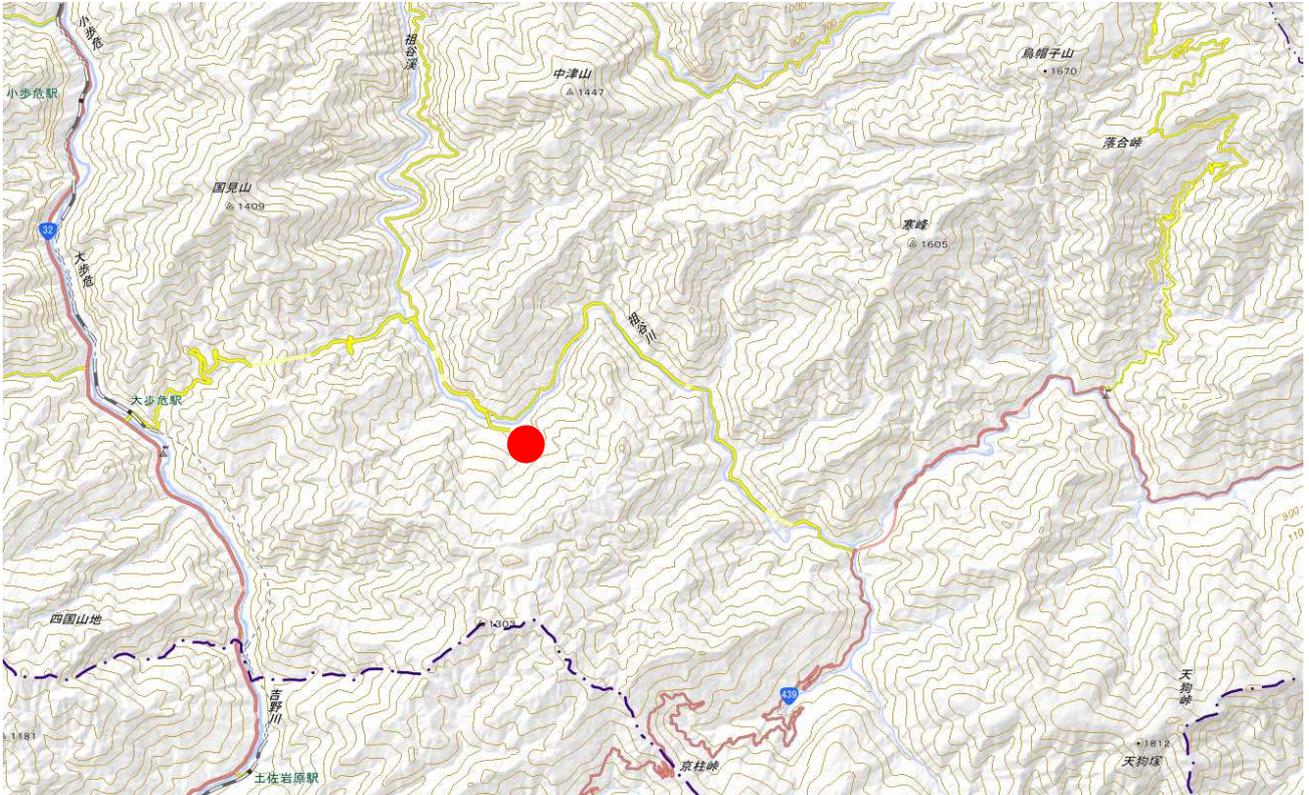
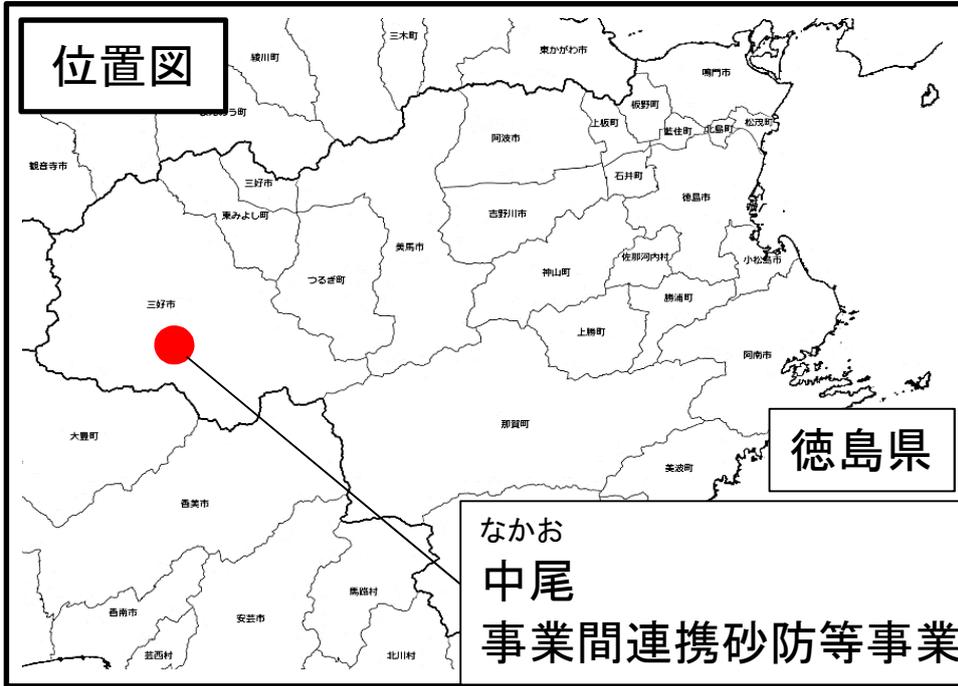
有瀬 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中尾事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	徳島県												
実施箇所	徳島県三好市西祖谷山村中尾																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:34.8ha 主要施設:地下水排除工、地表水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成38年度													
総事業費 (億円)	3.0																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中尾地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。 ・平成30年7月豪雨により土砂災害が発生し、地すべり運動が活発化している。 ・地すべり崩壊により、中尾地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業間連携砂防等事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、中尾地区の人命、資産等を保全する他、地域防災力の向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	世帯数:6世帯 重要公共施設:2施設 県道:300m 市道:1,800m等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	5.4	C:総費用(億円)	2.8	B/C 1.9 B-C 2.6 EIRR (%) 9.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 2.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 2.1	残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9	資産(-10%~+10%)	1.7	~ 2.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 2.1															
残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9															
資産(-10%~+10%)	1.7	~ 2.1															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、地すべり崩壊について、被害が想定される人家6戸や地域の生活道路である県道山城東祖谷山線を保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

中尾 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大多尾川事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県														
				担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	香川県東かがわ市入野山																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.0																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、保全対象として入野山地区624世帯に給水する入野山浄水場や、国道377号(第3次緊急輸送路)158m、及び人家5戸を含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、将来の大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 大多尾川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道377号等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:1.6ha 人家:5戸 重要公共施設:1施設 国道:158m 市道:141m 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	8.3	C:総費用(億円)		2.3	B/C	3.6	B-C	6.0	EIRR (%)	18.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 3.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.9	残工期(+10%~-10%)	3.6	~ 3.6	資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.9
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.9																					
残工期(+10%~-10%)	3.6	~ 3.6																					
資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.9																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、人家5戸、第3次緊急輸送路である国道158m、市道141mが保全される。</p> <p>② 計画規模の豪雨による土石流被害について、入野山浄水場からの624世帯への給水が保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

大多尾川事業間連携砂防等事業 位置図



【凡例】
●:事業箇所



報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

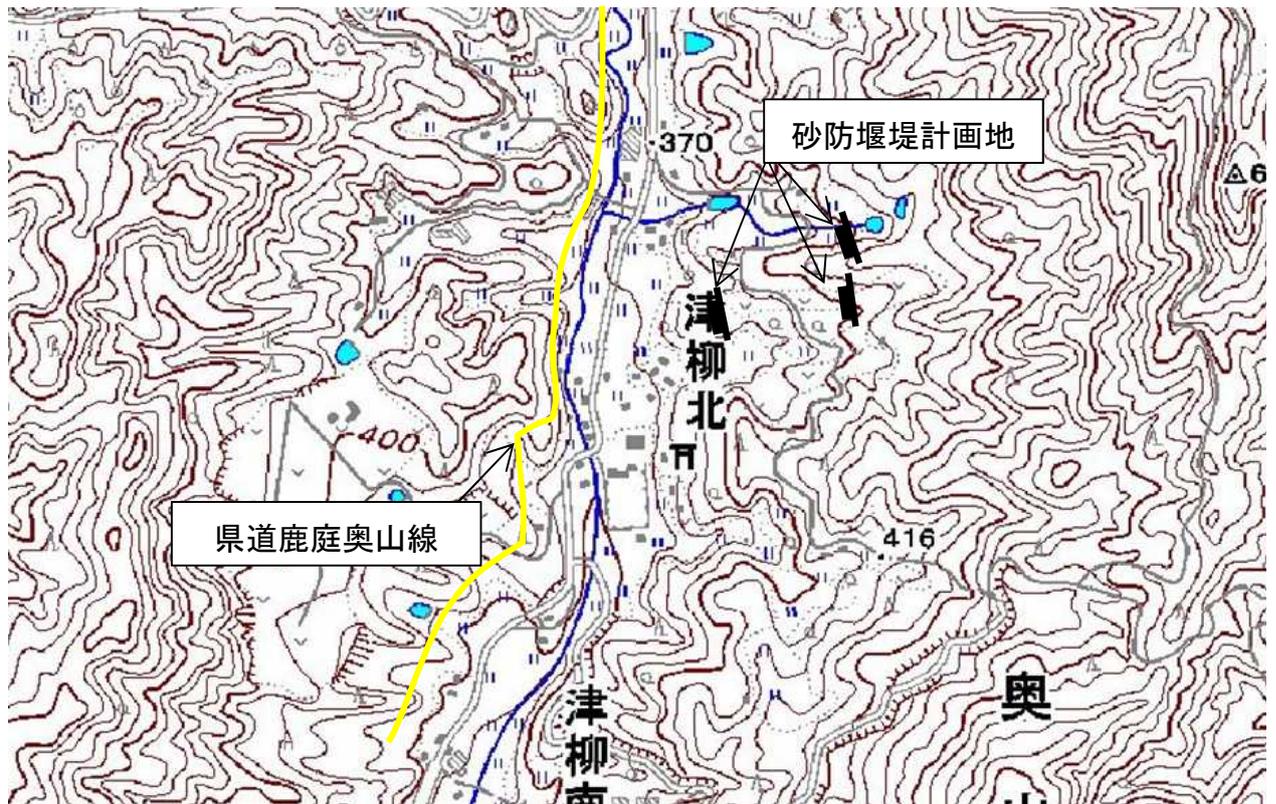
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	津柳八の谷川事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県														
				担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	香川県木田郡三木町奥山																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	2.0																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、保全対象として人家7戸、公民館(町指定避難所)、旧小中学校(町指定避難所)、高齢者保健施設、県道鹿庭奥山線161mを含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、次期大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 津柳八の谷川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道鹿庭奥山線等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.7ha 人家:7戸 重要公共施設:2施設 県道:161m 市道:402m 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)		5.4	B/C	2.0	B-C	5.7	EIRR (%)	9.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 2.3	残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.3	資産(-10%~+10%)	1.9	~ 2.3
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 2.3																					
残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.3																					
資産(-10%~+10%)	1.9	~ 2.3																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、人家7戸、避難所、高齢者保健施設、県道161mが保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

津柳八の谷川事業間連携砂防等事業 位置図



【凡例】
●:事業箇所



報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	亀屋川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	香川県												
実施箇所	香川県高松市生島町																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	0.8																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、保全対象として保全対象として人家32戸、県道高松坂出線等595m(内1次緊急輸送路100m)、市道670mを含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、将来の大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 亀屋川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道高松坂出線等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:8.2ha 人家:32戸 県道:595m 市道:670m 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	25	C:総費用(億円)	1.4	B/C 18.4 B-C 23.5 EIRR (%) 86.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>16.6</td> <td>~ 20.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>18.4</td> <td>~ 18.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>16.6</td> <td>~ 20.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	16.6	~ 20.4	残工期(+10%~-10%)	18.4	~ 18.5	資産(-10%~+10%)	16.6	~ 20.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	16.6	~ 20.4															
残工期(+10%~-10%)	18.4	~ 18.5															
資産(-10%~+10%)	16.6	~ 20.3															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、人家32戸、道高松坂出線595m(内1次緊急輸送路100m)、市道670mが保全される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

亀屋川事業間連携砂防等事業 位置図



報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	岩崎川事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県														
				担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	香川県善通寺市大麻町																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																			
総事業費 (億円)	4.3																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、保全対象として人家68戸、県道大麻琴平買田線52m、市道1,108m、JR土讃線50m(重要交通)含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、将来の大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 岩崎川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道大麻琴平買田線等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:8.8ha 人家:68戸 県道:52m 市道:1,108m 鉄道:JR土讃線50m 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	24	C:総費用(億円)		5.0	B/C	4.8	B-C	19.1	EIRR (%)	21.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 5.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.8</td> <td>~ 5.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 5.3</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.4	~ 5.4	残工期(+10%~-10%)	4.8	~ 5.2	資産(-10%~+10%)	4.4	~ 5.3
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	4.4	~ 5.4																					
残工期(+10%~-10%)	4.8	~ 5.2																					
資産(-10%~+10%)	4.4	~ 5.3																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、人家68戸、県道大麻琴平買田線52m、市道1,108m、JR土讃線50mが保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

岩崎川事業間連携砂防等事業 位置図



平29情使、第1508号)

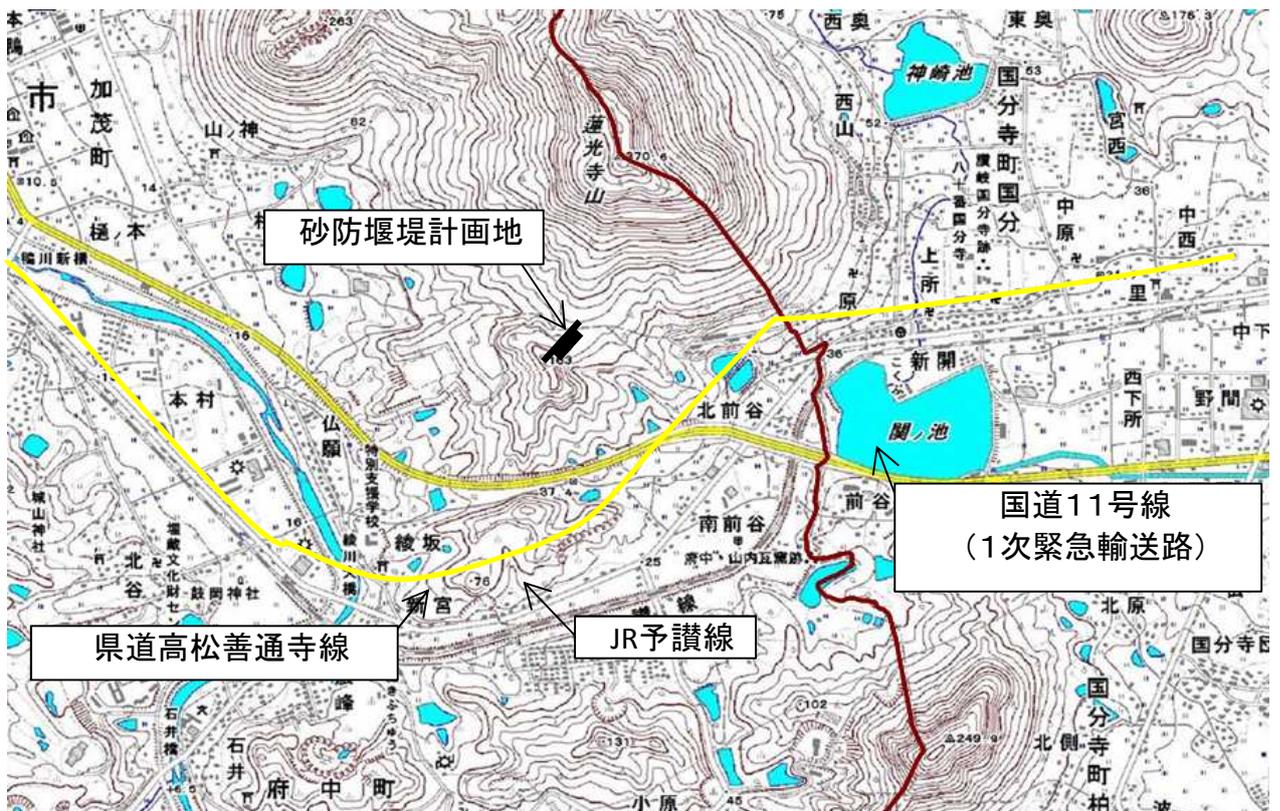
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	池田川事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県		
				担当課長名	今井 一之						
実施箇所	香川県坂出市府中町										
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、溪流保全工										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度							
総事業費 (億円)	1.4										
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、保全対象として人家35戸、国道11号(1次緊急輸送路)130m、県道高松普通寺線370mを含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、将来の大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 池田川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道11号等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>										
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:12ha 人家:35戸 国道:130m 県道:370m 等										
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度								
	B:総便益 (億円)	36	C:総費用(億円)		1.7	B/C	20.8	B-C	33.9	EIRR (%)	98.0
感度分析	<p>全体事業(B/C)</p> <p>残事業費(+10%~-10%) 19.1 ~ 23.1</p> <p>残工期(+10%~-10%) 20.9 ~ 21.0</p> <p>資産(-10%~+10%) 18.8 ~ 22.9</p>										
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、人家35戸、国道11号(1次緊急輸送路)130m、県道高松普通寺線370mが保全される。</p>										
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>										

池田川事業間連携砂防等事業 位置図



【凡例】
 ●: 事業箇所

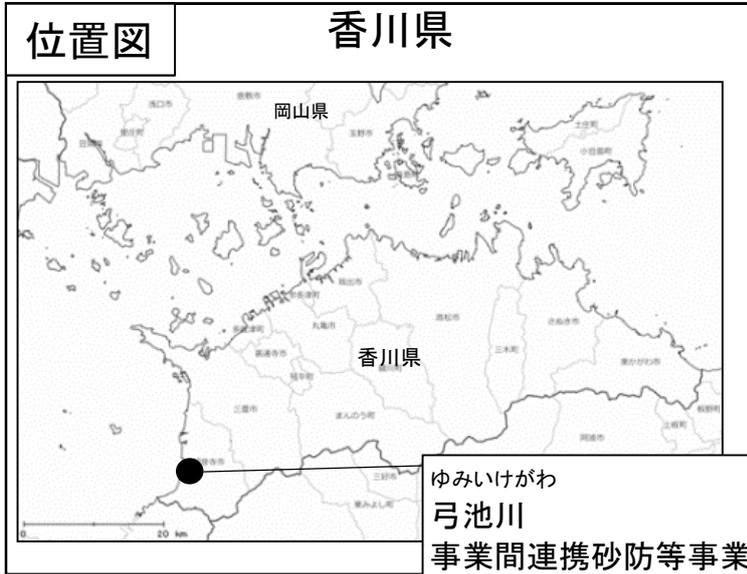


本情報/電子国土基本情報/地図情報/数値地図/国土基本情報/電子国土基本情報/地図情報/数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

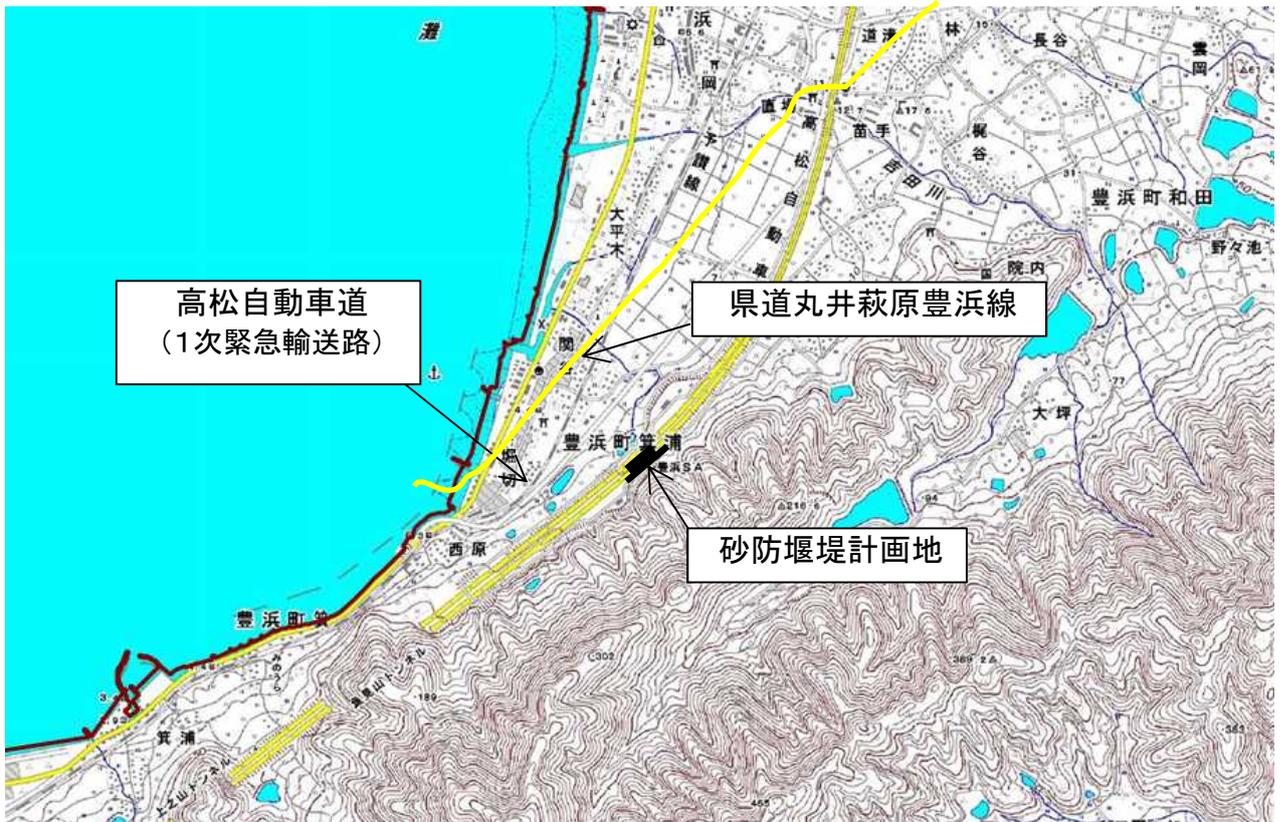
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	弓池川事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県														
				担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	香川県観音寺市豊浜町箕浦																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																			
総事業費 (億円)	1.2																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、人家26戸、高松自動車道160m(1次緊急輸送路)、県道丸井萩原豊浜線390m(市指定避難路)を含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、将来の大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 弓池川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による高松自動車道等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:12ha 人家:26戸 高速道路:160m 県道:390m 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)		2.6	B/C	4.9	B-C	10.3	EIRR (%)	22.6												
感度分析	<table border="0"> <tr> <td></td> <td colspan="2">全体事業(B/C)</td> </tr> <tr> <td>残事業費(+10~-10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 5.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10~-10%)</td> <td>4.9</td> <td>~ 4.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10~+10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 5.4</td> </tr> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10~-10%)	4.4	~ 5.4	残工期(+10~-10%)	4.9	~ 4.9	資産(-10~+10%)	4.4	~ 5.4
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10~-10%)	4.4	~ 5.4																					
残工期(+10~-10%)	4.9	~ 4.9																					
資産(-10~+10%)	4.4	~ 5.4																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家26戸、高松自動車道160m(1次緊急輸送路)、県道丸井萩原豊浜線390m(市指定避難路)が保全される。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

弓池川事業間連携砂防等事業 位置図



【凡例】
●:事業箇所



報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西堀切川事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県														
				担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	香川県観音寺市豊浜町箕浦																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																			
総事業費 (億円)	1.5																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本溪流は、保全対象として、人家62戸、高松自動車道(1次緊急輸送路)109m、国道11号(1次緊急輸送路)335m、JR予讃線375mを含む土石流危険溪流である。流域には多量の土砂が堆積しており、将来の大雨により土石流が発生する危険性が高まっている状況にあり、土砂災害が発生すれば、下流に甚大な被害が発生する可能性がある。</p> <p><達成すべき目標> 西堀切川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による高松自動車道等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:10ha 人家:62戸 高速道路:109m 国道:335m 鉄道:JR予讃線375m 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	48	C:総費用(億円)		2.2	B/C	22.3	B-C	45.7	EIRR (%)	103.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>20.3</td> <td>~ 24.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>22.3</td> <td>~ 22.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>20.1</td> <td>~ 24.5</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	20.3	~ 24.7	残工期(+10%~-10%)	22.3	~ 22.4	資産(-10%~+10%)	20.1	~ 24.5
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	20.3	~ 24.7																					
残工期(+10%~-10%)	22.3	~ 22.4																					
資産(-10%~+10%)	20.1	~ 24.5																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、人家62戸、高松自動車道(1次緊急輸送路)109m、国道11号(1次緊急輸送路)335m、JR予讃線375mが保全される。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	森窪(3)地区事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	香川県															
				担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	香川県高松市香川町東谷																						
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工、法枠工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	1.2																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本地区は、保全対象として人家6戸及び避難路である県道中徳三谷高松線100mを含むがけ高21m、勾配44度の急傾斜地である。周辺の地形は二級河川天満川を挟んで南北に急峻な斜面が迫った谷地形であり、地区内を通る県道は地域防災計画に位置づけられた避難所までの唯一の避難経路となっている。当該地区の斜面は風化が著しく、次期降雨等による土砂崩落により、がけ下に甚大な被害がおよぶ危険性がある。</p> <p><達成すべき目標> 森窪(3)地区において降雨により土砂崩落の可能性がある急傾斜地について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道中徳三谷高松線等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	被害想定区域面積:1.6ha 人家:6戸 県道:100m 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	2.7	C:総費用(億円)		1.5	B/C	1.8	B-C	1.2	EIRR (%)	7.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 2.0	残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8	資産(-10%~+10%)	1.6	~ 2.0
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 2.0																					
残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8																					
資産(-10%~+10%)	1.6	~ 2.0																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①急傾斜地の崩壊による被害について、人家6戸、県道中徳三谷高松線100mが保全される。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

森窪(3)地区事業間連携砂防等事業 位置図



報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

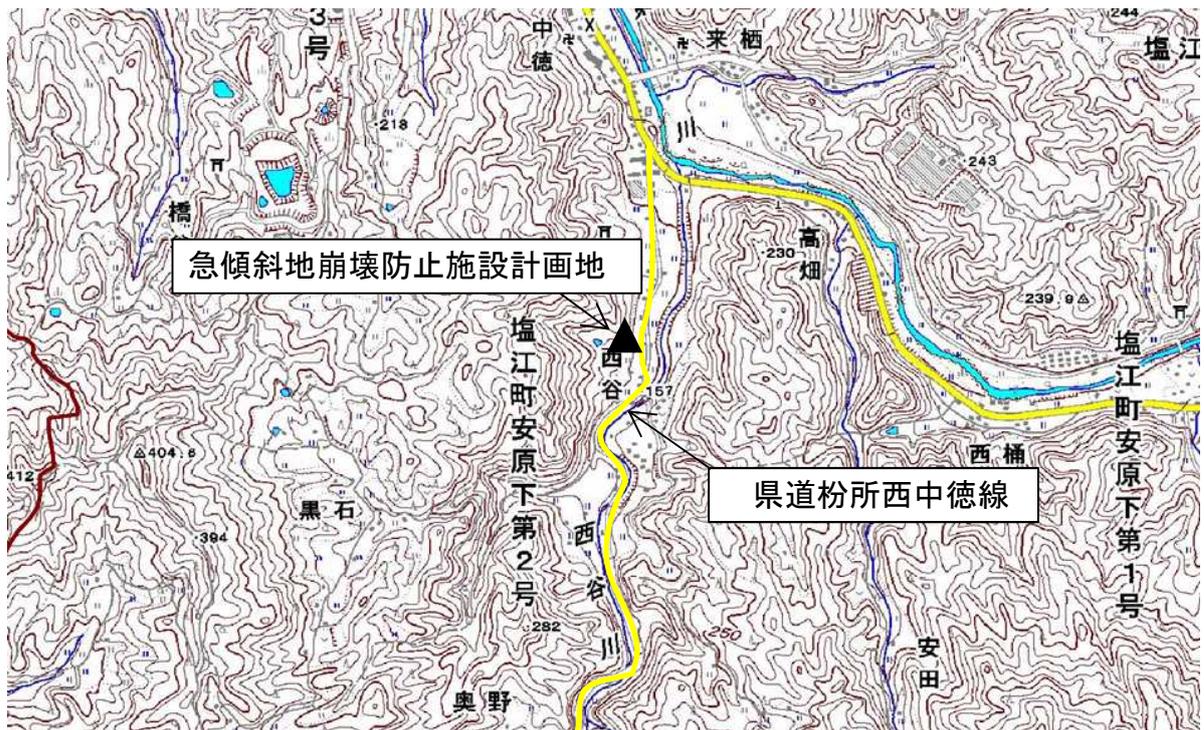
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西谷地区事業間連携砂防等事業			担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	香川県													
				担当課長名	今井 一之																	
実施箇所	香川県高松市塩江町安原下																					
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工、法砕工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	2.3																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 本地区は、保全対象として人家13戸及び県道粉所西中徳線180mを含むがけ高41m、勾配40度の急傾斜地である。当該地区の斜面は大規模斜面であり、かつ周辺の地形は二級河川西谷川を挟んで東西に急峻な斜面が迫った谷地形のため次期降雨等により崩壊するとがけ下に基大な被害がおよぶ危険性がある。</p> <p><達成すべき目標> 西谷地区において降雨により土砂崩落の可能性がある急傾斜地について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道粉所西中徳線等への被害を軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																					
便益の主 な根拠	被害想定区域面積:0.6ha 人家:13戸 県道:180m 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	5.2	C:総費用(億円)	2.3	B/C	2.3	B-C	2.9	EIRR (%)	10.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.3	~ 2.3	資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.3	~ 2.3																				
資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①急傾斜地の崩壊による被害について、人家13戸、一般県道粉所西中徳線180mが保全される。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

西谷地区事業間連携砂防等事業 位置図



【凡例】
●: 事業箇所



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平29情使、第1508号)

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	不老谷川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	砂防計画課 今井 一之																		
実施箇所	愛媛県四国中央市中曾根町																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.9																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国中央市中曾根町において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道319号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	想定氾濫面積:60.4ha 人家:72戸 重要公共施設:3施設 国道:170m 市道:10m 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	46	C:総費用(億円)	3.7	B/C	12.7	B-C	42.8	EIRR (%)	57.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>11.6</td> <td>~ 14.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>12.6</td> <td>~ 12.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.5</td> <td>~ 13.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	11.6	~ 14.2	残工期(+10%~-10%)	12.6	~ 12.7	資産(-10%~+10%)	12.5	~ 13.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	11.6	~ 14.2																				
残工期(+10%~-10%)	12.6	~ 12.7																				
資産(-10%~+10%)	12.5	~ 13.0																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家72戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

不老谷川 事業間連携砂防等事業 位置図

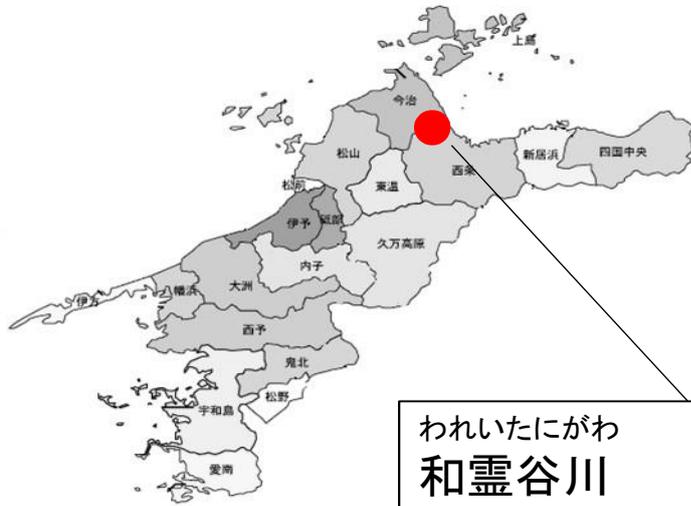


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	和霊谷川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県																				
			担当課長名	今井 一之																							
実施箇所	愛媛県西条市丹原町関屋																										
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																							
総事業費 (億円)	1.8																										
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西条市丹原町関屋において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																										
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:12.5ha 人家:21戸 重要公共施設:2施設 県道:430m 市道:70m 等																										
事業全体の 投資効 率性	基準年度		平成28年度																								
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)		2.0	B/C	7.0	B-C	11.6	EIRR (%)	32.0																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>6.4</td> <td>~ 7.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>7.0</td> <td>~ 7.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>6.8</td> <td>~ 7.1</td> </tr> </tbody> </table>													全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		6.4	~ 7.0	残工期(+10%~-10%)		7.0	~ 7.0	資産(-10%~+10%)		6.8	~ 7.1
		全体事業(B/C)																									
残事業費(+10%~-10%)		6.4	~ 7.0																								
残工期(+10%~-10%)		7.0	~ 7.0																								
資産(-10%~+10%)		6.8	~ 7.1																								
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家21戸を保全する。</p>																										
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																										

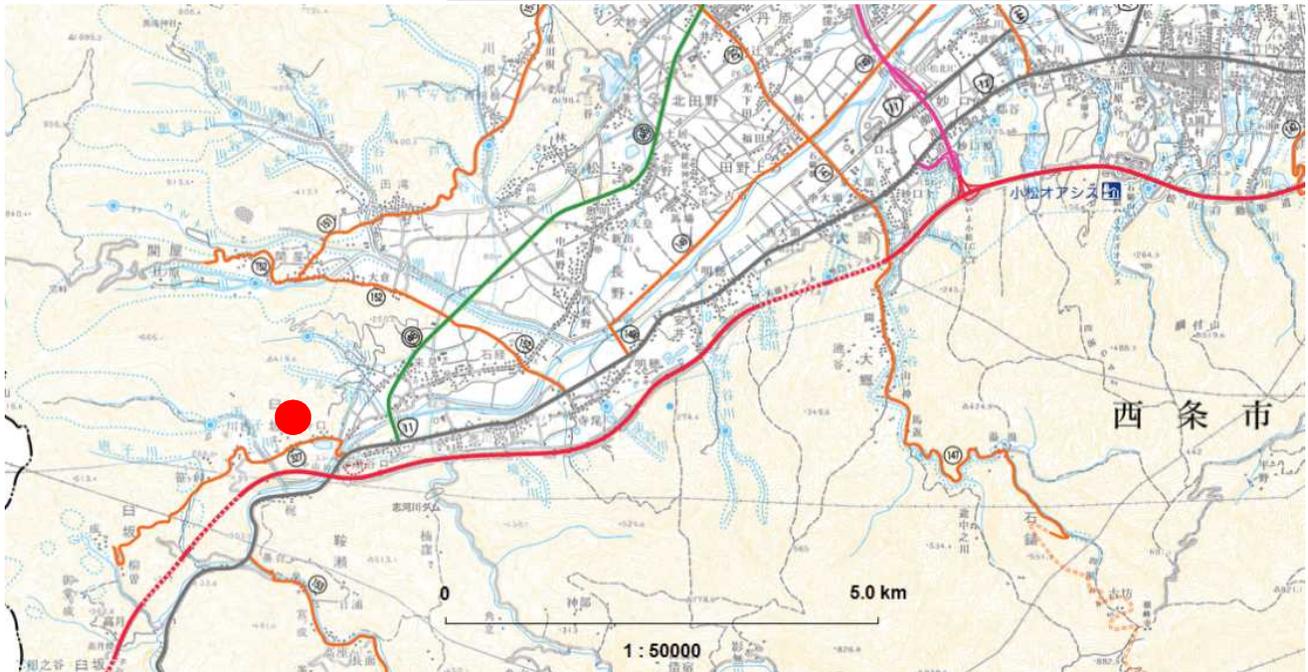
和霊谷川 事業間連携砂防等事業 位置図



愛媛県

われいたにがわ
和霊谷川
事業間連携砂防等事業

【凡例】
●: 事業箇所



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	米山川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業 主体	愛媛県																				
			担当課長名	砂防計画課 今井 一之																						
実施箇所	愛媛県西条市楠																									
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																						
総事業費 (億円)	2.2																									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西条市楠において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																									
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:10.6ha 人家:43戸 重要公共施設:4施設 県道:367m 等																									
事業全体の 投資効率 率性	基準年度		平成28年度																							
	B:総便益 (億円)	31	C:総費用(億円)	2.1	B/C	14.7	B-C	28.7	EIRR (%)	67.6																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>13.3</td> <td>~ 14.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>14.7</td> <td>~ 14.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>14.4</td> <td>~ 14.9</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		13.3	~ 14.8	残工期(+10%~-10%)		14.7	~ 14.7	資産(-10%~+10%)		14.4	~ 14.9
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)		13.3	~ 14.8																							
残工期(+10%~-10%)		14.7	~ 14.7																							
資産(-10%~+10%)		14.4	~ 14.9																							
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家43戸を保全する。</p>																									
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																									

米山川 事業間連携砂防等事業 位置図

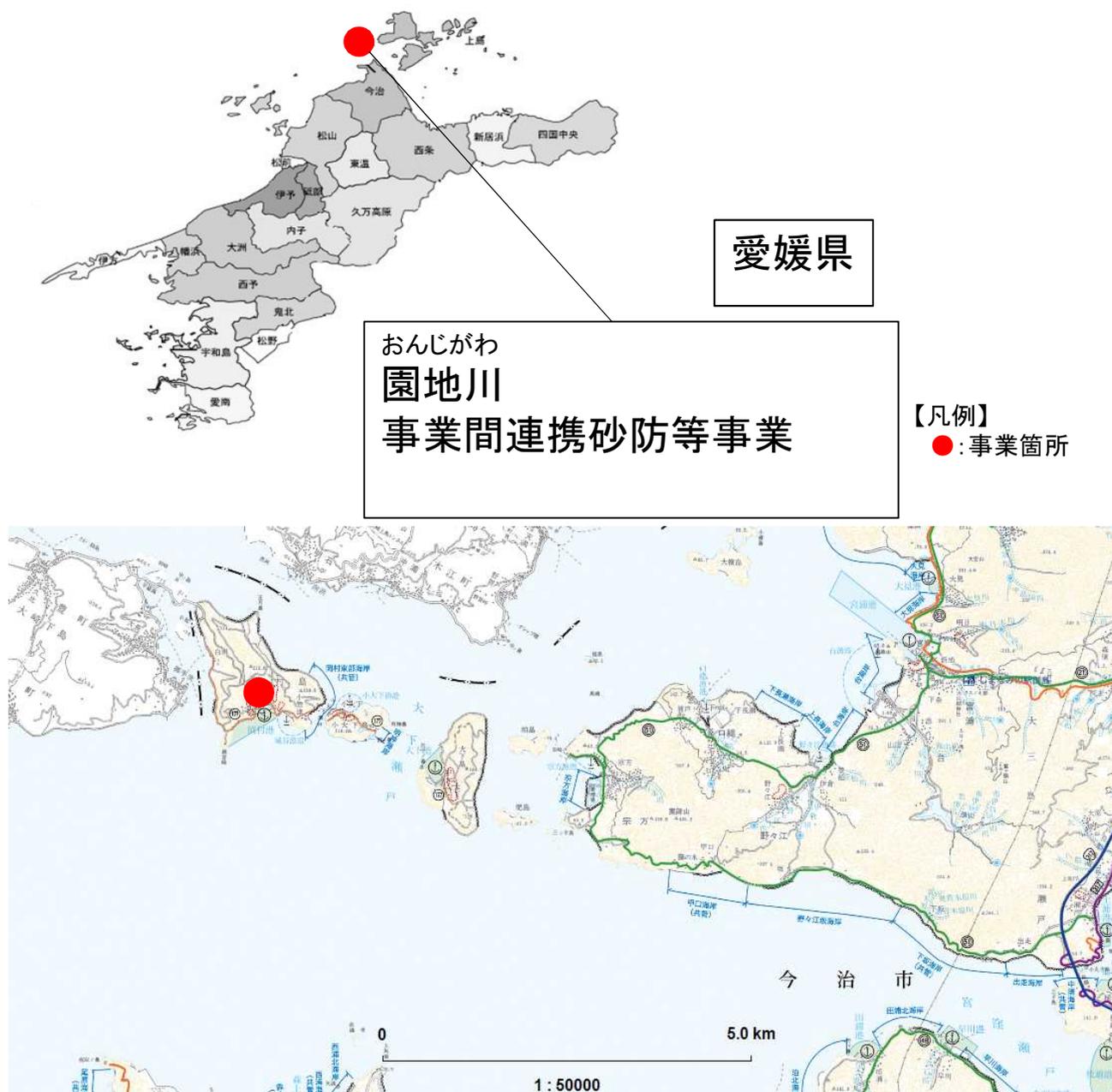


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	園地川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	砂防計画課 今井 一之																		
実施箇所	愛媛県今治市関前岡村																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治市関前岡村において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	想定氾濫面積:3.0ha 人家:62戸 重要公共施設:2施設 県道:830m 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	48	C:総費用(億円)	2.6	B/C	18.6	B-C	45.5	EIRR (%)	83.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>16.9</td> <td>~ 18.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>18.4</td> <td>~ 18.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>18.3</td> <td>~ 19.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	16.9	~ 18.8	残工期(+10%~-10%)	18.4	~ 18.5	資産(-10%~+10%)	18.3	~ 19.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	16.9	~ 18.8																				
残工期(+10%~-10%)	18.4	~ 18.5																				
資産(-10%~+10%)	18.3	~ 19.0																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家62戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

園地川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	イモホリ川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県																
実施箇所	愛媛県今治市宮窪町宮窪																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	2.3																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治市宮窪町宮窪において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道317号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:14.2ha 人家:106戸 重要公共施設:3施設 国道:361m 市道:3,106m 等																					
事業全体の 投資効率 率性	基準年度		平成28年度																			
	B:総便益 (億円)	80	C:総費用(億円)	2.4	B/C	33.2	B-C	77.9	EIRR (%)	153.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>30.3</td> <td>~ 33.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>33.5</td> <td>~ 33.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>32.5</td> <td>~ 33.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	30.3	~ 33.8	残工期(+10%~-10%)	33.5	~ 33.1	資産(-10%~+10%)	32.5	~ 33.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	30.3	~ 33.8																				
残工期(+10%~-10%)	33.5	~ 33.1																				
資産(-10%~+10%)	32.5	~ 33.8																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家106戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

イモホリ川 事業間連携砂防等事業 位置図



愛媛県

がわ
イモホリ川
事業間連携砂防等事業

【凡例】
●: 事業箇所

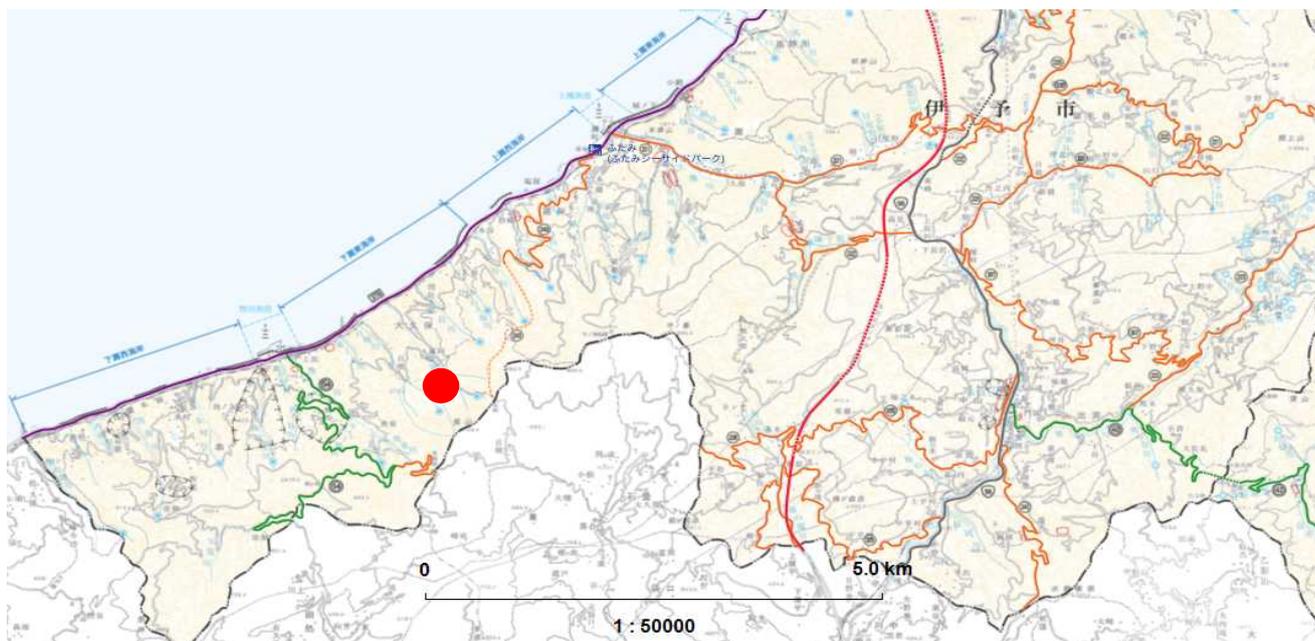
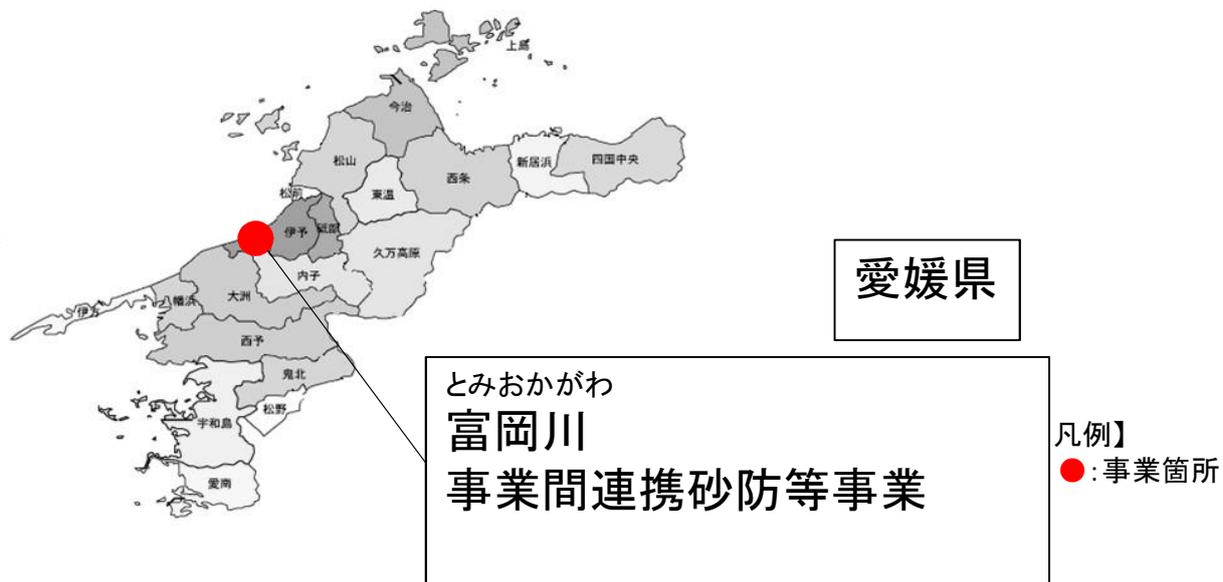


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	富岡川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県												
実施箇所	愛媛県伊予市双海町大久保																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.5																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊予市双海町大久保において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:4.5ha 人家:6戸 重要公共施設:3施設 国道:50m 市道:1,500m 等																
事業全体の 投資効率 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	5.5	C:総費用(億円)	3.8	B/C 1.5 B-C 1.7 EIRR (%) 6.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.5</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.3	~ 1.5	残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.5
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	1.3	~ 1.5															
残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.7															
資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.5															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家6戸を保全する。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

富岡川 事業間連携砂防等事業 位置図

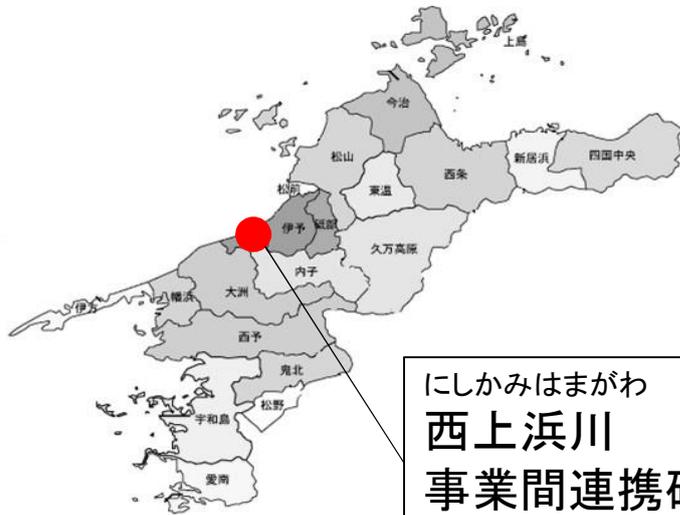


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西上浜川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	今井 一之																			
実施箇所	愛媛県伊予市双海町串																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	1.5																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊予市双海町串において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
	便益の主な根拠	想定氾濫面積:1.9ha 人家:12戸 重要公共施設:3施設 国道:60m 市道:60m 等																					
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.4	C:総費用(億円)		1.8	B/C	3.5	B-C	4.6	EIRR (%)	15.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 3.6</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.5	残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.5	資産(-10%~+10%)	3.4	~ 3.6
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.5																					
残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.5																					
資産(-10%~+10%)	3.4	~ 3.6																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家12戸を保全する。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

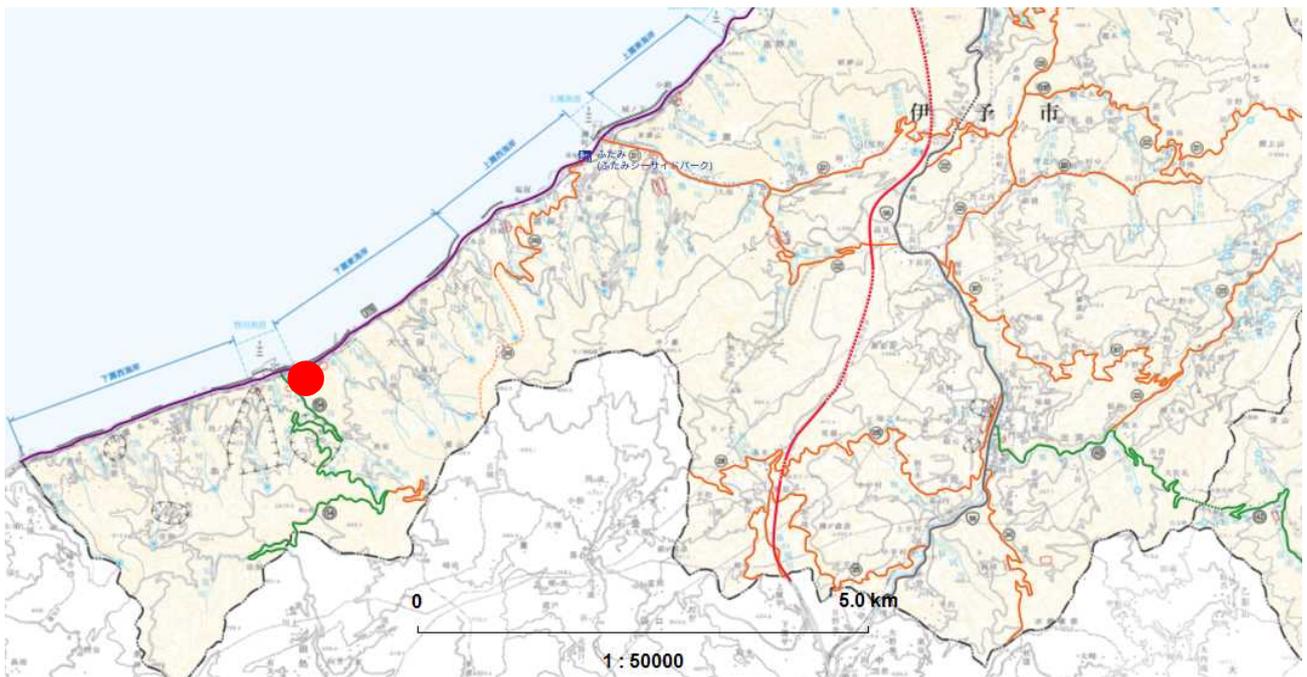
西上浜川 事業間連携砂防等事業 位置図



愛媛県

にしかみはまがわ
西上浜川
事業間連携砂防等事業

【凡例】
●:事業箇所

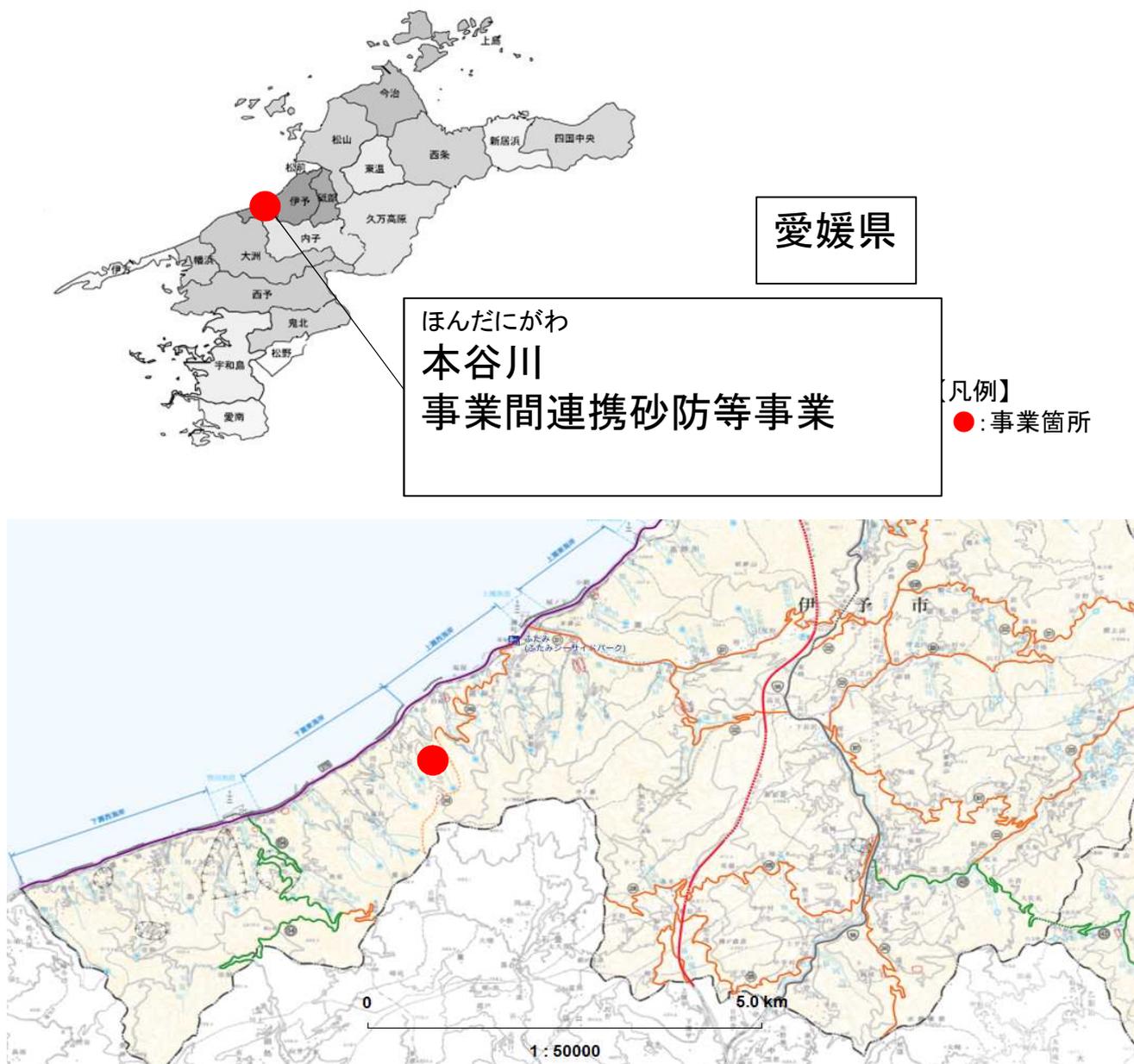


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	本谷川事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業主体	愛媛県																					
		担当課長名	砂防計画課 今井 一之																							
実施箇所	愛媛県伊予市双海町大久保																									
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																						
総事業費 (億円)	1.1																									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊予市双海町大久保において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																									
便益の主な根拠	想定氾濫面積:8.0ha 人家:22戸 重要公共施設:3施設 国道:250m 市道:906m 等																									
事業全体の投資効率性	基準年度	平成26年度																								
	B:総便益 (億円)	17	C:総費用(億円)	1.7	B/C	10.4	B-C	15.8	EIRR (%)	47.6																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>9.5</td> <td>~ 10.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>10.5</td> <td>~ 10.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>10.3</td> <td>~ 10.6</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		9.5	~ 10.6	残工期(+10%~-10%)		10.5	~ 10.4	資産(-10%~+10%)		10.3	~ 10.6
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)		9.5	~ 10.6																							
残工期(+10%~-10%)		10.5	~ 10.4																							
資産(-10%~+10%)		10.3	~ 10.6																							
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家22戸を保全する。</p>																									
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																									

本谷川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大内野川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県伊予郡砥部町玉谷																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.80																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊予郡砥部町玉谷において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道379号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.8ha 人家:12戸 重要公共施設:2施設 国道:155m 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	22	C:総費用(億円)		1.7	B/C	13.3	B-C	20.3	EIRR (%)	61.6											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.1</td> <td>~ 13.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.4</td> <td>~ 13.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>13.2</td> <td>~ 13.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.1	~ 13.4	残工期(+10%~-10%)	13.4	~ 13.2	資産(-10%~+10%)	13.2	~ 13.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	12.1	~ 13.4																				
残工期(+10%~-10%)	13.4	~ 13.2																				
資産(-10%~+10%)	13.2	~ 13.4																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家12戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

大内野川 事業間連携砂防等事業 位置図

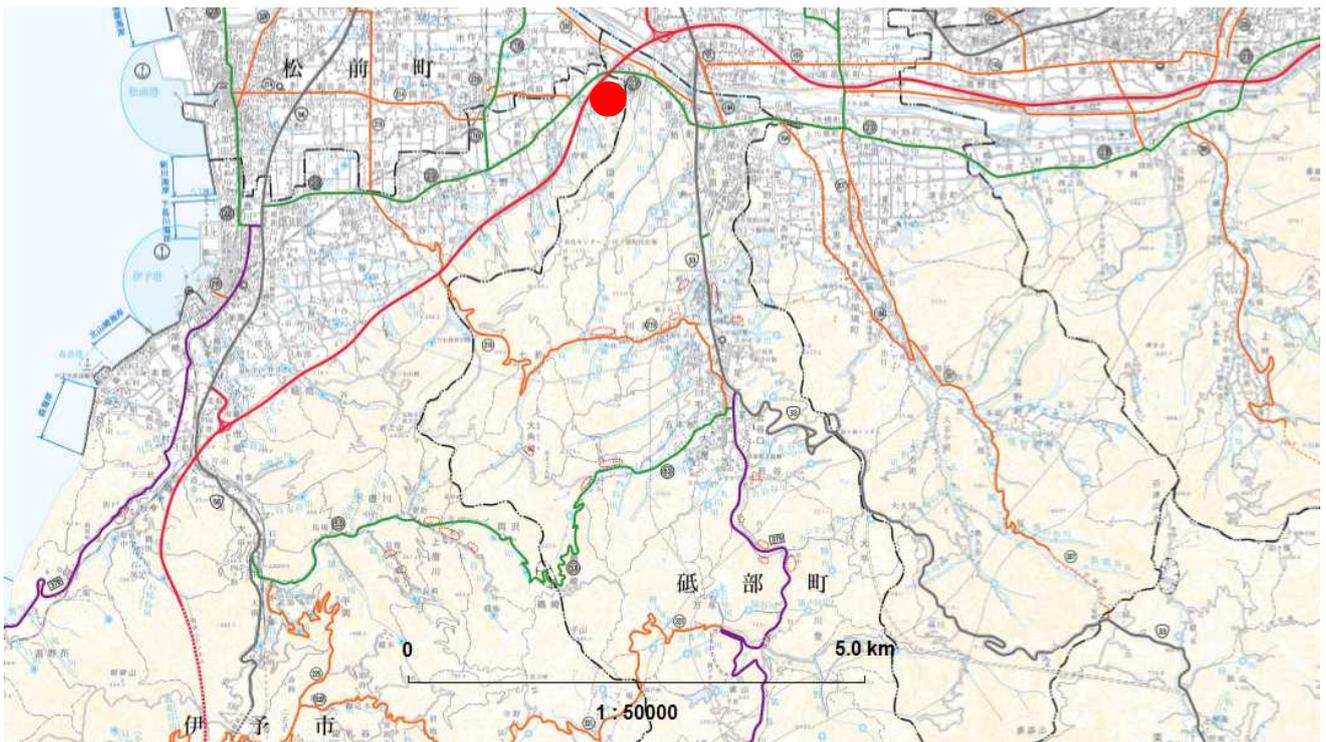
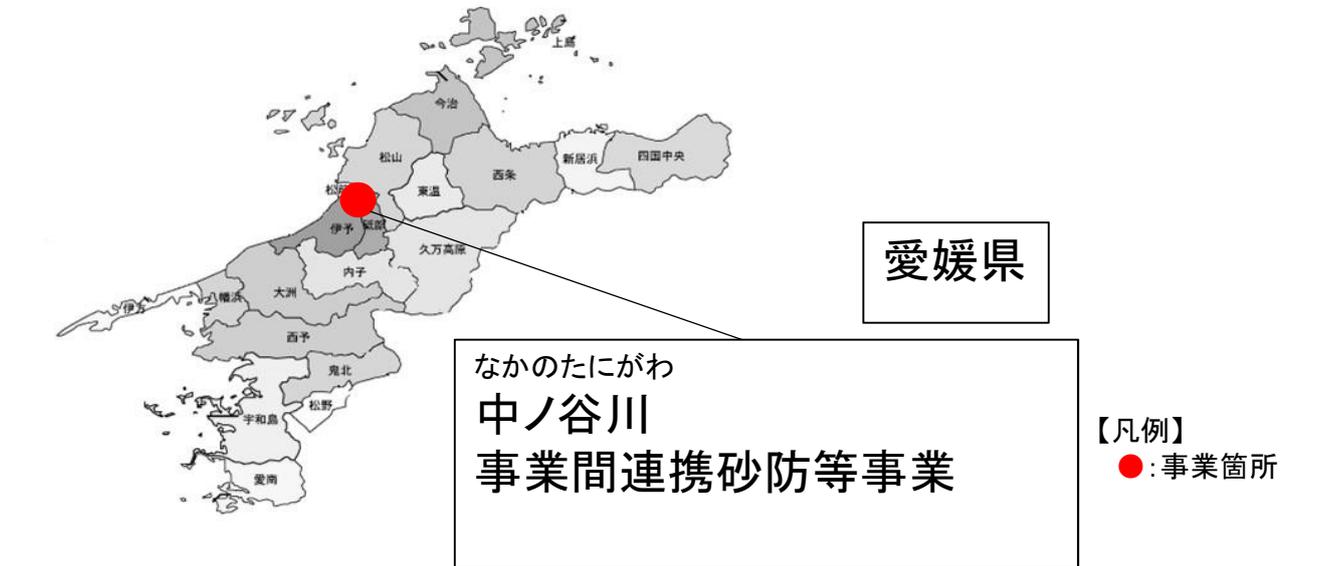


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中ノ谷川事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課	事業 主体	愛媛県												
		担当課長名	今井 一之														
実施箇所	愛媛県伊予市八倉																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	1.7																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊予市八倉において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による松山自動車道及び県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:32.0ha 人家:95戸 事業所:1施設 重要公共施設:4施設 高速道路:600m 県道:477m 市道:4,702m 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	68	C:総費用(億円)	2.2	B/C 30.9 B-C 66.1 EIRR (%) 139.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>28.1</td> <td>~ 31.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>31.1</td> <td>~ 30.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>30.3</td> <td>~ 31.6</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	28.1	~ 31.2	残工期(+10%~-10%)	31.1	~ 30.7	資産(-10%~+10%)	30.3	~ 31.6
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	28.1	~ 31.2															
残工期(+10%~-10%)	31.1	~ 30.7															
資産(-10%~+10%)	30.3	~ 31.6															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家95戸を保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

中ノ谷川 事業間連携砂防等事業 位置図

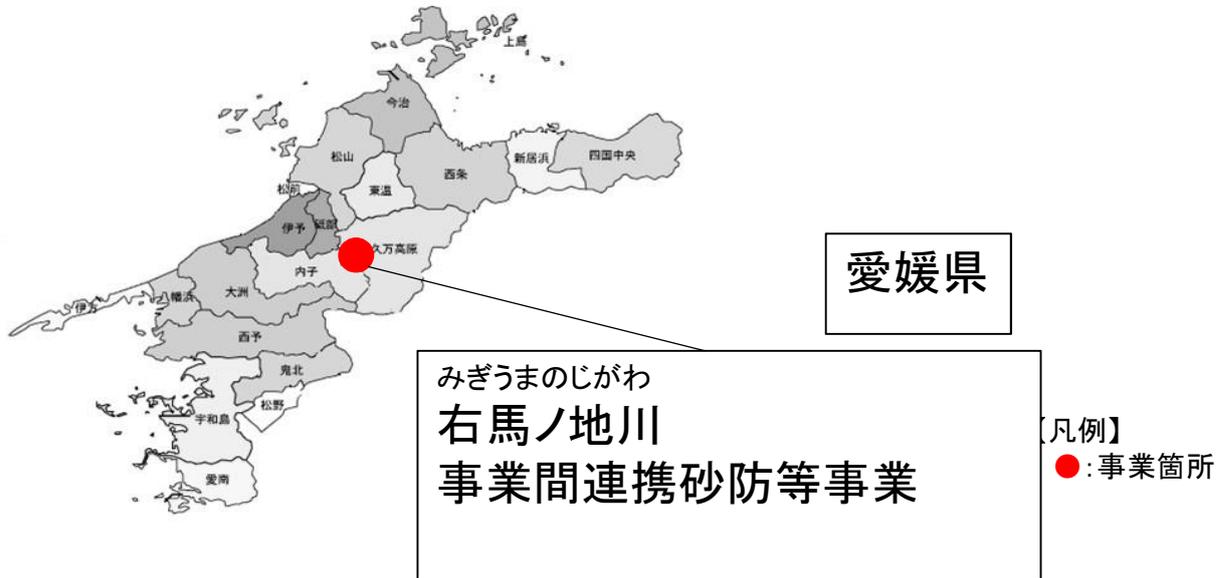


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	右馬ノ地川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県																	
実施箇所	愛媛県上浮穴郡久万高原町父野川																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上浮穴郡久万高原町父野川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道380号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:8.0ha 人家:8戸 重要公共施設:3施設 国道:70m 町道:70m 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度 B:総便益 (億円)	平成26年度 5.6	C:総費用(億円)	2.2	B/C	2.6	B-C	3.4	EIRR (%)	11.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.6	残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.6																				
残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.6																				
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.6																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家8戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

右馬ノ地川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	十郎谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県															
実施箇所	愛媛県喜多郡内子町大瀬中央																			
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																			
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																
総事業費 (億円)	1.5																			
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜多郡内子町大瀬中央において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道379号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																			
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:0.5ha 人家:6戸 重要公共施設:1施設 国道:100m 等																			
事業全体の 投資効率 率性	基準年度 B:総便益 (億円)	平成27年度 8.9	C:総費用(億円)	2.3	B/C 3.9	B-C 6.7	EIRR (%)	17.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 4.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 4.0</td> </tr> </tbody> </table>									全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 4.0	残工期(+10%~-10%)	3.9	~ 3.9	資産(-10%~+10%)	3.9	~ 4.0
	全体事業(B/C)																			
残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 4.0																		
残工期(+10%~-10%)	3.9	~ 3.9																		
資産(-10%~+10%)	3.9	~ 4.0																		
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家6戸を保全する。</p>																			
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																			

十郎谷川 事業間連携砂防等事業 位置図

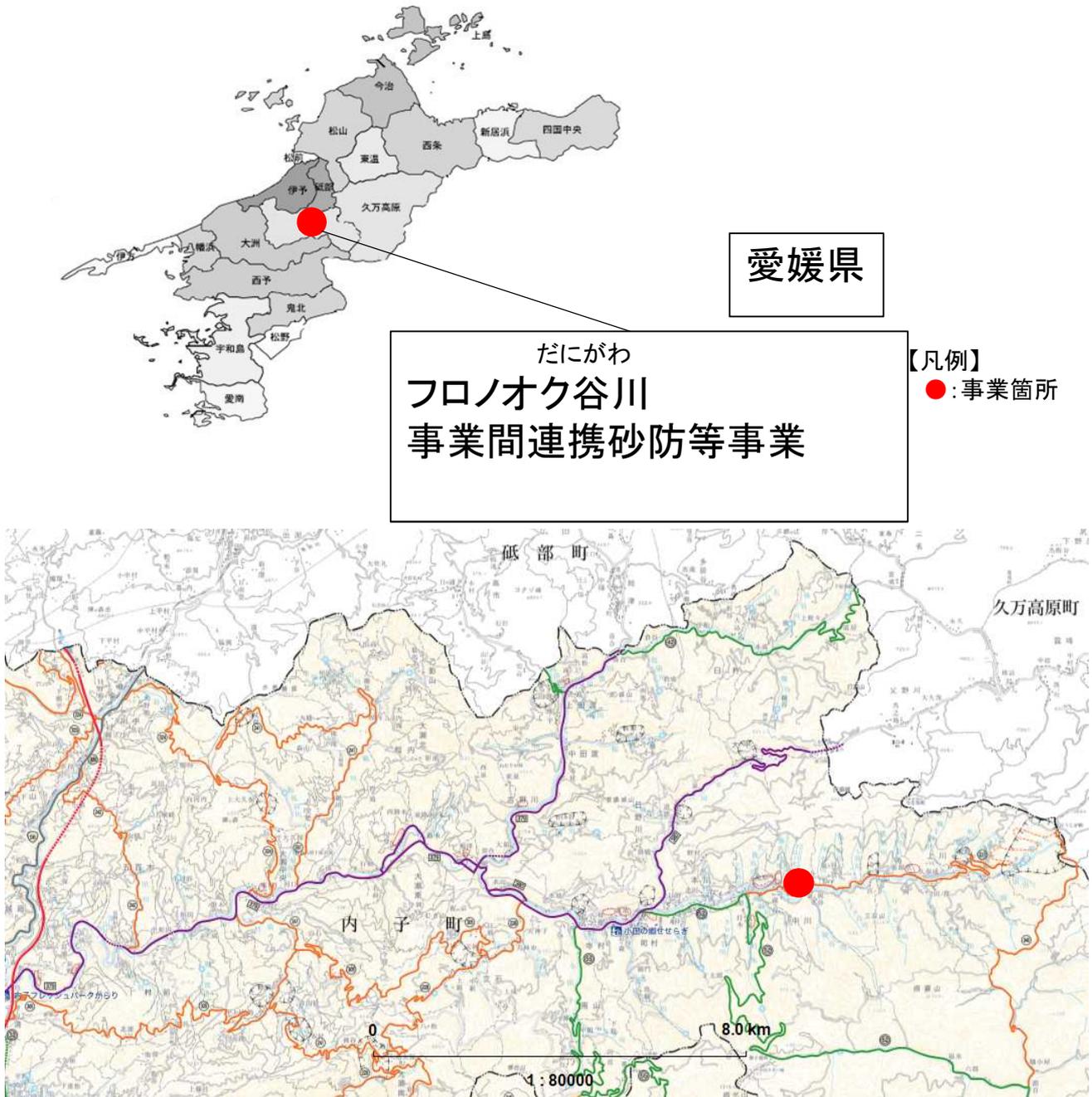


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	フノノク谷川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	砂防計画課 今井 一之																		
実施箇所	愛媛県喜多郡内子町中川																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.4																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜多郡内子町中川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	想定氾濫面積:1.0ha 人家:8戸 重要公共施設:2施設 県道:130m 町道:40m 等																					
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成27年度																			
	B:総便益 (億円)	7.5	C:総費用(億円)	2.4	B/C	3.1	B-C	5.1	EIRR (%)	14.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 3.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.9	~ 3.2	残工期(+10%~-10%)	3.2	~ 3.1	資産(-10%~+10%)	3.1	~ 3.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.9	~ 3.2																				
残工期(+10%~-10%)	3.2	~ 3.1																				
資産(-10%~+10%)	3.1	~ 3.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家8戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

フロノオク谷川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	馬越川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県												
実施箇所	愛媛県八幡浜市保内町川之石																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	2.1																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市保内町川之石において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な根拠	想定氾濫面積:2.4ha 人家:11戸 重要公共施設:2施設 県道:206m 市道:189m 等																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成28年度															
	B:総便益 (億円)	7.9	C:総費用(億円)	2.4	B/C 3.3 B-C 5.5 EIRR (%) 15.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.4</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.0	~ 3.4	残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.4	資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.4
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	3.0	~ 3.4															
残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.4															
資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.4															
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家11戸を保全する。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

馬越川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上谷川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県八幡浜市郷																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	3.5																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市郷において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道197号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
	便益の主 な根拠	想定氾濫面積:0.2ha 人家:9戸 重要公共施設:1施設 国道:145m 等																				
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成29年度																			
	B:総便益 (億円)	6.1	C:総費用(億円)	3.3	B/C	1.8	B-C	2.8	EIRR (%)	8.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 1.9	残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8	資産(-10%~+10%)	1.8	~ 1.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 1.9																				
残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8																				
資産(-10%~+10%)	1.8	~ 1.9																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家9戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

上谷川 事業間連携砂防等事業 位置図

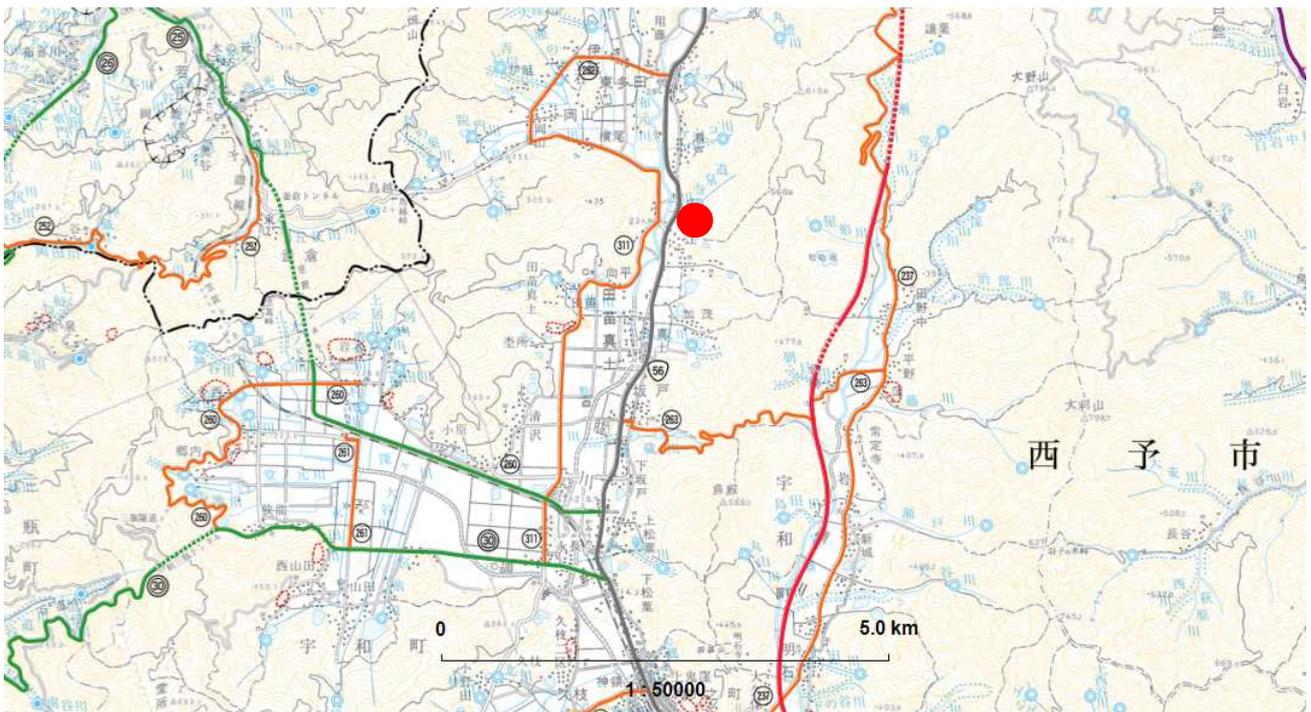
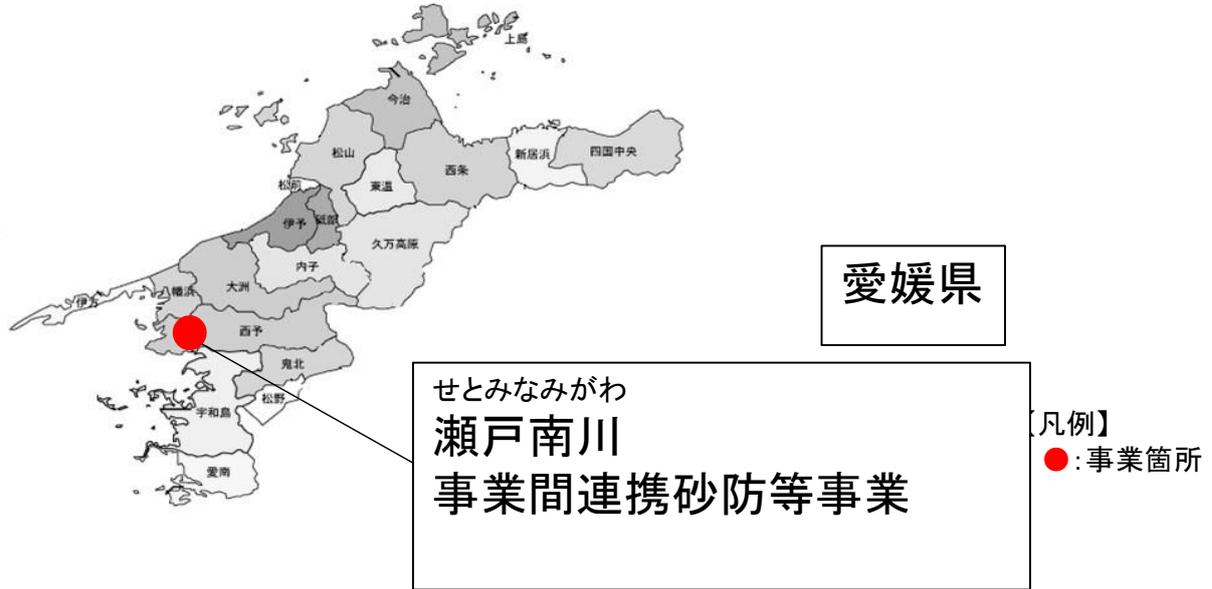


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	瀬戸南川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県西予市宇和町瀬戸																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.0																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市宇和町瀬戸において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道56号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.5ha 人家:8戸 重要公共施設:1施設 国道:150m 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	5.2	C:総費用(億円)		1.9	B/C	2.7	B-C	3.2	EIRR (%)	12.0											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.7	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.6	~ 2.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.7																				
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.6																				
資産(-10%~+10%)	2.6	~ 2.7																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家8戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

瀬戸南川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中間下川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県西予市野村町白髭																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.0																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市野村町白髭において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道441号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.5ha 人家:8戸 重要公共施設:1施設 国道:250m 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	4.9	C:総費用(億円)	2.9	B/C	1.7	B-C	2.0	EIRR (%)	7.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.7	残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.7	~ 1.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.7																				
残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7																				
資産(-10%~+10%)	1.7	~ 1.7																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家8戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

中間下川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	松ノ木川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	今井 一之																			
実施箇所	愛媛県西予市三瓶町津布理																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																			
総事業費 (億円)	0.70																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市三瓶町津布理において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
	便益の主な根拠	想定氾濫面積:1.2ha 人家:27戸 重要公共施設:2施設 県道:150m 市道:300m 等																					
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	15	C:総費用(億円)		2.2	B/C	7.1	B-C	13.2	EIRR (%)	32.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.4</td> <td>~ 7.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>7.0</td> <td>~ 7.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.9</td> <td>~ 7.2</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.4	~ 7.1	残工期(+10%~-10%)	7.0	~ 7.0	資産(-10%~+10%)	6.9	~ 7.2
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	6.4	~ 7.1																					
残工期(+10%~-10%)	7.0	~ 7.0																					
資産(-10%~+10%)	6.9	~ 7.2																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家27戸を保全する。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

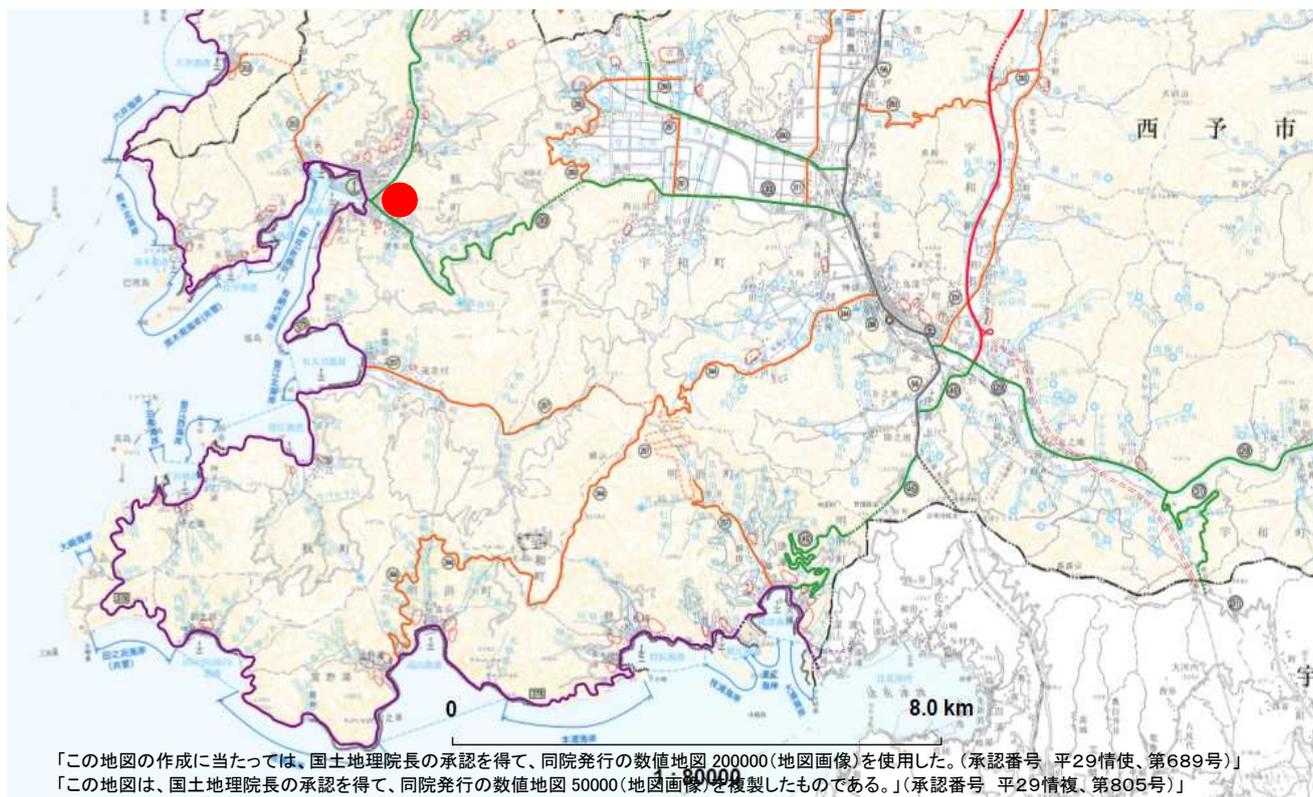
松ノ木川 事業間連携砂防等事業 位置図



愛媛県

まつのきがわ
松ノ木
事業間連携砂防等事業

【凡例】
●: 事業箇所



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	長早川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県												
実施箇所	愛媛県西予市三瓶町長早																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.4																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市三瓶町長早において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:1.5ha 人家:57戸 重要公共施設:1施設 国道:100m 等																
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	28	C:総費用(億円)	3.0	B/C 9.5 B-C 25.3 EIRR (%) 43.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.6</td> <td>~ 9.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.3</td> <td>~ 9.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.3</td> <td>~ 9.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.6	~ 9.6	残工期(+10%~-10%)	9.3	~ 9.5	資産(-10%~+10%)	9.3	~ 9.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	8.6	~ 9.6															
残工期(+10%~-10%)	9.3	~ 9.5															
資産(-10%~+10%)	9.3	~ 9.7															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家57戸を保全する。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

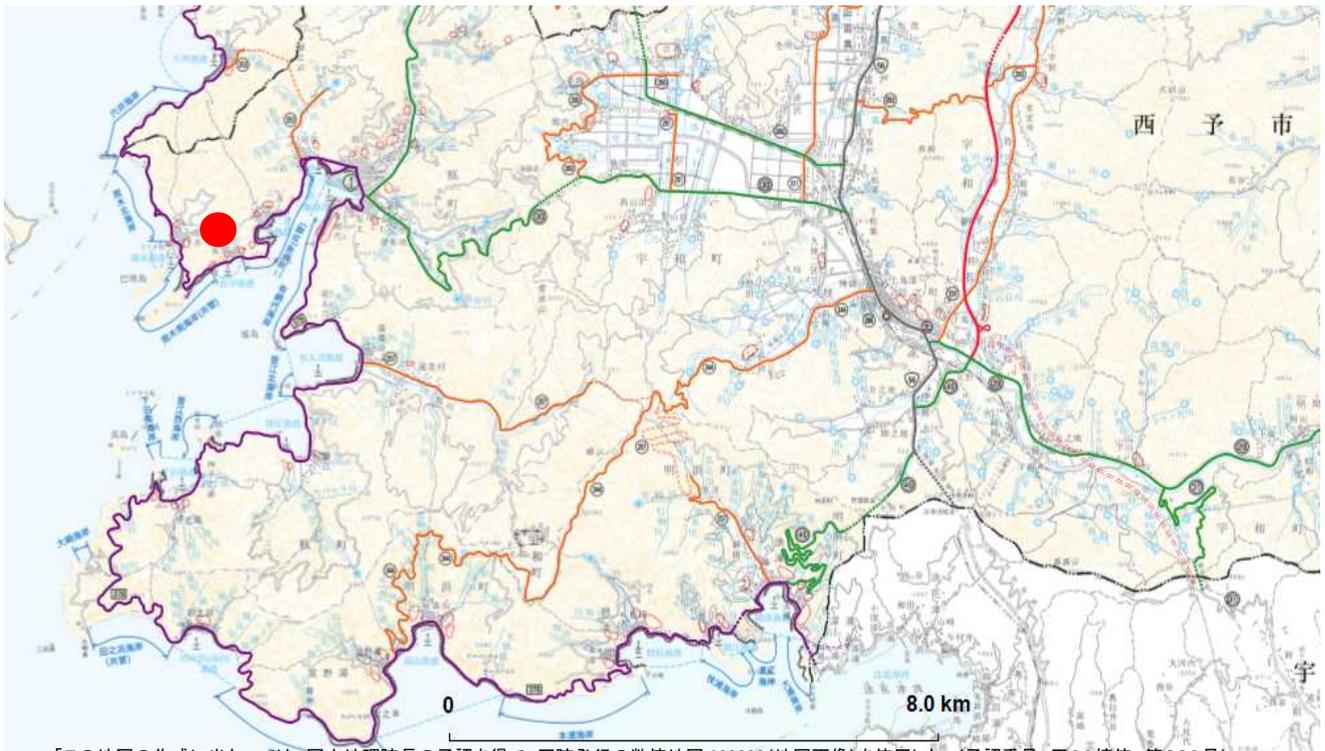
長早川 事業間連携砂防等事業 位置図



愛媛県

ながはやがわ
長早川
事業間連携砂防等事業

【凡例】
●:事業箇所

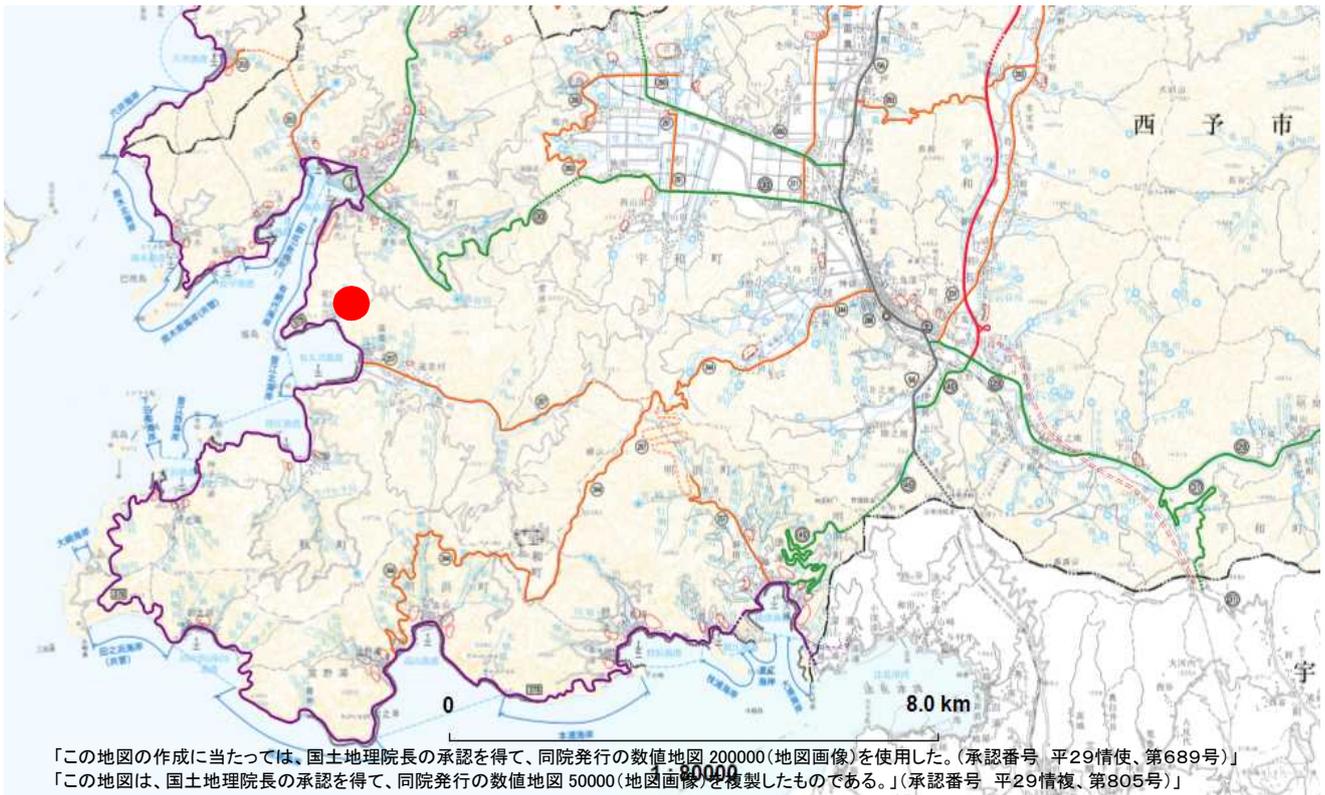
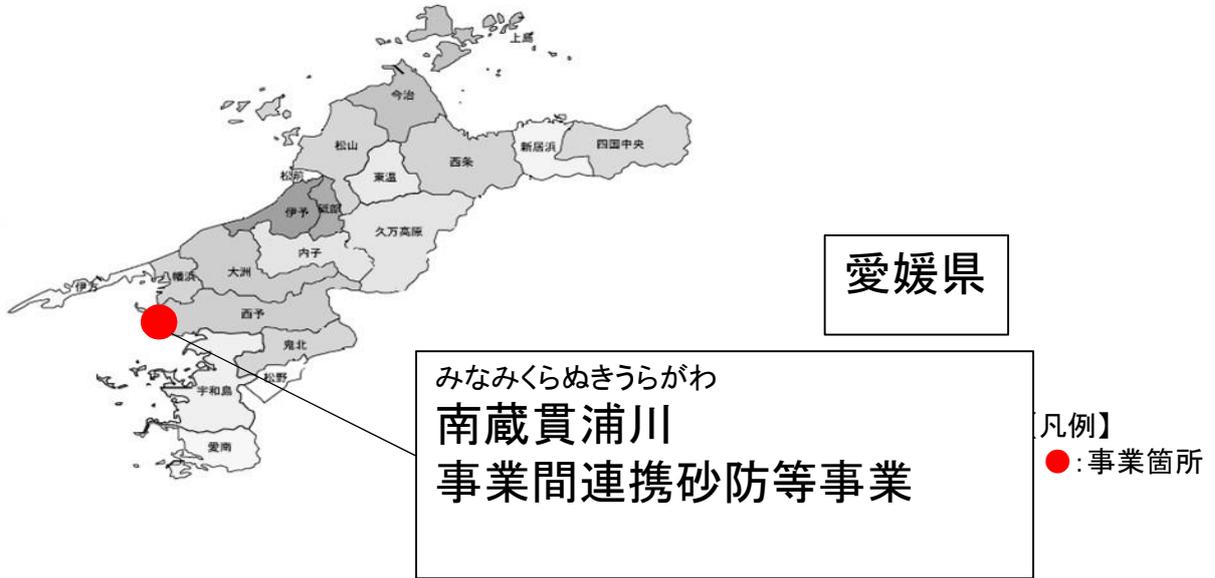


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	南蔵貫浦川事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課	事業 主体	愛媛県																	
		担当課長名	今井 一之																			
実施箇所	愛媛県西予市三瓶町蔵貫浦																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.1																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市三瓶町蔵貫浦において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	想定氾濫面積:3.0ha 人家:55戸 重要公共施設:2施設 国道:130m 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	35	C:総費用(億円)	1.8	B/C	19.6	B-C	33.7	EIRR (%)	89.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>17.9</td> <td>~ 19.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>19.3</td> <td>~ 19.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>19.2</td> <td>~ 20.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	17.9	~ 19.8	残工期(+10%~-10%)	19.3	~ 19.5	資産(-10%~+10%)	19.2	~ 20.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	17.9	~ 19.8																				
残工期(+10%~-10%)	19.3	~ 19.5																				
資産(-10%~+10%)	19.2	~ 20.0																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家55戸を保全する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

南蔵貫浦川 事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	堂面川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県												
実施箇所	愛媛県西予市明浜町宮野浦																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	0.70																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市明浜町宮野浦において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:7.0ha 人家:125戸 重要公共施設:3施設 国道:200m 等																
事業全体の 投資効率 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	75	C:総費用(億円)	1.9	B/C 38.9 B-C 72.8 EIRR (%) 176.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>35.4</td> <td>~ 39.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>38.2</td> <td>~ 38.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>38.0</td> <td>~ 39.8</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	35.4	~ 39.3	残工期(+10%~-10%)	38.2	~ 38.8	資産(-10%~+10%)	38.0	~ 39.8
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	35.4	~ 39.3															
残工期(+10%~-10%)	38.2	~ 38.8															
資産(-10%~+10%)	38.0	~ 39.8															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家125戸を保全する。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

堂面川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	山口川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県西予市明浜町狩浜																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市明浜町狩浜において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道378号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:3.2ha 人家:46戸 重要公共施設:1施設 国道:180m 等																					
事業全体の 投資効率 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	27	C:総費用(億円)		2.0	B/C	13.2	B-C	24.7	EIRR (%)	59.9											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.0</td> <td>~ 13.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.0</td> <td>~ 13.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.9</td> <td>~ 13.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.0	~ 13.3	残工期(+10%~-10%)	13.0	~ 13.1	資産(-10%~+10%)	12.9	~ 13.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	12.0	~ 13.3																				
残工期(+10%~-10%)	13.0	~ 13.1																				
資産(-10%~+10%)	12.9	~ 13.5																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家46戸を保全する。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

山口川 事業間連携砂防等事業 位置図



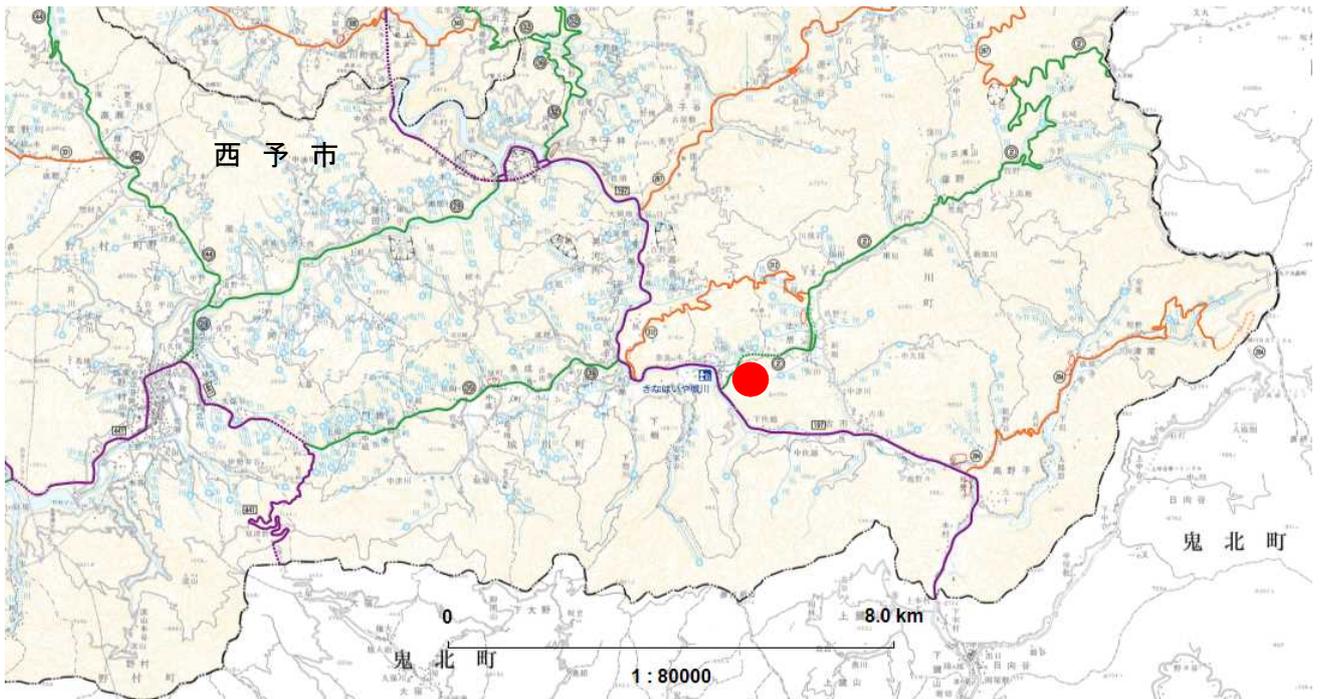
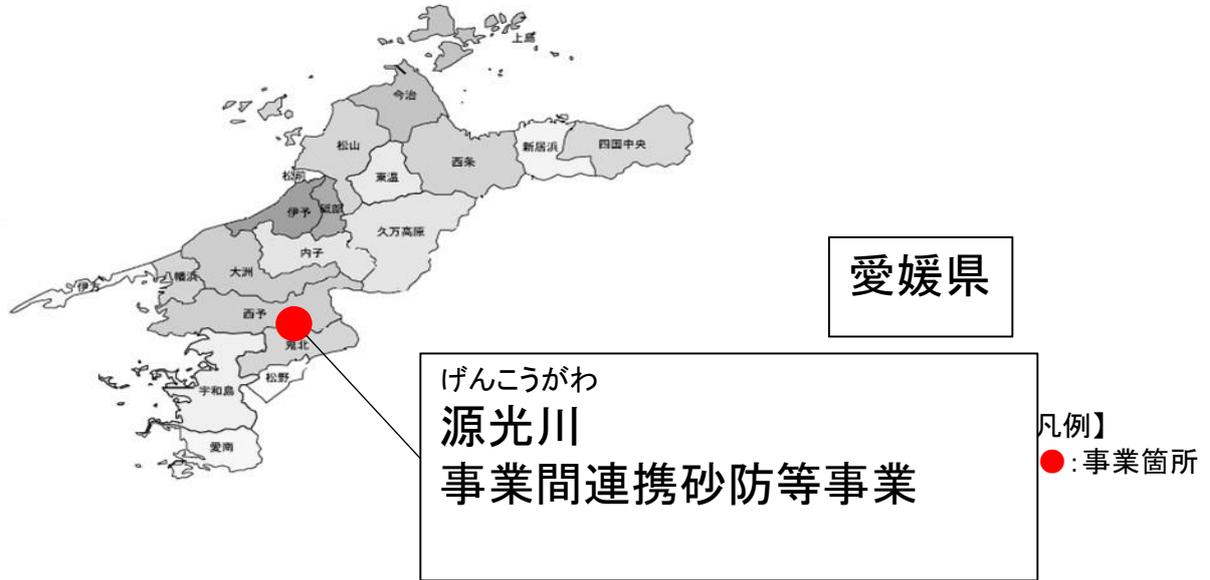
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	源光川事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課	事業 主体	愛媛県																					
		担当課長名	今井 一之																							
実施箇所	愛媛県西予市城川町下相																									
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																						
総事業費 (億円)	3.1																									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市城川町下相において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道197号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																									
便益の主な根拠	想定氾濫面積:5.9ha 人家:12戸 事業所:6施設 重要公共施設:3施設 国道:325m 市道:360m 等																									
事業全体の投資効率性	基準年度	平成28年度																								
	B:総便益 (億円)	39	C:総費用(億円)	3.1	B/C	12.6	B-C	35.7	EIRR (%)	57.6																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>11.4</td> <td>~ 12.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>12.3</td> <td>~ 12.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>12.5</td> <td>~ 12.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		11.4	~ 12.7	残工期(+10%~-10%)		12.3	~ 12.6	資産(-10%~+10%)		12.5	~ 12.7
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)		11.4	~ 12.7																							
残工期(+10%~-10%)		12.3	~ 12.6																							
資産(-10%~+10%)		12.5	~ 12.7																							
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家12戸を保全する。</p>																									
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																									

源光川 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	垣内北事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課	事業 主体	愛媛県												
		担当課長名	今井 一之														
実施箇所	愛媛県南宇和郡愛南町垣内																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	1.8																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南宇和郡愛南町垣内において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道56号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な根拠	想定氾濫面積:5.0ha 人家:3戸 重要公共施設:2施設 国道:360m 市道:190m 等																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成28年度															
	B:総便益 (億円)	9.1	C:総費用(億円)	2.0	B/C 4.6 B-C 7.2 EIRR (%) 21.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.2</td> <td>~ 4.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.6</td> <td>~ 4.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.6</td> <td>~ 4.6</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.2	~ 4.7	残工期(+10%~-10%)	4.6	~ 4.6	資産(-10%~+10%)	4.6	~ 4.6
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	4.2	~ 4.7															
残工期(+10%~-10%)	4.6	~ 4.6															
資産(-10%~+10%)	4.6	~ 4.6															
事業の効果等	当該事業を実施することにより、 ① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家3戸を保全する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

垣内北 事業間連携砂防等事業 位置図

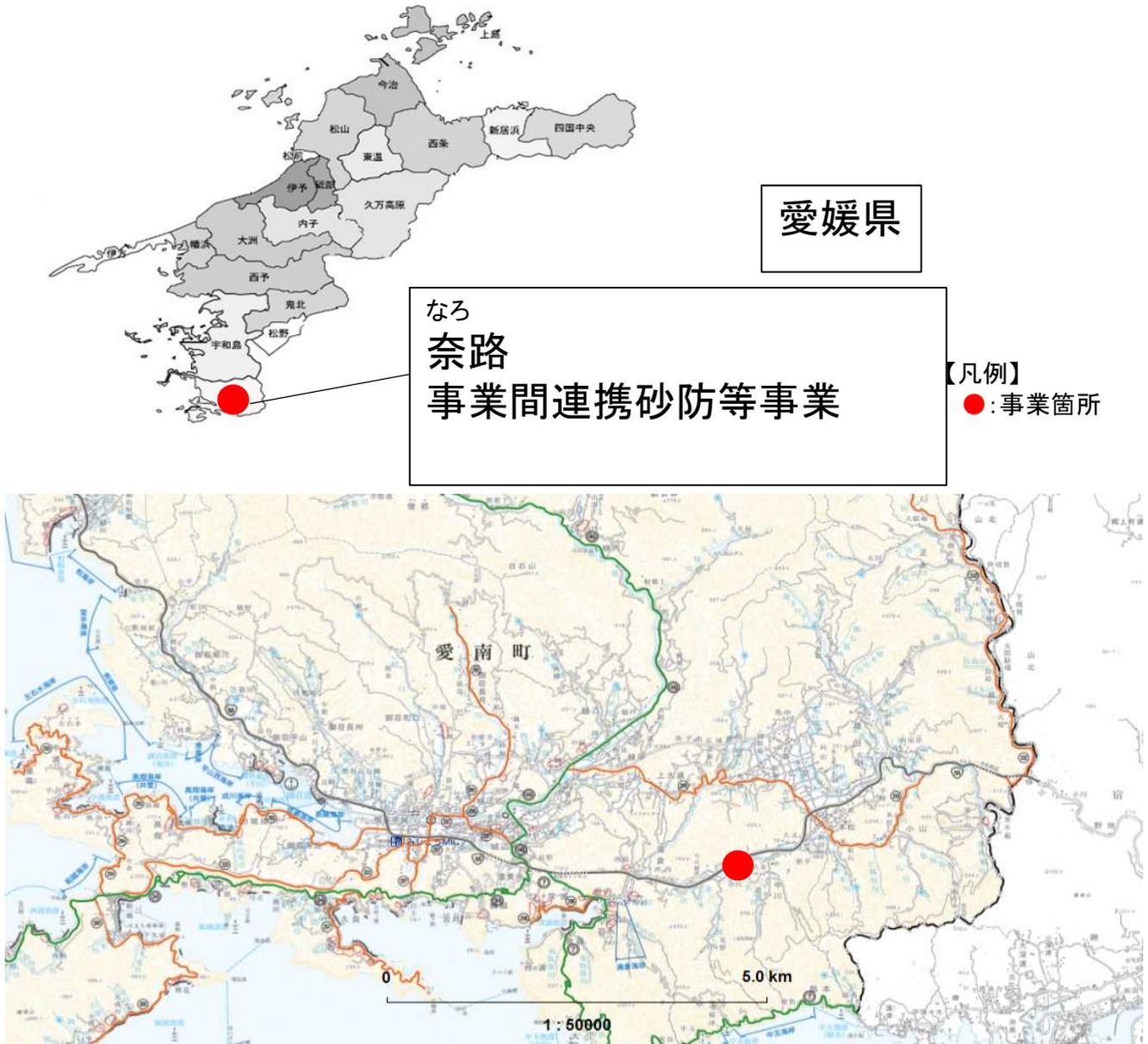


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 20000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	奈良事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	今井 一之																			
実施箇所	愛媛県南宇和郡愛南町中川																						
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤工、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	1.2																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当流域は荒廃が著しく、不安定な土砂が残留しており、次期豪雨時に土石流が発生するおそれがある。 ・土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家及び公共施設等を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南宇和郡愛南町中川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による国道56号への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:2.0ha 人家戸:9戸 重要公共施設:2施設 国道:70m 町道:265m 等																						
事業全体の 投資効率性	基準年度		平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	6.2	C:総費用(億円)		1.2	B/C	5.2	B-C	5.0	EIRR (%)	23.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.7</td> <td>~ 5.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.2</td> <td>~ 5.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.1</td> <td>~ 5.3</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.7	~ 5.2	残工期(+10%~-10%)	5.2	~ 5.2	資産(-10%~+10%)	5.1	~ 5.3
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	4.7	~ 5.2																					
残工期(+10%~-10%)	5.2	~ 5.2																					
資産(-10%~+10%)	5.1	~ 5.3																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家9戸を保全する。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

奈呂 事業間連携砂防等事業 位置図

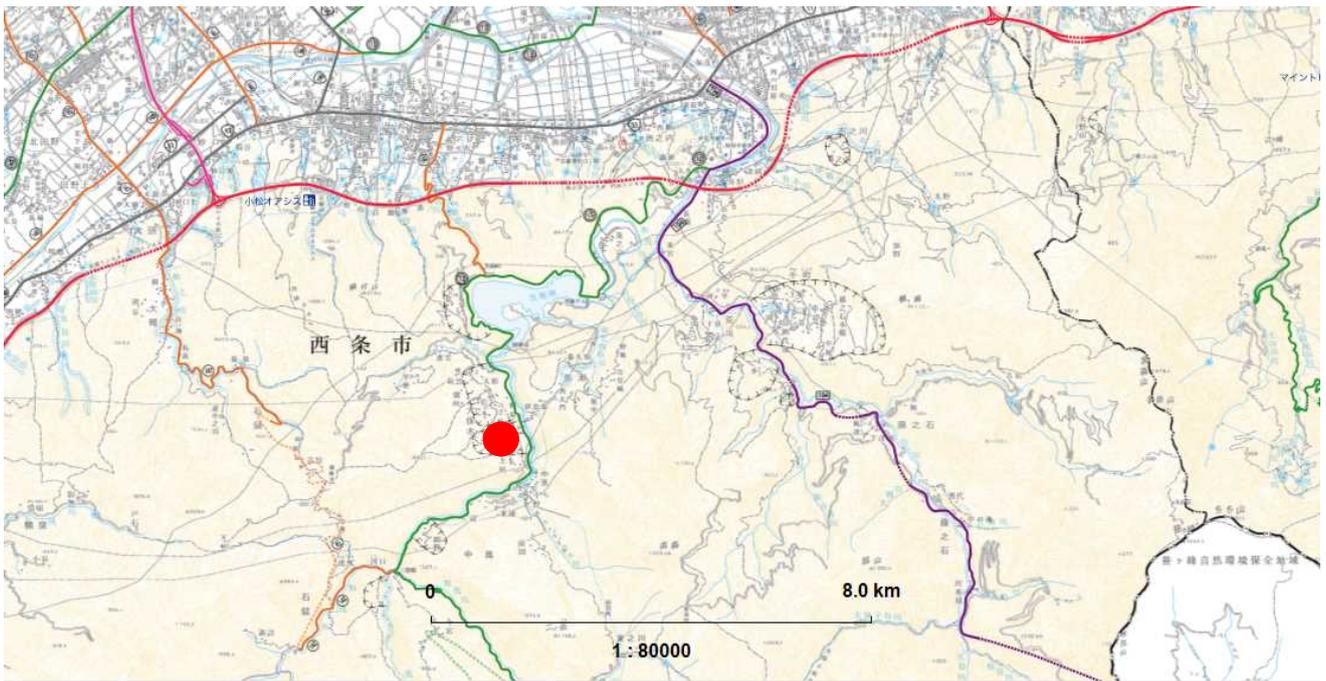
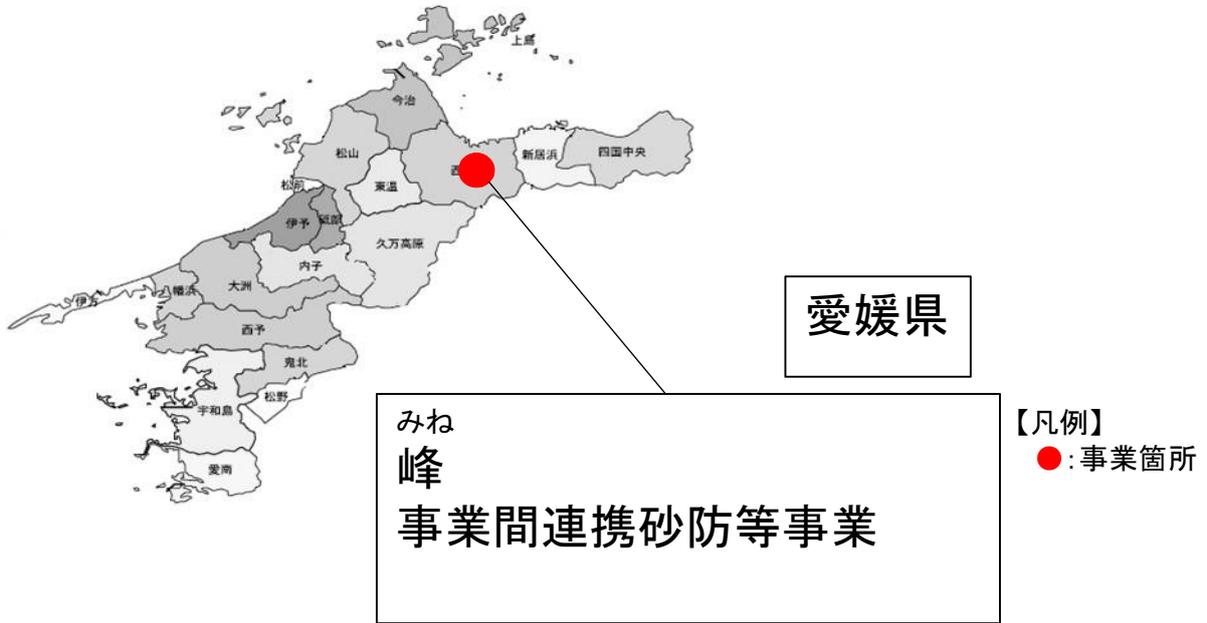


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	峰事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県西条市大保木																					
主な事業 の諸元	主要施設:集水井工、横Br工、アンカー工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.90																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰地区の地すべりは現在滑动しており、近年は降雨量の増大により土砂崩落による被害が想定される。 ・平成23年に地すべりが発生し、民家や寺院、市道が被災をうけ、集落孤立が発生した。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による県道および市道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
	便益の主な根拠	人家:5戸 重要公共施設:2施設 県道:650m 市道:120m 等																				
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)		2.5	B/C	5.5	B-C	11.2	EIRR (%)	25.2											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.0</td> <td>~ 6.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.5</td> <td>~ 5.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.5</td> <td>~ 5.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.0	~ 6.1	残工期(+10%~-10%)	5.5	~ 5.5	資産(-10%~+10%)	5.5	~ 5.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.0	~ 6.1																				
残工期(+10%~-10%)	5.5	~ 5.5																				
資産(-10%~+10%)	5.5	~ 5.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 想定される地すべりブロックにおける地すべり被害について、被害が想定される人家が、5戸から0戸に軽減する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

峰 事業間連携砂防等事業 位置図

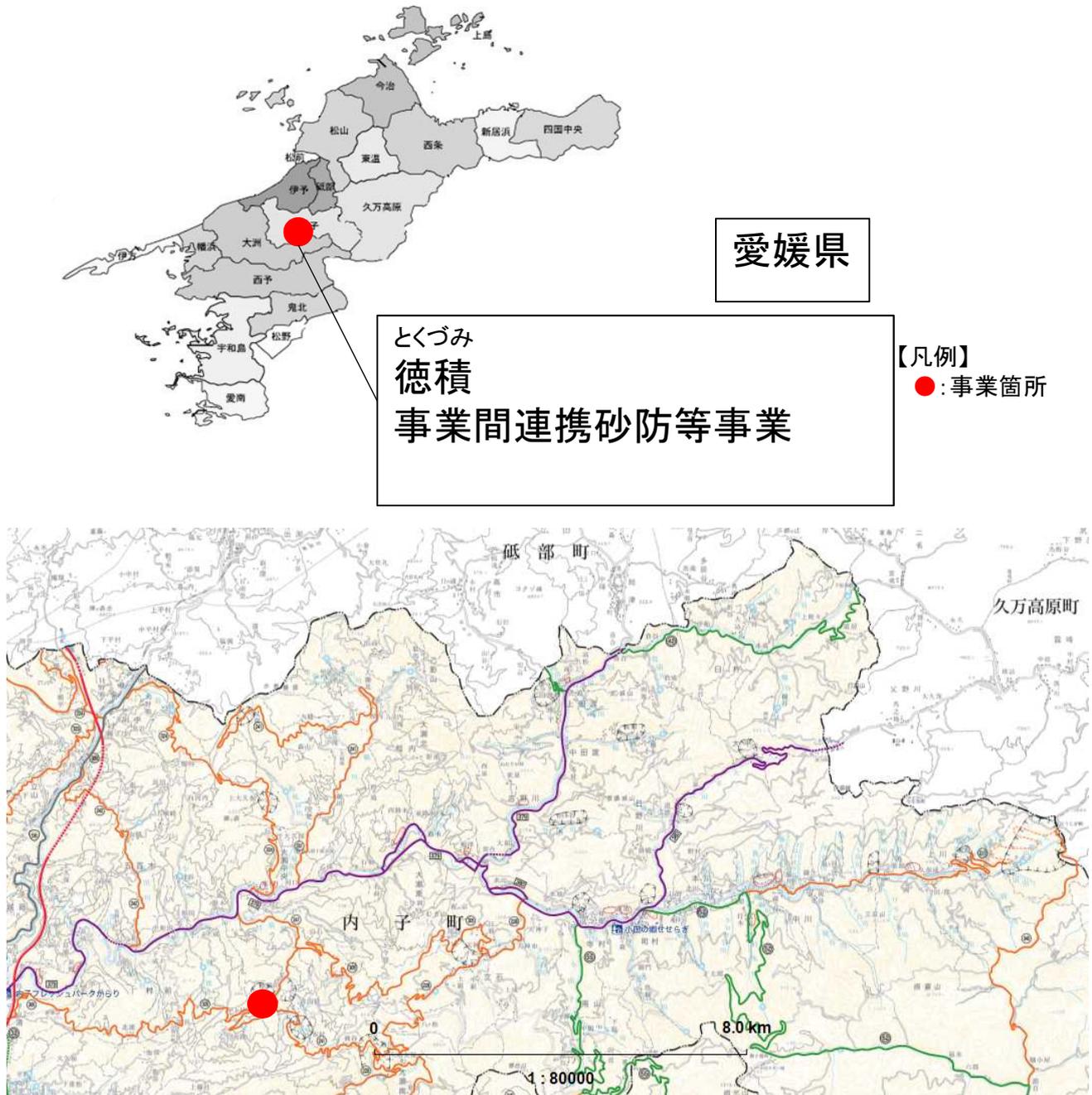


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	徳積事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業 主体	愛媛県				
			担当課長名	砂防計画課 今井 一之						
実施箇所	愛媛県喜多郡内子町大瀬南									
主な事業 の諸元	主要施設:集水井工、横Br工、アンカー工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	0.90									
目的・必要性	<解決すべき課題・背景> ・徳積地区の地すべりは現在滑动しており、近年は降雨量の増大により土砂崩落による被害が想定される。 ・平成24年に地すべりが発生し、民家や寺院、市道が被災をうけ、斜面が不安定化している。									
	<達成すべき目標> ・徳積地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による県道、市道等への被害を軽減する。									
	<政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する									
便益の主な根拠	人家:13戸 重要公共施設:2施設 県道:540m 市道:450m 等									
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)	1.7	B/C	6.4	B-C	9.4	EIRR (%)	29.6
感度分析	全体事業(B/C) 残事業費(+10%~-10%) 5.8 ~ 7.1 残工期(+10%~-10%) 6.4 ~ 6.4 資産(-10%~+10%) 6.3 ~ 6.5									
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、 ① 想定される地すべりブロックにおける地すべり被害について、被害が想定される人家が、13戸から0戸に軽減する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

徳積 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	津羽井事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課	事業 主体	愛媛県												
		担当課長名	今井 一之														
実施箇所	愛媛県八幡浜市津羽井																
主な事業 の諸元	主要施設:集水井工、横Br工、アンカー工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	1.8																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 津羽井地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により土砂崩落による被害が想定される。 平成28年に地すべりが発生し、民家や、市道が被災をうけ、斜面が不安定化している。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 津羽井地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道197号および市道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な根拠	人家:204戸 重要公共施設:3施設 国道:1,200m 市道:2,400m 等																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	147	C:総費用(億円)	4.1	B/C 35.7 B-C 142.8 EIRR (%) 162.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>32.5</td> <td>~ 39.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>35.7</td> <td>~ 35.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>35.3</td> <td>~ 36.2</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	32.5	~ 39.7	残工期(+10%~-10%)	35.7	~ 35.7	資産(-10%~+10%)	35.3	~ 36.2
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	32.5	~ 39.7															
残工期(+10%~-10%)	35.7	~ 35.7															
資産(-10%~+10%)	35.3	~ 36.2															
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 想定される地すべりブロックにおける地すべり被害について、被害が想定される人家が、204戸から0戸に軽減する。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

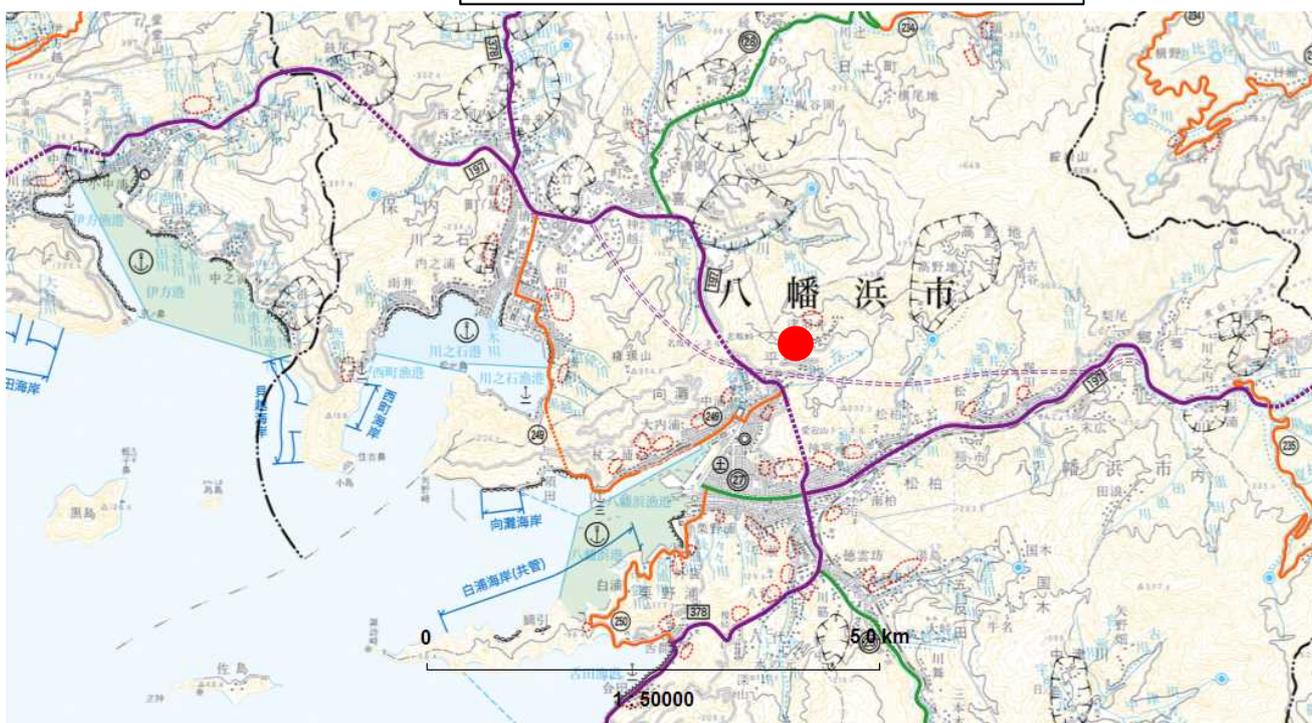
津羽井 事業間連携砂防等事業 位置図



愛媛県

つばい
津羽井
事業間連携砂防等事業

【凡例】
●: 事業箇所

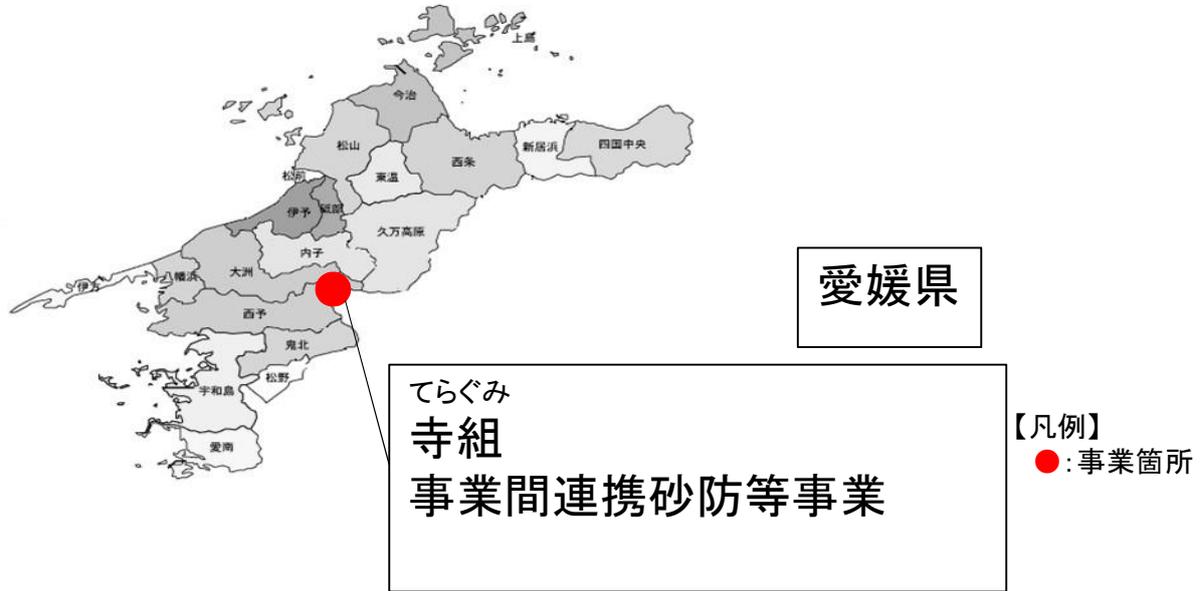


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	寺組事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県西予市野村町惣川																					
主な事業 の諸元	主要施設:集水井工、横Br工、アンカー工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.80																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺組地区の地すべりは現在滑动しており、近年は降雨量の増大により土砂崩落による被害が想定される。 ・平成19年に地すべりが発生し、民家や県道が被災をうけ、斜面が不安定化している。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺組地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による県道および市道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	人家:67戸 重要公共施設:3施設 県道:250m 市道:1,000m 等																					
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	39	C:総費用(億円)		3.0	B/C	13.0	B-C	36.0	EIRR (%)	59.6											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>11.8</td> <td>~ 14.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.0</td> <td>~ 13.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.8</td> <td>~ 13.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	11.8	~ 14.4	残工期(+10%~-10%)	13.0	~ 13.0	資産(-10%~+10%)	12.8	~ 13.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	11.8	~ 14.4																				
残工期(+10%~-10%)	13.0	~ 13.0																				
資産(-10%~+10%)	12.8	~ 13.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 想定される地すべりブロックにおける地すべり被害について、被害が想定される人家が、67戸から0戸に軽減する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

寺組 事業間連携砂防等事業 位置図

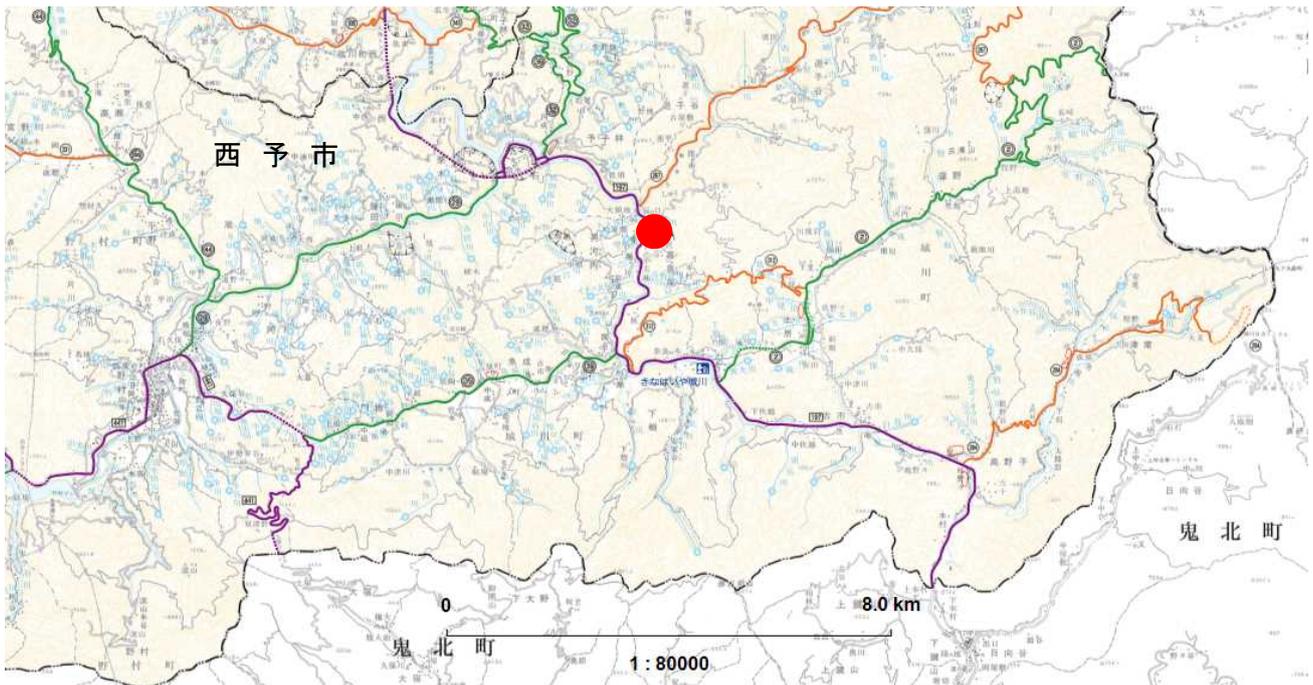
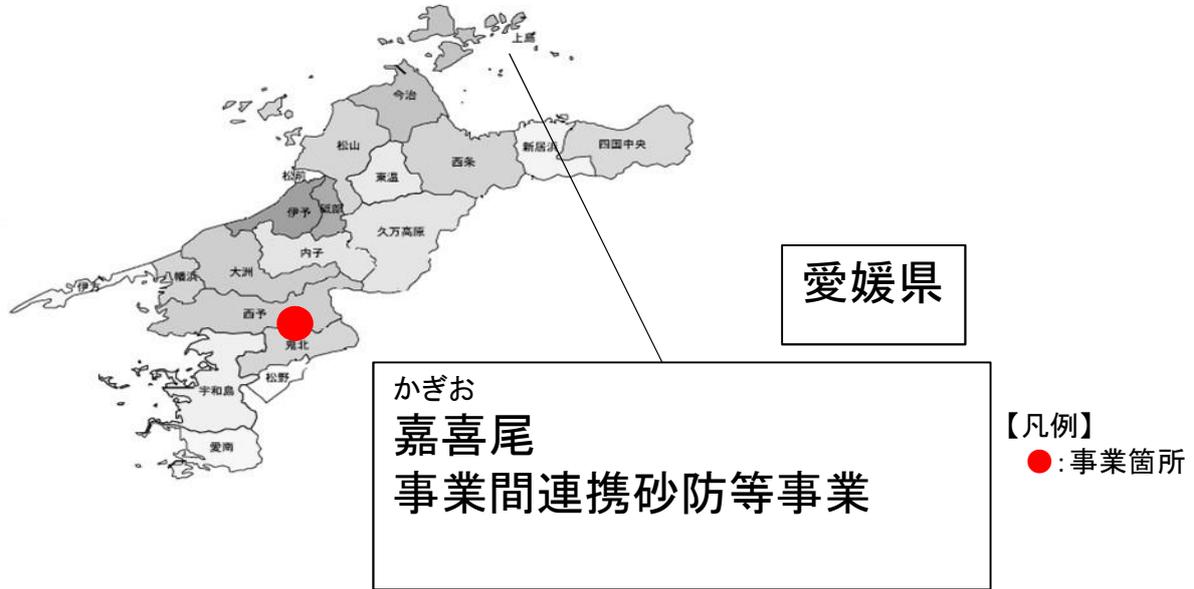


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	嘉喜尾事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県															
実施箇所	愛媛県西予市城川町嘉喜尾																			
主な事業 の諸元	主要施設:集水井工、横Br工、アンカー工																			
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																
総事業費 (億円)	0.70																			
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉喜尾地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により土砂崩落による被害が想定される。 ・平成23年に地すべりが発生し、民家や市道が被災をうけ、斜面が不安定化している。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉喜尾地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道197号および市道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																			
便益の主な 根拠	人家:12戸 重要公共施設:2施設 国道:50m 市道:450m 等																			
事業全体の 投資効 率性	基準年度 B:総便益 (億円)	平成30年度 8.1	C:総費用(億円)	2.5	B/C 3.3	B-C 5.6	EIRR (%)	15.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.3</td> </tr> </tbody> </table>									全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.0	~ 3.6	残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.3	資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.3
	全体事業(B/C)																			
残事業費(+10%~-10%)	3.0	~ 3.6																		
残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.3																		
資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.3																		
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 想定される地すべりブロックにおける地すべり被害について、被害が想定される人家が、12戸から0戸に軽減する。</p>																			
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																			

嘉喜尾 事業間連携砂防等事業 位置図

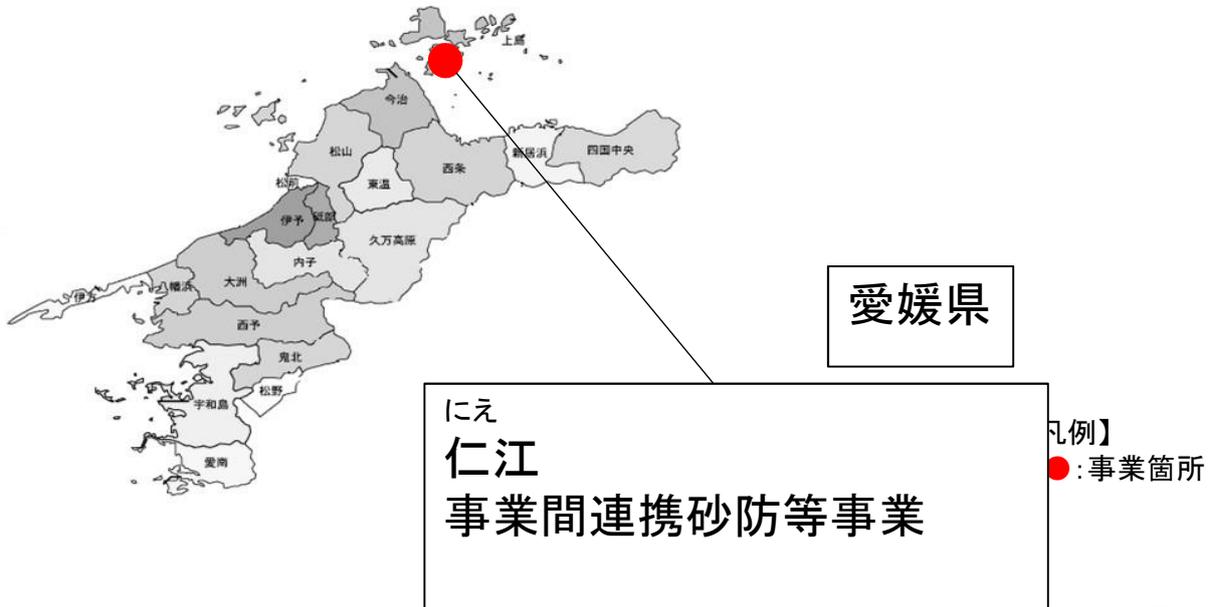


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	仁江事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県今治市吉海町仁江																					
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	0.80																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 仁江地区は急傾斜地が高さ30mを超える長大斜面であり、斜面は勾配32°と急勾配で崩壊土層が厚く荒廃も進んでいることから、今後の集中豪雨により土砂崩落による被害が想定される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 仁江地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による国道317号および市道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	人家:60戸 重要公共施設:2施設 国道:100m 市道:1,700m 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	18	C:総費用(億円)		1.9	B/C	9.2	B-C	15.9	EIRR (%)	42.2											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.4</td> <td>~ 10.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.2</td> <td>~ 9.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.9</td> <td>~ 9.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.4	~ 10.2	残工期(+10%~-10%)	9.2	~ 9.2	資産(-10%~+10%)	8.9	~ 9.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	8.4	~ 10.2																				
残工期(+10%~-10%)	9.2	~ 9.2																				
資産(-10%~+10%)	8.9	~ 9.6																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 急傾斜地の崩壊について、被害が想定される人家が、60戸から0戸に軽減する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

仁江 事業間連携砂防等事業 位置図

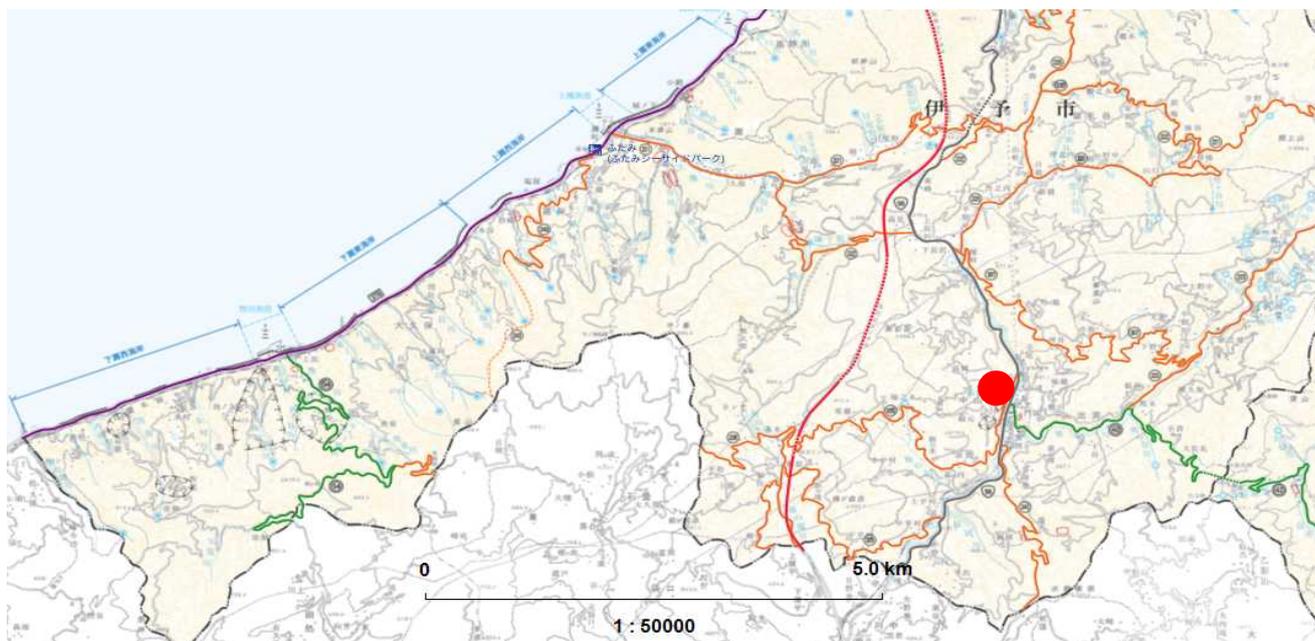
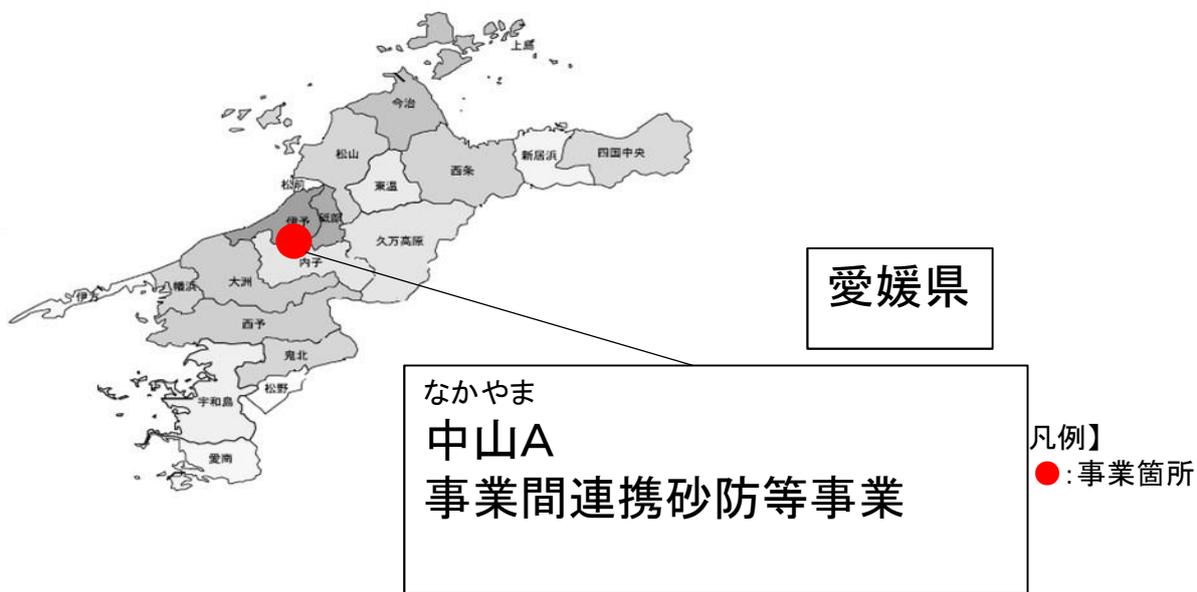


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中山A事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	愛媛県伊予市中山町中山																					
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.0																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 中山A地区は急傾斜地が高さ30mを超える長大斜面であり、斜面は勾配35°と急勾配で崩壊土層が厚く荒廃も進んでいることから、今後の集中豪雨により土砂崩落による被害が想定される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 中山A地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による国道56号および県道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主な根拠	人家:36戸 重要公共施設:2施設 国道:50m 県道:100m 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)		2.2	B/C	5.3	B-C	9.2	EIRR (%)	24.1											
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.8</td> <td>~ 5.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.3</td> <td>~ 5.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.0</td> <td>~ 5.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.8	~ 5.9	残工期(+10%~-10%)	5.3	~ 5.3	資産(-10%~+10%)	5.0	~ 5.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.8	~ 5.9																				
残工期(+10%~-10%)	5.3	~ 5.3																				
資産(-10%~+10%)	5.0	~ 5.5																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 急傾斜地の崩壊について、被害が想定される人家が、36戸から0戸に軽減する。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

中山A 事業間連携砂防等事業 位置図

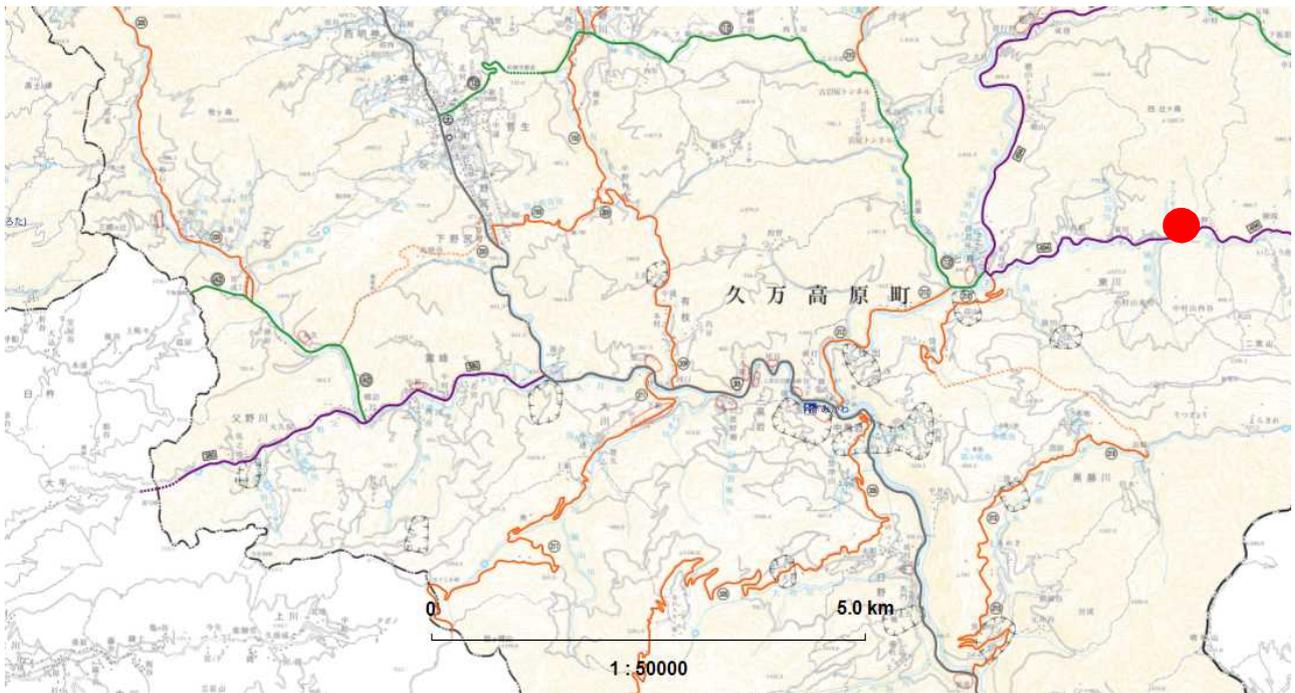
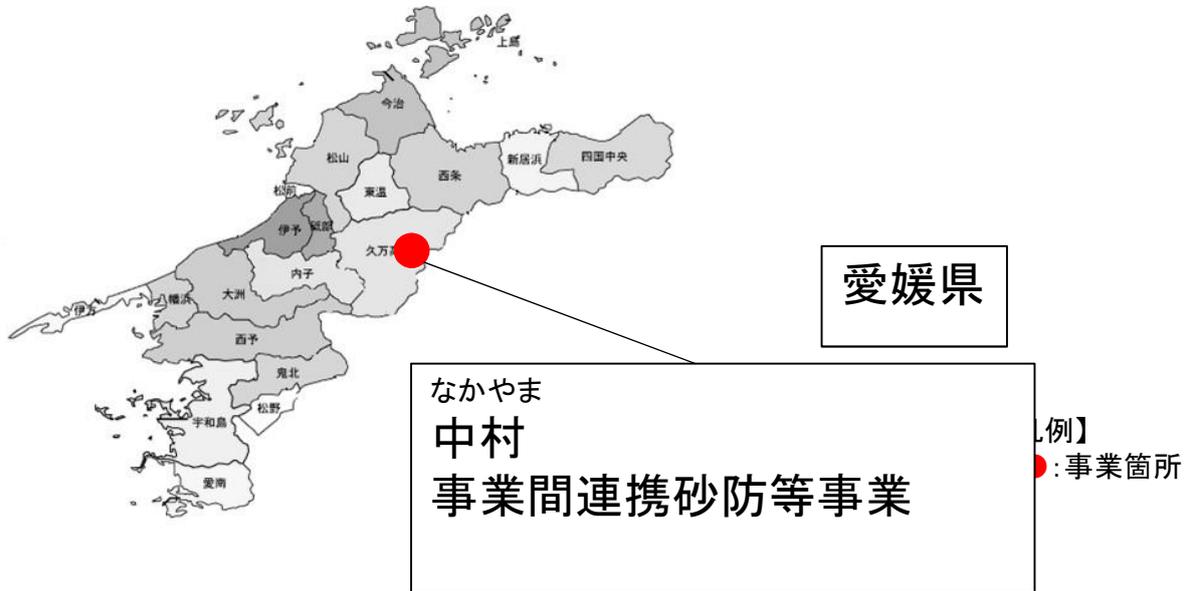


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中村事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県																
			担当課長名	今井 一之																			
実施箇所	愛媛県上浮穴郡久万高原町東川																						
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工、法面工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																			
総事業費 (億円)	1.6																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村地区は急傾斜地が高さ30mを超える長大斜面であり、斜面は勾配32°と急勾配で崩壊土層が厚く荒廃も進んでいることから、今後の集中豪雨により土砂崩落による被害が想定される。 ・平成30年7月豪雨の影響により、がけ崩れが発生し、人家1戸に一部破損の被害が生じた。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による町道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主な根拠	人家:11戸 重要公共施設:1施設 町道:200m 等																						
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	3.8	C:総費用(億円)		1.5	B/C	2.6	B-C	2.3	EIRR (%)	11.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.9	残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.9																					
残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6																					
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.7																					
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 急傾斜地の崩壊について、被害が想定される人家が、11戸から0戸に軽減する。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

中村 事業間連携砂防等事業 位置図

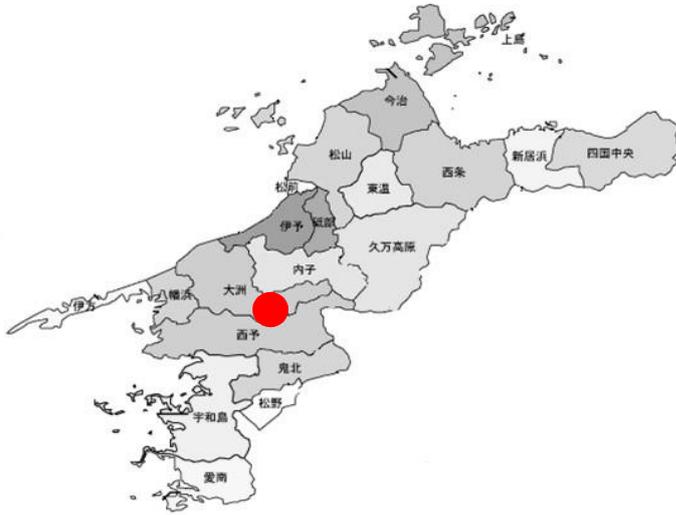


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

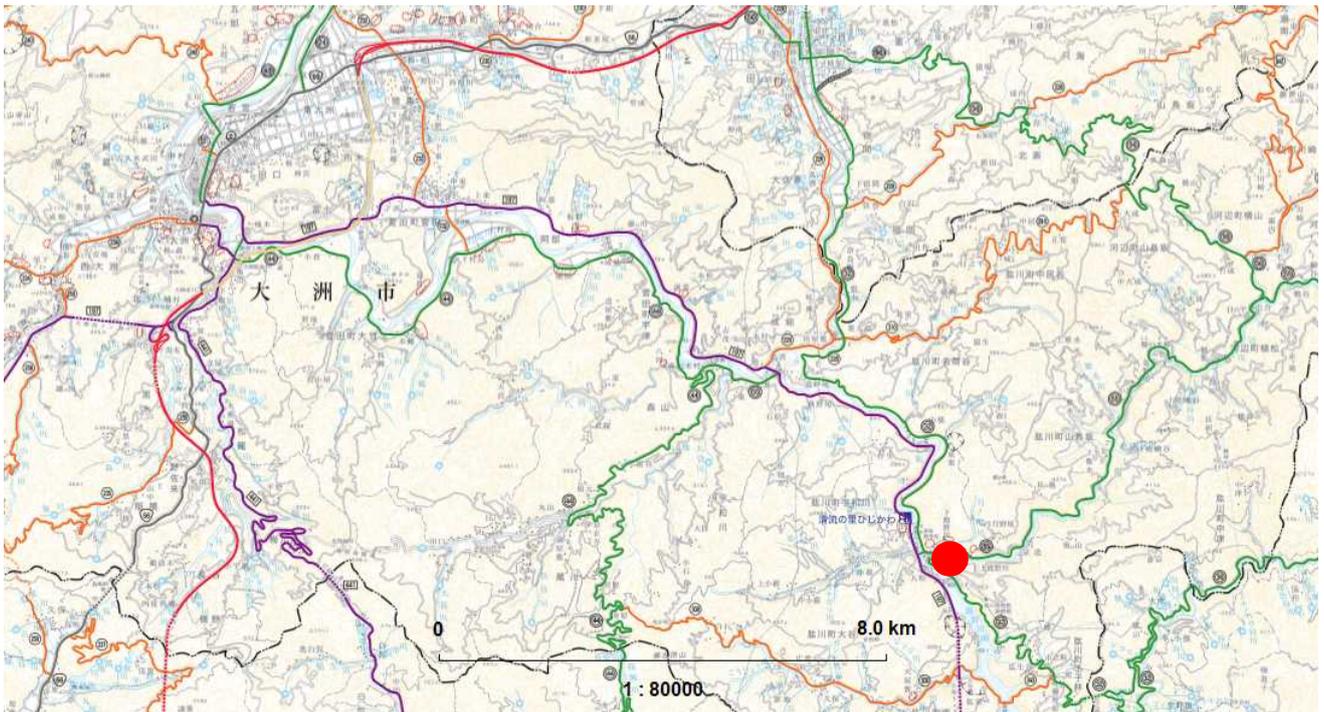
事業名 (箇所名)	鹿野川A事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県												
実施箇所	愛媛県大洲市肱川町山鳥坂																
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工、法面工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	0.60																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿野川A地区は急傾斜地が高さ30mを超える長大斜面であり、斜面は勾配42°と急勾配で崩壊土層が厚く荒廃も進んでいることから、今後の集中豪雨により土砂崩落による被害が想定される。 平成24年にかけ崩れが発生し、斜面上部には浮石が残っている箇所もあり、斜面が不安定化している。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿野川A地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主な根拠	人家:30戸 重要公共施設:1施設 県道:260m 等																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	2.0	B/C 6.1 B-C 10.1 EIRR (%) 28.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.6</td> <td>~ 6.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.1</td> <td>~ 6.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.0</td> <td>~ 6.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.6	~ 6.8	残工期(+10%~-10%)	6.1	~ 6.2	資産(-10%~+10%)	6.0	~ 6.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	5.6	~ 6.8															
残工期(+10%~-10%)	6.1	~ 6.2															
資産(-10%~+10%)	6.0	~ 6.3															
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 急傾斜地の崩壊について、被害が想定される人家が、30戸から0戸に軽減する。</p>																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

鹿野川A 事業間連携砂防等事業 位置図



【凡例】

●:事業箇所



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中間事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	愛媛県			
			担当課長名	今井 一之						
実施箇所	愛媛県西予市野村町白髭									
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工、法面工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	0.60									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間地区は急傾斜地が高さ30mを超える長大斜面であり、斜面は勾配31°と急勾配で崩壊土層が厚く荒廃も進んでいることから、今後の集中豪雨により土砂崩落による被害が想定される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による国道441号等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
	便益の主な根拠	人家:11戸 重要公共施設:1施設 国道:300m 等								
事業全体の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	3.5	C:総費用(億円)		2.0	B/C	1.8	B-C	1.5	EIRR (%)
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.6	~	2.0						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、									
	① 急傾斜地の崩壊について、被害が想定される人家が、11戸から0戸に軽減する。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

中間 事業間連携砂防等事業 位置図



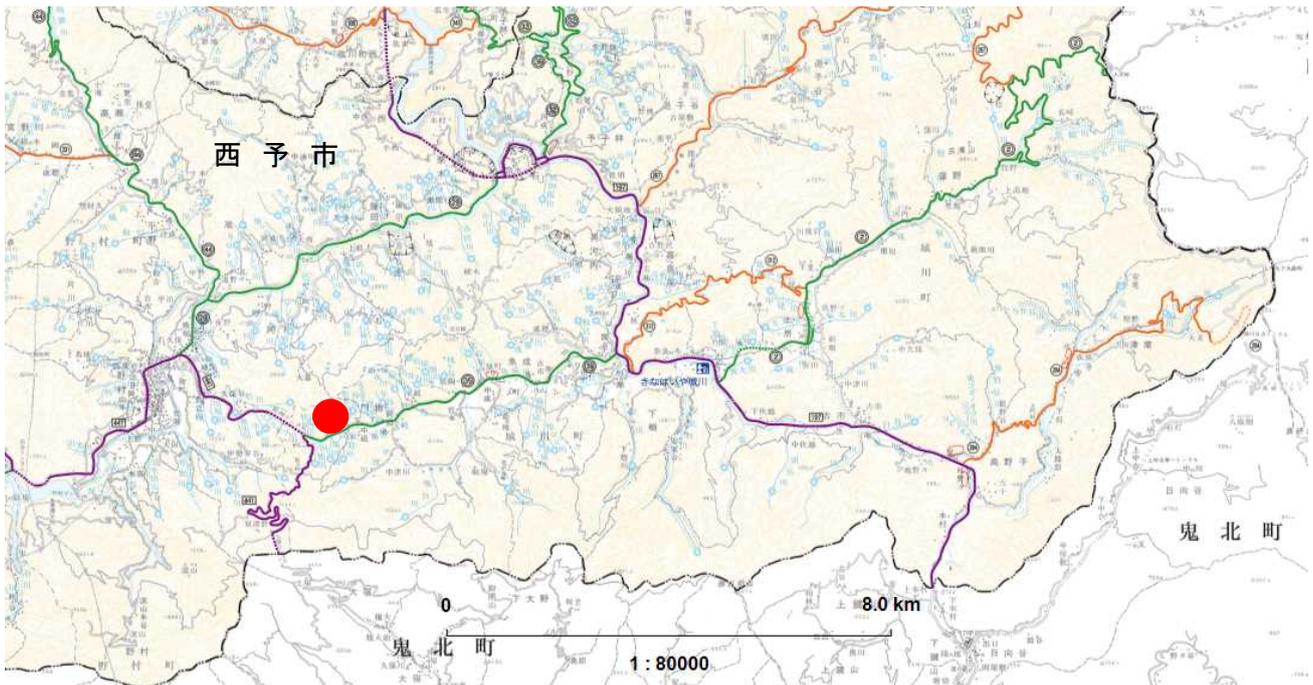
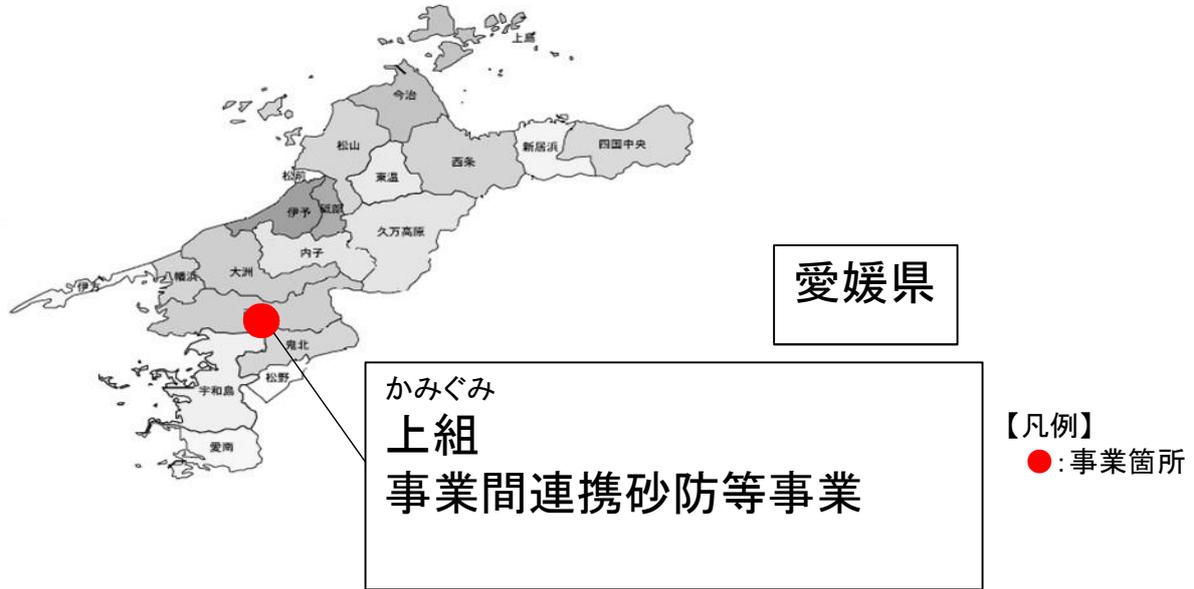
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上組事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	愛媛県																	
実施箇所	愛媛県西予市城川町田穂																						
主な事業 の諸元	主要施設:擁壁工、法面工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	0.80																						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上組地区は急傾斜地が高さ30mを超える長大斜面であり、斜面は勾配32°と急勾配で崩壊土層が厚く荒廃も進んでいることから、今後の集中豪雨により土砂崩落による被害が想定される。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上組地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主な根拠	人家:10戸 重要公共施設:1施設 県道:250m 等																						
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	3.2	C:総費用(億円)		1.2	B/C	2.7	B-C	2.0	EIRR (%)	12.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 3.0	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.9	資産(-10%~+10%)	2.6	~ 2.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 3.0																					
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.9																					
資産(-10%~+10%)	2.6	~ 2.8																					
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 急傾斜地の崩壊について、被害が想定される人家が、10戸から0戸に軽減する。</p>																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						

上組 事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を使用した。(承認番号 平29情使、第689号)」
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000(地図画像)を複製したものである。」(承認番号 平29情複、第805号)」